

Onomichi City University

尾道市立大学

尾道市立大学の理念

「知と美」の探究と創造

尾道市は、古くから瀬戸内の要衝として経済的な発展を遂げるなかで、美しい風光を背にすぐれた芸術文化を生み出し継承してきました。このような尾道の地の特性を生かして設立された尾道市立大学は、経済情報学部と芸術文化学部の2学部をもち、芸術文化学部には日本文学科と美術学科の2学科をおく公立大学です。

尾道市立大学は、このような学部・学科構成の特徴を生かしつつ、人と情報が集まって「知と美」を探究する場、そのなかで新たな「知と美」を創造しその成果を社会に発信する場、そして学問と人間的触れ合いを通じて有為な人材を育成する場となることによって、学術・文化の向上と社会の発展に貢献します。



学長
藤沢 毅

尾道市立大学は、戦後間もない1946年に尾道市立女子専門学校として創設され、1950年に尾道短期大学となり、さらに2001年に四年制の尾道大学として開学されました。その後、2012年、公立大学法人として尾道市立大学と名称変更いたしました。

本学は、久山田の静かな落ち着いた自然環境の中にあります。キャンパスの前に広がる美しい水源地に心が癒やされることもあるでしょう。

本学は、経済情報学部経済情報学科と、芸術文化学部日本文学科、同美術学科という2学部3学科で構成されています。大学院を合わせても全学で1400人程度の小規模の大学です。しかし、それぞれの学科の専門教育科目はたいへん充実しております。ぜひ、カリキュラム表を他大学と比較してみてください。教養教育科目と合わせ、授業では教学一如の精神のもと、双方向性の教育が多くなされています。

大学での学びというのは、基礎から始まり、徐々に専門性の高いものになっていきます。高校までの学びと違い、解答の用意されていないものに取り組まねばならないことも多々あるでしょう。こうした学びを通じ、論理的思考力を磨き、問題解決能力を培ってください。感受性を磨き、創

造する力を身につけてください。それが、みなさんの生きる力になっていくはずです。何より大事なものは、こうした学びを楽しむことです。知的好奇心をもって物事に取り組み、考えることを楽しんでください。

現在、本学には、北海道から沖縄まで、日本全国各地から学生が集まっています。みなさんも、本学へいらして、ともに学びを楽しんでほしいと願っております。





副学長
塚本 真紀

「順応」と「適応」の違いについて考えてみます。

「順^{したが}う」「適^{かな}う」という漢字からわかるように、「順応」は、流れに逆らわずに環境や刺激に慣れること、「適応」は、環境や刺激に合うように行動すること、です。単純に言えば、「順応」は「変わる」、「適応」は「変える」。そして、環境や刺激が日々変化している現在、私たちに細やかな「適応」が求められていると言えるでしょう。

これから大学で学びたいことがある、と考えるみなさんには、すでに「柔軟性」という適応のための最強アイテムが備わっているはずですが、しかし、環境や刺激の変化が激しすぎるとそのアイテムを見失ってしまうことがあるように思います。一つのことに過剰なまでにとらわれてしまったり、前例がない状況に怖気づいてしまったり、自分と異なる考えに不快感情を抱いてしまったり、といった経験がみなさんあるでしょう。しかし、いつまでもその状態にとどまっているということはないはずです。少し遠回りしつつ、新たな知識を学んだり、他者と対話したり、興味ある物事にひたすら取り組んだりすることで、失った柔軟性を取り戻し、現状にうまく適応することができたはずです。

次のステップとして、失った柔軟性を取り戻しやすくなるための論理的思考力と、追加の柔軟性アイテムとしての創造力や感受性、そして自分の力で社会を変える問題解決力を、尾道市立大学で身につけてみませんか？「適応」は「社会的順応」とも言われます。社会の中での自分を常に更新しながら生きていくことが自然にできる力を身につける「場」として、ぜひ本学をご活用ください。



副学長
荒井 貴史

大学・短大の進学率が58.1%（令和元年度）となる時代において、社会や世間の人々が大学に求める役割も変わってきています。最高学府として大学は、教育・研究活動を通じた人類知の拡張・普及にあたるだけではなく、大学が立地する地域社会との協働関係を軸にして、地域課題の解決に携われる人材の輩出も期待されています。また、グローバルという言葉が使われ出してから久しいですが、日本の地方が、諸外国の地方とダイレクトに繋がり、ビジネス展開する真のグローバル社会も到来しています。コロナ禍の中、人の移動に一時的なブレーキがかけられていますが、収束後には物・人・情報のグローバルな移動は再開されて、その速度はさらに増すことでしょう。そのような目まぐるしい環境変化の中で、常に先端的であり続けることは困難ですが、大学教育は、各専門分野の学問的到達点をベースに、入門から基礎、専門、応用と極めて体系的に、かつ効率的に先端に辿り着けるようにシステム化されています。それゆえ、そのマップと適切なガイドとなる教員がいれば、どのような興味、関心に対しても、応えられるのが大学です。本学においても、各学生の多様なニーズに十分に応えられるように、不断の努力を継続しております。

<教育：培う尾道市立大学>

尾道市立大学は、専門分野における確かな知識と能力、そして豊かな教養と広い視野をもち、地域社会および国際社会に貢献し得る人材を育成します。このため、本学の特色である少人数教育の利点を生かしつつ、「教学半」（教うるは学ぶの半ば）の精神のもと、教員と学生が人間的触れ合いのなかで共に学び、「知と美」に対する強い好奇心と探究心、しっかりした基礎学力と高い専門能力、そして豊かな人間性を培う教育を実践します。

<研究：拓く尾道市立大学>

尾道市立大学は、実り豊かな教育には不断の研究とそれによって培われた基盤が必要であるとの考え方にもとづいて、新しい「知と美」の地平を切り拓く独創的な研究を目指します。

このため、すべての構成員が対等の立場で相互に協調し啓発し合い、異分野間の協働および外部組織との連携を積極的に進めながら、「知と美」の創造へ向けた学術研究を実践します。

<社会貢献：活かす尾道市立大学>

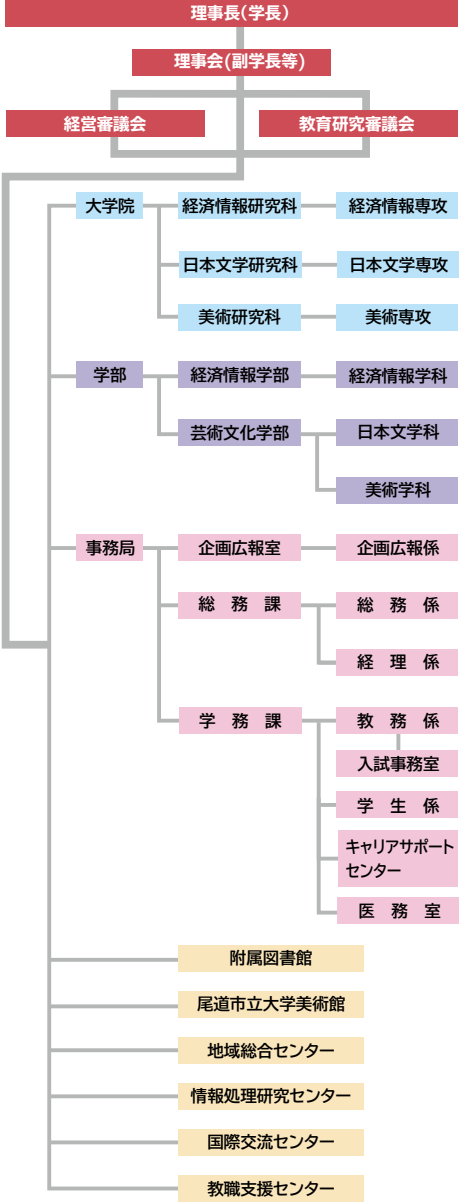
尾道市立大学は、教育と研究を通して培い拓いた「知と美」の成果を絶えず外部に発信することによって、それらが社会に活かされることを目指し、社会からの信頼と期待に応えていきます。

このため、地域社会との連携を図りつつ、世界的視野をもって教育研究に取り組み、有為な人材を社会に送り出すとともに独創的な研究成果を国内外に向けて発信します。また、国際交流や留学生教育などにより、大学の国際化を積極的に推進します。

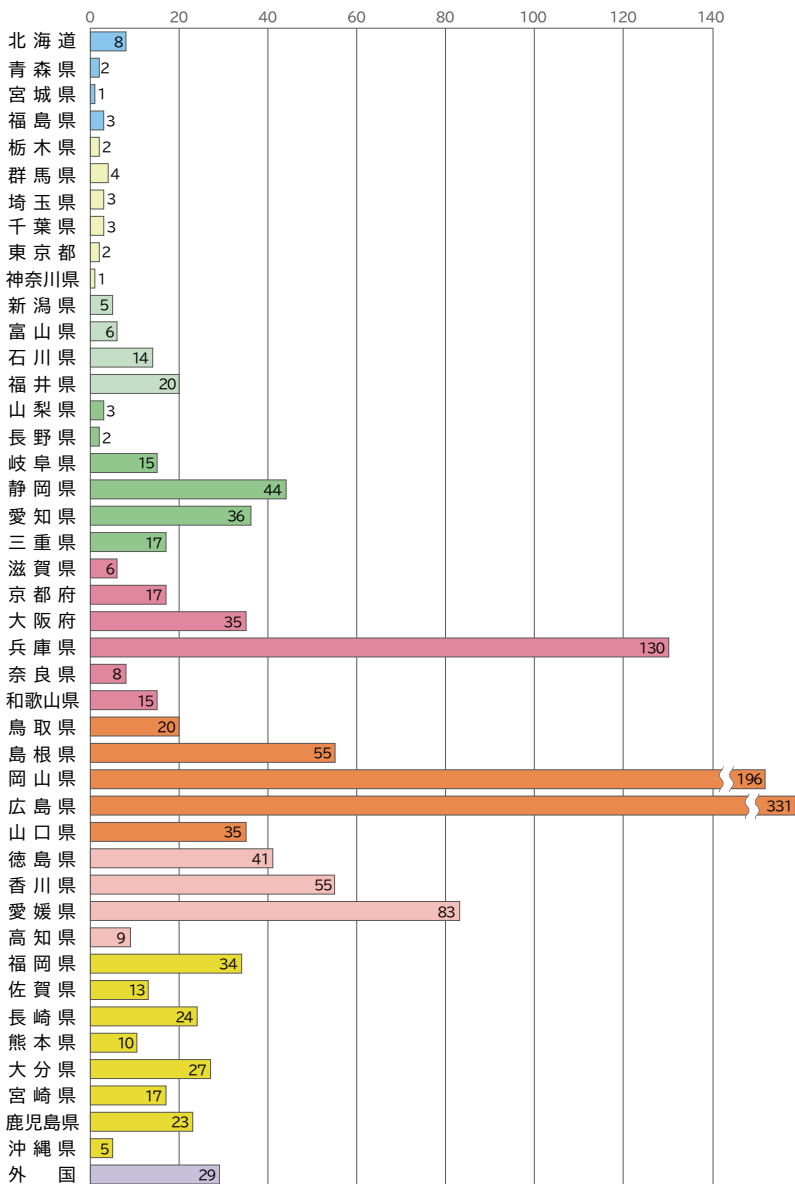
アドミッション・ポリシー

尾道市立大学は、次のような人の入学を期待しています。

- ・学問や芸術を学ぶことを通じて、豊かな心と幅広い視野をもちたいと願う人
- ・知と美に対する探究心と創造意欲のある人
- ・専門的知識・技能を身につけ、地域社会や国際社会に貢献したい人
- ・何事にも好奇心をもって積極的に挑戦し、自己の目標に向かって不断的努力をする人
- ・主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ人



出身地別在籍者数(学部生) 在籍者数 学部生 1,409人



2021年度尾道市立大学入学試験結果

学部

●学校推薦型選抜

学部・学科		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部	経済情報学科	70	140	139	72
	日本文学科	15	50	50	16
芸術文化学部	美術学科	12	51	51	13
	計	97	241	240	101

●一般選抜 前期日程

学部・学科		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部	経済情報学科	100	427	370	177
	日本文学科	30	165	147	41
芸術文化学部	美術学科	23	82	79	28
	計	153	674	596	246

●一般選抜 後期日程

学部・学科		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部	経済情報学科 Aコース	15	374	123	46
	経済情報学科 Bコース	15	397	108	44
	合計	30	771	231	90
芸術文化学部	日本文学科	5	152	57	11
	美術学科	15	113	64	18
計		50	1036	352	119

●私費外国人留学生選抜

学部・学科		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部	経済情報学科	若干名	12	7	4
	日本文学科	若干名	7	6	0
芸術文化学部	美術学科	若干名	1	1	1
	計		20	14	5

●第3年次編入学試験

学部・学科		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部	経済情報学科	若干名	6	6	0
	美術学科	若干名	4	4	2

大学院

研究科・専攻		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報研究科	経済情報専攻	8	7	7	5
	日本文学専攻	6	0	0	0
美術研究科	美術専攻	12	9	9	9

教養教育科目

教養教育科目は、多彩な講師陣、様々なジャンルの講義により幅広い視野と知識が得られるように構成されています。

地域・キャリア系科目

尾道学入門／地域の伝統文化（囲碁）／キャリア形成入門／キャリア形成演習／インターンシップ

人文科学科目

人生の哲学／生命倫理／論理学／東洋思想／心理学入門／日本の文学／文章表現法入門／美術表現入門／美術の歴史と鑑賞／演劇の歴史と鑑賞／文化財学／思考とデザイン／Topics in Language, Culture, and Society／日本文化史（経済情報）／瀬戸内文化論（経済情報）／民俗学Ⅰ（美術）／民俗学Ⅱ（美術）／メディアグラフィックス概論（日本文学）／編集とデザイン（日本文学）

社会科学科目

現代社会と人間行動／法学概論／日本国憲法／世界歴史の流れ／日本歴史の流れ／政治学入門／社会思想史／現代の経済学／社会保障入門／社会学入門／メディア論／文化社会学／民法入門／簿記入門（芸術文化）／ファイナンス・プランニング（芸術文化）

自然科学科目

教養数学／物理学入門／地球と宇宙／物質の世界／生物科学入門／科学技術の進歩／情報科学入門／建築環境論／情報と倫理（芸術文化）／統計学Ⅰ（芸術文化）／人間工学概論（経済情報・日本文学）

健康スポーツ科目

健康スポーツ学／健康スポーツ実習Ⅰ／健康スポーツ実習Ⅱ／野外スポーツ実習

外国語科目

総合英語Ⅰ／総合英語Ⅱ／TOEICⅠ／TOEICⅡ／応用英語Ⅰ／応用英語Ⅱ／上級英語Ⅰ／上級英語Ⅱ／ドイツ語Ⅰ／ドイツ語Ⅱ／フランス語Ⅰ／フランス語Ⅱ／中国語Ⅰ／中国語Ⅱ／日本語Ⅰ／日本語Ⅱ／海外語学実践Ⅰ／海外語学実践Ⅱ

経済情報学部

経済情報学科

主要専門科目	専門基礎科目
	共通専門科目
	演習
	経済系
	経営系
	情報系
	職業指導系

芸術文化学部

日本文学科

学部共通科目
日本文学系
日本語学系
中国欧米文学
関連科目
演習・卒論

美術学科

学部共通科目	
専門基幹科目	
基礎造形科目	
専門実習科目	日本画
	油画
	デザイン
関連科目	

経済学入門Ⅰ(ミクロ)	経済学入門Ⅱ(マクロ)	経営学入門	簿記入門	商業簿記	工業簿記	情報とコンピュータ			
情報活用基礎Ⅰ	情報活用基礎Ⅱ	ファイナンシャル・プランニング	統計学Ⅰ	統計学Ⅱ	基礎数学Ⅰ	基礎数学Ⅱ			
財政学Ⅰ	財政学Ⅱ	金融論Ⅰ	金融論Ⅱ	経済政策Ⅰ	経済政策Ⅱ	経営学総論	経営情報論	情報と倫理	経済情報論
経済経営情報実習	多変量解析	民法	企業法	商法	行政法	外国語講読Ⅰ	外国語講読Ⅱ	ビジネス英語	
基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅱ	専門演習Ⅰa	専門演習Ⅰb	専門演習Ⅱa (卒業研究)	専門演習Ⅱb (卒業研究)	特別演習Ⅰ	特別演習Ⅱ	特別演習Ⅲ	特別演習Ⅳ
特別演習Ⅴ	特別演習Ⅵ								
ミクロ経済学Ⅰ	ミクロ経済学Ⅱ	マクロ経済学Ⅰ	マクロ経済学Ⅱ	環境経済学	計量経済学	経済学史	経済史	日本経済史	地域経済史
貨幣経済学	日本経済論	社会政策	社会保障	国際経済学	国際金融論	公共経済学	地方財政論	アジア経済事情	
経営組織論	マーケティング論	経営戦略論	経営管理論	日本企業論	国際経営論	経営史	租税論	会計学概論	経営分析論
財務管理論	税務会計論	管理会計論	財務会計論	監査論	原価計算論	製品開発論	生産管理論	証券市場論	
プログラミングⅠ	プログラミングⅠ実習	プログラミングⅡ	プログラミングⅡ実習	経営シミュレーション	情報基礎理論	マルチメディア論	ネットワーク科学	情報ネットワーク	
情報システム設計論	情報システム設計実習	データベース	ビッグデータ活用	CGと画像解析	ビジネスとデータサイエンス	システム工学	システム監査	情報と職業	
職業指導									

芸術文化論	日本文化史	比較芸術論	瀬戸内文化論						
日本文学概論	日本文学史Ⅰ(上代)	日本文学史Ⅱ(中古)	日本文学史Ⅲ(中世)	日本文学史Ⅳ(近世)	日本文学史Ⅴ(近代)	日本文学講読Ⅰ (上代)	日本文学講読Ⅱ (中古)	日本文学講読Ⅲ (中世)	日本文学講読Ⅳ (近世)
日本文学講読Ⅴ (近現代)	日本文学講読Ⅵ (近現代)	日本文学講義Ⅰ (上代～中世)	日本文学講義Ⅱ (近世)	日本文学講義Ⅲ (近現代)	日本文学講義Ⅳ (近現代)	日本文学特殊講義			
日本語学概論	日本語史	日本語表現法	日本語学講義Ⅰ (古典語)	日本語学講義Ⅱ (現代語)	日本語学講義Ⅲ (古典語)	日本語学講義Ⅳ (現代語)			
中国文学概論	中国文学講読	中国文学講義	欧米文学概論	欧米文学講義	比較文学				
日本歴史概説Ⅰ	日本歴史概説Ⅱ	美学	日本美術史Ⅰ	日本美術史Ⅱ	東洋美術史Ⅰ	東洋美術史Ⅱ	西洋美術史Ⅰ	西洋美術史Ⅱ	書道Ⅰ
書道Ⅱ	民話研究	民俗学Ⅰ	民俗学Ⅱ	古文書学	文芸創作入門Ⅰ	文芸創作入門Ⅱ	情報処理演習	フィールドワーク	日本文学のための英語
古典文学基礎演習	近現代文学基礎演習	日本語学基礎演習	中古文学専門演習a	中古文学専門演習b	中世文学専門演習a	中世文学専門演習b	近世文学専門演習a	近世文学専門演習b	近現代文学専門演習Ⅰa
近現代文学専門演習Ⅰb	近現代文学専門演習Ⅱa	近現代文学専門演習Ⅱb	現代語学専門演習a	現代語学専門演習b	古典語学専門演習a	古典語学専門演習b	中国文学専門演習a	中国文学専門演習b	欧米文学専門演習a
欧米文学専門演習b	文芸創作専門演習a	文芸創作専門演習b	国語教育学専門演習a	国語教育学専門演習b	伝承文学専門演習a	伝承文学専門演習b	卒業論文(構想・準備)	卒業論文(制作)	
芸術文化論	日本文化史	比較芸術論	瀬戸内文化論						
美学	日本美術史Ⅰ	日本美術史Ⅱ	東洋美術史Ⅰ	東洋美術史Ⅱ	西洋美術史Ⅰ	西洋美術史Ⅱ	デザイン史	デザイン論	美術解剖学
空間造形論	図法及び製図	金工演習	写真(映像)演習	木工演習	塗装法演習	壁画技法演習	テンペラ画技法演習	版画制作演習	
デッサン基礎実習	構成実習	彫刻	総合基礎実習						
日本画実習Ⅰ	日本画実習Ⅱ	日本画実習Ⅲ	古美術研究(演習)	卒業制作					
油画実習Ⅰ	油画実習Ⅱ	油画実習Ⅲ	古美術研究(演習)	卒業制作					
デザイン実習Ⅰ	デザイン実習Ⅱ	デザイン実習Ⅲ	古美術研究(演習)	卒業制作					
文化財保存学概論	人間工学概論	情報機能論	書道	古文書学	メディアグラフィックス概論	編集とデザイン	情報処理演習		



キャンパスライフ

有意義な学生生活のための
さまざまな支援制度を備えています。

奨学金制度

日本学生支援機構および尾道市立大学奨学会等の奨学金制度を設けています。また、民間企業や地方公共団体等による奨学金の案内がありますので、随時お知らせしています。

●日本学生支援機構奨学金

- ・給付奨学金
- ・第一種奨学金(無利子) ・第二種奨学金(有利子)

●尾道市立大学奨学会奨学金

無利子貸与 月額 30,000 円(若干名)

●尾道市立大学成績優秀学生奨学金

本学における学業成績が特に優秀であると認められた学部生に対して、学習意欲の更なる向上を目的として、年額 100,000 円を給付する奨学金制度を設けています。

授業料減免制度

経済的理由や風水害等の災害を受けたことなどにより、授業料の納付が困難な学業成績が良好な学生に対する経済的支援として、授業料減免制度があります。

チューター制度

指導教員(チューター)を中心に経済情報学科と美術学科では 10 人程度、日本文学科では 5 人程度のグループをつくり、同級生や先輩・後輩との絆を深めていく制度です。チューターはグループの学生の相談相手になり、またグループの学生と一緒にレクリエーションを楽しむこともあります。

資格取得支援講座及び資格取得者に対する 奨励金給付制度

公務員受験対策講座、情報技術資格対策講座等の課外講座を開講し、学生の進路支援、就職活動に向けた実力を養成しています。また、独力で資格等を取得した学生に対し、奨励金を給付する制度もあります。

オフィスアワー

学業その他の相談を受けるため、全教員がそれぞれ日時を決めて、研究室で待機しています。

学生相談(カウンセリング)・健康相談

自宅から離れての新しい暮らしや通学環境の変化など日常生活上の悩み、大学での人間関係の悩み、精神面や身体面での心配事について、医務室職員やカウンセラーに相談できます。また、公認心理師／臨床心理士によるカウンセリングを受けることができます。

下宿等について

尾道市内には学生向けのワンルームマンション、アパートや寮があります。また、本学の周辺には食事付きの学生寮もあります。これらはすべて民間経営です。希望者には、アパート等の資料をお渡ししています。

その他

学生または学生で構成する団体が、スポーツ・文化・社会貢献等の各分野の活動において、特にすぐれた成果を挙げた場合、学長からの表彰があります。

経済情報学科 4年
堀 明日美

情報を学びたいと思い、本学を志望しました。情報システムは人が使うものです。情報システムの事だけではなく、経済や経営など人がかかわる活動についても学ばなければ、良いシステムは開発できないと考えていました。このため、経済、経営、情報の3つの分野が学べる本学の経済情報学部に進学しました。

人生のうちに一度しかない貴重な4年間に有効に活用するために、2年生の夏、海外語学研修に参加しベトナムに行きました。このプログラムに参加した理由として、語学そのものを学ぶというよりは、英語で経済などの専門科目を受講するものであったことがあげられます。日本での授業と異なり、発表の頻度が多く、プレゼンテーションのスキルを向上させることも求められました。英語で授業を受け発表準備を行うことは困難の連続でした。しかし、チーム内の現地の友人にも助けをもらって、何とか最終プレゼンまで実施でき、大きな達成感を得ることができました。

大学生活では、積極的に様々な活動に参加してみましょう。きっと、知見が広がります！



一週間のスケジュール					
時間割	月	火	水	木	金
1限	経営分析論	管理会計論			マクロ経済学Ⅰ
2限	情報システム設計論	財務会計論			民法Ⅰ
3限	情報システム設計実習		社会政策		ビッグデータ活用
4限		ネットワーク科学	工業簿記		ミクロ経済学Ⅰ
5限		専門演習Ⅰa			

R言語による統計解析の方法や、KH-Coderによる共起ネットワーク分析の方法について学びました。

マルチエージェントシミュレーションモデルを構築し、様々な現象を解析しています。

●海外語学研修(ベトナム)

事前学習が数か月前から始まり、プレゼン練習などの実践的英語学習は勿論、留学についての疑問点なども気軽に相談でき、安心して出発する事が出来ました。

※2020年度前期の時間割です。

日本文学科3年
野島 伶音

芸術文化学部日本文学科は文学を学びたい、研究したい、創作したいという人達にとって最適な環境です。

日本文学科には多くの文学にまつわる授業があり、その全てで専門家の先生方の熱心な指導を受けることが出来ます。また図書館などの資料も充実しており、本学に無い資料も取り寄せができるなどサポートも充実しています。なにより日本文学科には日本中から文学を勉強したいと思ってやってきた同志や先輩がいます。人も物も全てあなたの「やりたい」を後押ししてくれることでしょう。

ここまでを読んで、「文学は好きだけど、何をしたいかは分からないし、自分についてはいけないかも……」と思った方もいるかもしれません。私も初めはそうでしたが、周りの友人の、先輩の、先生の思いに触れていくにつれ、自分が何をしたいのかが見えてくるようになります。

尻込みせず、まずは好きな気持ちを大切にしてみてください。きっと先生方も先輩もあなたを応援してくれます。



●大学の敷地内には食堂や翠明館という施設など落ち着ける場所が多くあります。授業の空き時間にはそこで課題をしたり、読書をしたりとのんびり過ごすことが出来ます。自然豊かな立地なので心安らぐ時間です。

●部活も多くあり、自分にあった居場所が見つかると思います。私は「考えるカラス団333」というボードゲームサークルに参加しており、そこで仲間達と楽しく過ごしています。

一週間のスケジュール					
時間割	月	火	水	木	金
1限	日本美術史Ⅱ	欧米文学講義	日本文学講読Ⅴ		生涯学習概論
2限			生命倫理		応用英語Ⅱ
3限	日本文学講読Ⅵ	日本語学講義Ⅱ	文芸創作専門演習b		
4限	民話研究	文芸創作入門Ⅱ			
5限					

文学系の授業の他にも、この「生命倫理」のような教養科目と呼ばれる授業があり、その中から自分が興味のある科目を選択して勉強することが出来ます。

二年次にはゼミにも繋がっていく専門演習の履修が始まります。この専門演習で何を選択するかを意識しながら一年次の授業を受けるといいかもしれません。私は文芸創作の専門演習を選択しており、卒業制作に向けて仲間たちと切磋琢磨しています。

※2020年度後期の時間割です。

美術学科 4年
小方 樹

尾道市立大学は美術やデザインを学ぶ上での環境が整っています。私は日本画コースに所属していますが、アトリエでは共に制作する個性豊かな友人たちが、沢山の刺激や気づきを与えてくれます。行き詰まった時には先生方からの適切な助言や支援もあります。また大学の周りは自然が豊かで、時間帯や季節によって様々な表情を見せてくれます。そういった環境下で自身の制作を見つめ直しながら取り組めることは、大変恵まれていると感じます。

尾道にはギャラリーや美術館が多くあり、様々な作品を目にする機会があります。またアートイベント等も行われるなど、芸術に親交の深い町であると思います。私も実際に作品展示やライブペインティング等に参加したことがあり、そこで大きな刺激を受けました。こういった学外での活動を通して得たことを自身の制作等に還元することで、表現の研究を推し進めることもできると思います。大学・町・人とかかわり、興味のあることに打ち込むことで豊かな学生生活を過ごせると思います。



- 実習時間だけでは不足する制作の時間を、授業の空きコマや自由時間等にアトリエを使用し制作することで補っています。

美術系の専門授業では、外部講師を招いての講義も行われます。

- 芸術文化学部では教員免許や学芸員の資格取得が可能です。私は美術教員の免許取得を目指し、そのために必要な教職科目を受講しています。通常の履修に加え、多くの科目をとる必要がありますが、「免許取得のため」だけでなく、「人に伝えること・人から学ぶこと」や「観察・研究の視点」について大切なことを学べると思います。

- 尾道の町には素敵な雑貨屋や本屋があるので、休日に巡って楽しんでいます。町並みも趣がありスケッチにぴったりです。

一週間のスケジュール					
時間割	月	火	水	木	金
1 限		健康スポーツ学	写真(映像)演習	カウンセリングの理論と方法	
2 限	教師論	学校生活の指導	写真(映像)演習	教育社会学	空間造形論
3 限		「教師論」「学校生活の指導」など、教員免許取得のために必要な科目があります。		演習系の授業は設備の整った各演習室で、制作を主軸に受講します。	
4 限	思考とデザイン			実習	
5 限	キャリア形成入門				
				美術学科は火～金曜日の午後からが実習の時間になっています。	

※ 2019年度後期の時間割です。



オヤマノカフェ (学生食堂)



オヤマノ定食 おやさいプレート
シーザーサラダ ロコモコ丼



ニューヤマザキデイリーストア



ウエダ画房

クラブ・サークル活動

尾道市立大学には 50 を超えるさまざまなクラブ、サークルや同好会があり、文化系からスポーツ系まで幅広いジャンルが存在します。



クラブ・サークル、同好会一覧表

●部活動

アウトドア部
硬式テニス部
硬式野球部
サイクリング部
サッカー部
柔道部

セパタクロー部
ソフトテニス部
ソフトボール部
卓球部
ダンス部
軟式野球部

バスケットボール部（女子）
バスケットボール部（男子）
バレーボール部（女子）
バレーボール部（男子）
バドミントン部
ハンドボール部

男子フットサル部
女子フットサル部
陸上競技部

●文化系

執行委員会
翠郷祭実行委員会

アカペラ部
アンカー部

裏千家茶道部
映画研究部

演劇部
軽音楽部



ゴミ部
写真部
吹奏楽部

推理小説研究部
煎茶部
陶芸部

速水流茶道部
ひかりアート研究会
文芸部

ラテン部

●同好会

朝活同好会
English & Intercultural Club
おの 100 同好会

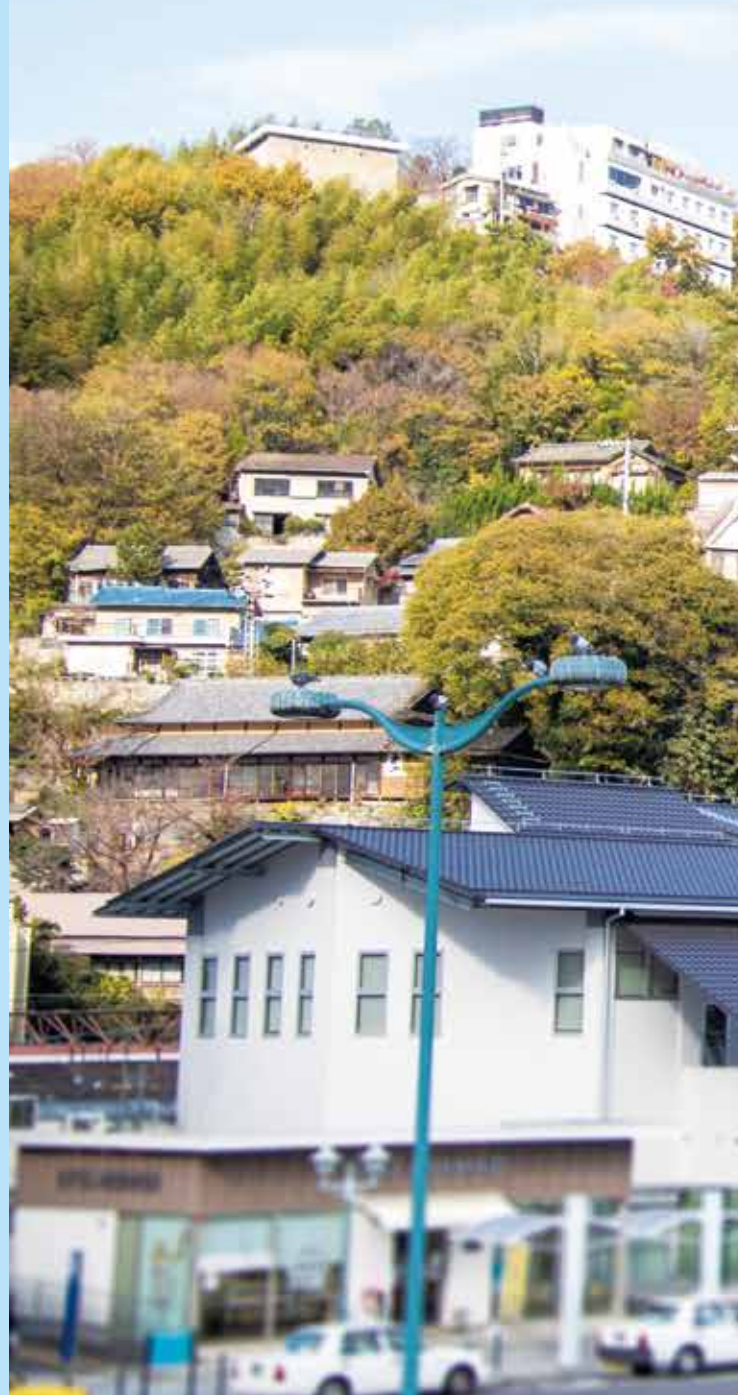
考えるカラス団 333 同好会
シグマソサエティ同好会
天体観測同好会

ドローン同好会
ねこ同好会
平成文藝談話会

マジック同好会
漫画研究同好会

経済・経営・情報をマルチに学び、
自分の可能性を目覚めさせる。

経済情報学科



Economics, Management & Information Science





経済情報学部長

小川 長

経済情報学部には、経済コース、経営コース、情報コースの三つのコースがあります。それ故に、経済と経営と情報の三分野の内容を学べるというメリットがあり、それが本学部の大きな特長の一つとなっています。本学部に所属する教員は、基本的にこのいずれか三つの学問分野における専門領域の研究者ですので、それぞれ異なる分野の研究者から専門の分野の内容を学べるという点は、大きな魅力であると言えます。しかし、その一方で、うっかりしていると、自分が何を専門に学んでいるのか分からなくなってしまうという落とし穴があることに留意しておいてもらいたいと思います。つまり、受身の姿勢で学問に取り組んでいると、大学で何を学んだのかははっきりしないまま、大学時代を終えてしまうことになりかねない恐れがあるということです。

高校までの勉強と違い、大学で学ぶということは専門分野の学問を修めることだという点を、しっかりと自覚しておく必要があります。その上で、広く異なる分野を学ぶことの意義は、自らの専門分野の修学を深めることにありと心得、まず何を専門に学ぶかという自分の指針を、しっかり持つておいてもらいたいと思います。そのためにも、ぜひ一度、経済(学)、経営(学)、情報(学)がどういう学問であるのかということを自分で調べてみてください。そうすれば、きっと自分に興味がある分野、自らが学びたい領域が見えてくるはずです。その上で、それを自らの指針に据えて、専門分野

の学びを深めるため、他の分野の知識も積極的に吸収していくというスタンスで勉学に取り組めば、より大きな収穫が得られるものと思います。

論語に、「学んで思わざれば則ち^{くら}罔し。思うて学ばざれば則ち^{あや}殆うし」という教えがあります。これは、物事を学んでも、それについて自分の頭で考えなければ、本当に理解したことにはならない。それだからといって、自分勝手に物事を考えるだけで学ぼうとしなければ、独断に陥ってしまい危険であるという意味です。大学で学問を修めるということは、まさに、この「学び」かつ「思う」ということです。つまり、より深い知識を「学ぶ」とともに、それを「思う(＝自分で考え、理解する)」ことが肝要だということなのです。三つの専門のコースを持つ本学部において、受身ではなく自分で考え理解するという主体的な姿勢で、学問の楽しさを味わっていただきたいと思います。

アドミッション・ポリシー

経済情報学科は、経済、経営、そして情報の3分野を併せて学ぶことを特徴としています。基礎的理論と実践的・応用的知識を兼ね備え、主体性をもって自ら問題を設定し解決することで、現代社会のニーズに応えられる人材、社会貢献や地域貢献ができる人材の育成を目指しています。そのために経済情報学科では、入学までに

「基礎学力である高等学校等で学ぶ国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の知識」
を身につけていることが必要です。特に、

問題分析力につながる「基礎的な数学力」

情報収集やコミュニケーションにつながる「英語力」

を身につけていることを重視しています。

このような教育理念・目標に基づき、経済情報学科は次のような人を求めています。

- 1) 日常生活の経済現象に関する基礎的な考え方や理論を理解し、各種資料や経済統計を活用して実際の経済を分析し、経済問題を世界的観点から考えて責任ある選択・意思決定ができるようになりたい人
- 2) 経済社会を支える企業活動の現実を直視し、企業経営に関する理論や分析手法を幅広く学んだうえで、その成果を組織の仕組みの改善に活かしたい人
- 3) 現代社会の基盤となっている情報システムやネットワークの基本原理を学び、社会問題の解決や日常生活の利便性の向上に意欲のある人

経済情報学科の雰囲気の一部を紹介します。
 学生主体の学習環境。少人数を強みにしたユニークなゼミ。
 勉学の成果を凝縮した研究発表。
 4年間を通してゆたかな時間が流れていきます。

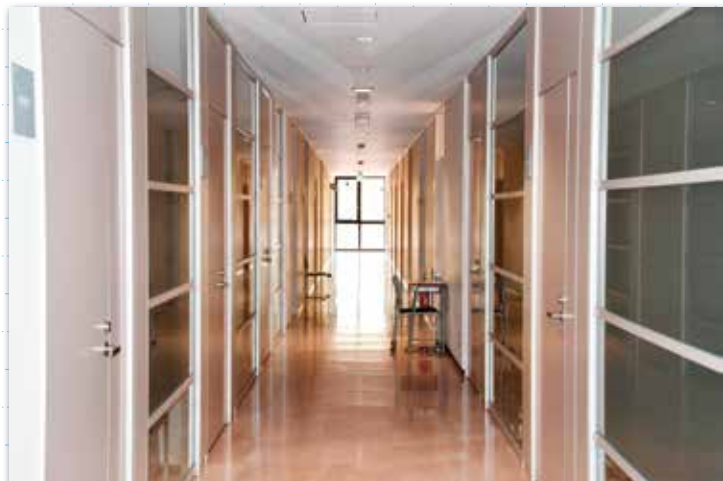


自然豊かな場所です



それぞれの学生が自主的に勉強できる環境です

1年次より
 経済・経営・情報
 の基礎をしっかりと
 学んでいます



様々な専門分野を持つ教員が、研究室で皆様をお待ちしています
 (22~39 ページ)

$$\begin{aligned} \max_{x_1, x_2} \quad & 50x_1 + 60x_2 = M(x) \\ \text{s.t.} \quad & 2x_1 + 3x_2 = 200 \rightarrow x_2 = \frac{200 - 2x_1}{3} \\ & 3x_1 + 2x_2 = 200 \rightarrow x_2 = \frac{200 - 3x_1}{2} \\ & x_1 \geq 0, x_2 \geq 0 \end{aligned}$$

$$\min_{x_1, x_2} \quad I = 50x_1 + 60x_2$$

$$\text{s.t.} \quad M^* = x_1 + x_2 = 750$$

$$\left(\frac{\partial L}{\partial x_1}\right) = \frac{\partial L}{\partial x_1} = \frac{50}{1} - \frac{20}{3} \rightarrow \frac{x_1}{x_2} = \frac{20}{3}$$

$$\frac{50}{1} - \frac{20}{3} = \frac{50}{60} = \frac{5}{6}$$

$$3000$$



3 年次以降のゼミでは、卒業論文の執筆に向けて、専門的な内容を学習したり、議論したり、あるいは現場見学に行ったりもします



授業課題と一緒に取り組んだり
資格取得のために勉強したり
週末の予定を立てたり



4 年間を経て卒業へ

経済学では、労働、資本、貨幣、情報等が社会の中を循環する様子（経済循環）を説明するための理論を作り上げていきます。家計や企業などの個別経済主体の行動を分析するミクロ的視点と、一国全体での出来事を考察するマクロ的視点があります。

このような視点を軸として金融論、財政学、国際経済学などを履修することによって、私たちの生活にかかわる諸問題を把握・分析するための問題発見能力と企画分析能力を磨くことが出来ます。これらは、大学院進学や公務員試験、そして企業への就職で必要とされる能力です。

大学進学を希望する人たちも、数年後には自分たちが経済社会を運営する立場になります。そのために経済コースでは、規制緩和や年金といった制度・政策、日本と世界の経済史、国際貿易などの世界情勢、などについての理解を深めることを目指します。さらに、このような経済問題を客観的に検証するためには経済データを統計的に分析することが必要であるため、情報処理に関する基礎的なトレーニングも行います。

経済倫理を身に付け、世界や国といった全体を見渡すと同時に、経済主体として家計や会社を経営する能力を身に付けたグローバルな人材を育成します。

想定される進路

1. 行政機関におけるICTを活用した企画、政策の立案、実行
2. 企業、行政機関における情報活用システムの企画、事務、営業
3. 金融機関における業務



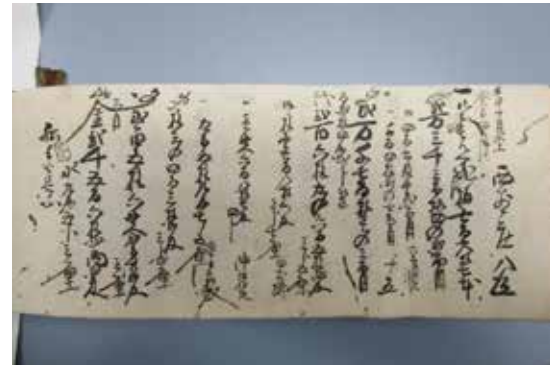


日本近世・近代の流通経済史

経済コース長・准教授

森本 幾子

研究室では、地域経済の歴史について学ぶことを主軸に据えています。毎年、尾道・宮島・鞆浦など身近な瀬戸内の港へ実際に足を運び、フィールドワークを行うことによって、その歴史的経緯や特徴について理解を深めています。また、手習い本をはじめ当時の仕切状や帳簿などの古文書の解読を通して、日本近世・近代の商取引の特質を学び、現代と比較しながら考察しています。



「明治二年肥物仕切帳」(徳島大学附属図書館所蔵山西家文書)より



公共経済学

経済コース・教授

荒井 貴史

政府による消費者や生産者に対する課税や補助金が、資源配分にどのような影響を与えるのか。価格や取引に対する規制が、社会厚生にどのような影響を与えるのか。政府の市場経済での役割はどのようなもので、その役割の理論的根拠は何か。公共財、外部性、不完全競争、情報の非対称性など、厚生経済学の第1基本定理（完全競争市場における均衡配分はパレート効率的である）の前提が損なわれている「市場の失敗」のケースを公共経済学は理論的に分析します。





マクロ経済学

経済コース・教授

井本 伸

マクロ経済学とは、全体としての経済、すなわち日本全体の経済を分析対象とする研究分野です。経済学では、全体（マクロ）と個人（ミクロ）を分けて考えます。なぜなら、経済問題には、「個人としては良くても、経済全体としては良くない事」や、「個人ではどうしようもない問題」があるからです。個人がどのように行動すべきかだけを考えていては、経済全体の問題は解決できません。



金融マクロ理論

経済コース・教授

河野 洋

金融システムの在り方について理論的に研究しています。特に、金融仲介機関と市場のどちらが金融システムをより効率的かつ安定的に機能させるかに関心を持っています。又、情報、金融ネットワーク、政府規制等がマクロ経済に及ぼす影響についても興味を持っています。3・4年生のゼミでは、日本の金融制度や金融政策について基礎知識を確立し、日本の中長期的経済問題に対してどのような対策が必要であるかを議論しています。





環境経済学

経済コース・准教授
岡本 隼輔

岡本研究室では環境経済学を軸に研究に取り組んでいます。この分野では廃棄物問題や地球温暖化問題について、経済学の視点を交えて定量的に捉えています。例えば、製品を作る際に素材の採掘や加工、流通などあらゆる段階で環境負荷が発生しますが、それら全てを考慮して計測していくライフサイクルアセスメントの概念もその1つです。また、ワークショップや工場・現場見学なども実施することで、机上の学習と現実社会とを結びつけながら問題解決能力を養っていきます。



上勝町ゼロ・ウェイストセンターへの現場見学



財政学

経済コース・准教授
金田 陸幸

財政学の役割は政府の活動を経済学のアプローチを用いて、考察することです。財政学では政府の支出のことを歳出、政府の収入のことを歳入と言いますが、歳出面、歳入面の双方に焦点を当てることが重要となります。ゼミナールでは、政府が実際にどのような制度を行っているのかを学んだ上で、その制度が経済学的に望ましいかどうかについて効率性、公平性の双方の観点から評価し、学生同士で議論を行うことで、自発的に考え発表する場を設けます。





金融論

経済コース・准教授

神崎 稔章

金融の世界は、多くの進歩と制約を経て、現在に至っています。証券化やデリバティブ等の金融革新がもたらす資金の集中や規制のバランスは重要です。ゼミナールでは、自らが主体的に議論できるスタートにたてるにはどうすればよいのかを、経済学と関連付けて進めます。1冊のテキストのみを鵜呑みにせず、社会の在りように疑問を持った方が出てくることを期待します。従って、ディベート大会や学外での経験もゼミナールの特徴です。



社会保障、社会政策

経済コース・准教授

佐藤 沙織

人々の生活を支える手段は様々にありますが、戦後日本ではとりわけ医療がその中核を担ってきました。そこで「なぜ日本では医療に偏重して支える仕組みが発展したのか」という課題の究明から、医療だけに偏らないこれからの社会の支え合いの仕組みを展望することを目指しています。

ゼミナールでは、毎年、医療や福祉の現場で調査合宿を実施しています。わからないことを良く知っている人に「聞く」ことで、社会を「知る」楽しさを実感できる機会を提供しています。



吉和地区の住民との交流



卒論報告会



社会思想史、経済学史

経済コース・准教授

林 直樹

経済学の歴史（誕生までの前史、初期の歴史、中期以降の歴史）を中心にしつつ、その前提となる様々な思考のフレームワーク、いわゆる「思想」の歴史を研究しています。経済学が誕生したのは18世紀イギリスでのこととされていますが、経済をめぐる思想自体は古代から存在しました。しかし、経済思想が政治思想や倫理思想と切り離されて、近現代の社会をリードする経済学として結実するまでには長い道のりがあり、それはいまでも完結しているとは言えません。この大きな問題を皆さんとじっくり考えてみたいです。



応用ミクロ計量経済学

経済コース・准教授

堀江 進也

被災者の生活再建、災害の復興資源の配分について研究しています。被災人口が莫大であったとき、被災地域が非常に広範囲にわたる場合、誰から・どこから優先的に支援すべき・復興すべきでしょうか。人の人生を左右する問題ですので、経済学の理解と応用には正確さを求められます。また、「現場」を知ること也很重要です。このバランスを持ちつつ、自分が社会で重要なひとりであることを認識した人材を育成したいです。



経営学は、人、もの、マネー、情報などの経営資源を活用し、市場ニーズに応じて良質な製品とサービスを消費者へ経済的に提供するための企業組織経営の学問領域です。この専門領域を内容とする当経営コースは、経営学の基本とする経営戦略、経営組織、マーケティングの理論と方法論及び経営分析、財務・税務管理、現場管理の実務、そして経営学の史的展開を体系的に学習し、将来には企業組織の事業あるいは行政組織のプロジェクトの推進を担うことができる人材育成を目指します。

上述の目標を達成するために、経営コース中心の専門分野教育を特化し、必修科目及び選択必修科目を再編成しています。このコース所属の学生は、マーケティング戦略と経営組織の理論を主とする諸経営科目を縦断的に、経済学や情報科学などの科目を横断的に学習することによって、経営の基本的な知識と技法を的確に理解できる能力を持ち、仕事を効率的に進めるための幅広い知識とスキルを身につけて、経営の視点からビジネス上の諸問題を整理・分析・解決できる人材となることが期待されています。

想定される進路

1. 企業マネジメント全般への参画
2. 企業における経営情報を活用した経営組織の在り方や経営戦略の立案、実行
3. 企業における経営情報システムの立案、実行





租税法

経営コース長・教授
前田 謙二

税金は公共サービスを提供するためなどに必要であり、国会で決められた法律（税法）に基づいて納められます。人間は生きていくために日々様々な取引を行っていますが、すべての取引が税法と関わっています。税法を知らないために損をすることもあります。では、税法にはどのようなルール（概念・条文・判例）があり、どのような問題があるのでしょうか？ 租税法の研究とはそれらの問題解決や経済の変化に応じ税法はどのようにあるべきかを考えるものです。



マーケティング、経営戦略

経営コース・教授
小川 長

経営学は「良いことを上手に実現するための学問」とであると定義できます。そうすると、経営を考えることは次の二つのことを考えることになります。一つは、大方の人が経営学だと思っている「上手に実現するための方法」ですが、もう一つ大事なことがあります。それは、「良いこととは何か」を考えることです。実現すべき良いことを考えず、方法ばかり考えるのは本末転倒です。本研究室は、このように経営を根本から考えていきます。





ドイツと日本の経営学説、 企業倫理の理論と実践ほか

経営コース・教授
西村 剛

ゼミのテーマは「ワーク・ライフ・バランス (Work Life Balance) の理論的・実践的研究」です。「仕事と生活の調和」について学んでいきます。現在「働き方改革」が注目されるなかで、日本的雇用慣行は徐々に変化しつつも依然として労働者に過酷な労働条件を突きつけています。例えば長時間労働、過労死・過労自殺、正規－非正規労働者の処遇格差など。こうした過酷な労働条件のもとで労働者はどのように企業と関わり、どう対応していくべきかを探っていきます。



健康・スポーツ

経営コース・教授
藤岩 秀樹

教養教育の健康スポーツ科目を担当しています。健康スポーツ科目は、「健康スポーツ学」(講義)、「健康スポーツ実習Ⅰ」、「健康スポーツ実習Ⅱ」、「野外スポーツ実習」からなっています。身体運動やスポーツを媒介に、生活の基本である健康・体力に関する正しい知識と、健康づくりの具体的方法に関する知識や実践能力の獲得をめざしています。



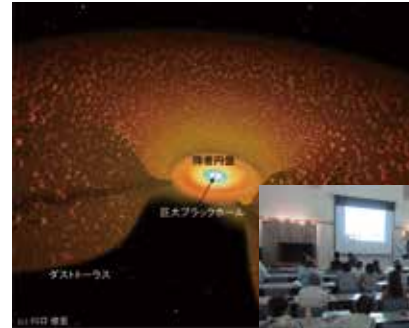


天文学、宇宙物理学

経営コース・准教授

川口 俊宏

ブラックホールが宇宙の歴史に果たした役割を研究しており、天文・宇宙・物理に関する授業などを担当しています。本校での唯一の自然科学分野の教員として、論理的思考力を鍛える教育を目指しています。天文・宇宙の授業を専門家が担当しているのは公立・私立大学の約1割です。天文部で活動していたり、宇宙に興味を持っている高校生が大学生になった時に、一緒に学んでいけたら嬉しいです。



銀河の中心部にある
巨大ブラックホール
周辺の模式図



2018年8月に市民の方々向けに開催した講演会の様子。「銀河のでき方」「はやぶさ2」について解説されました。



企業とNPOの協働、 ソーシャル・イノベーション

経営コース・准教授

後藤 祐一

環境問題や貧困問題など、様々な社会的課題の解決に向けて企業やNPOなどが様々な取り組みを行っています。このような社会的課題の解決に向けた企業やNPOの取り組み、あるいは企業とNPOによる協働が、「なぜ」行われるのか、「どのように」行われているのかを研究しています。





会計史

経営コース・准教授

津村 怜花

複式簿記は13～14世紀のイタリアで誕生し、世界各国に伝播しました。日本にも明治初期に「輸入」されます。なぜ複式簿記は各国に伝播し得たのでしょうか?このような疑問を探究することで、会計史は現在や未来の会計の問題等を考えるうえでの視点を提供するとともに、歴史を解き明かす、魅力ある研究分野です。

右の書籍・論文から、会計史の知識や会計史研究の魅力を知っていただけると幸いです。



基本的人権、憲法

経営コース・准教授

溝淵 裕

教養教育科目の法学概論、日本国憲法を担当しています。日本国憲法99条は、天皇と公務員に憲法尊重擁護義務を課しています。平成天皇は、憲法の定める国事に関する行為のみを行う(4条1項)だけではなく、「国民統合の象徴」として、戦死者を慰霊し、被災者を慰問することが、憲法を尊重することになると考えました。同性婚の届出を受けた戸籍係、訴訟を受けた裁判官も、婚姻を文字通り「両性の合意のみ」に基づく(憲法24条1項)として請求を退けることが憲法を尊重することになるのか、それとも家族の在り方の変化に対応することが憲法を尊重することになるのか真剣に考えることが求められていると思います。このような問題について、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。





会社法（コーポレート・ガバナンスを中心として）、金融商品取引法、アメリカ法

経営コース・講師

王 佳子

企業の中で最も多いのが「会社」ですが、アメリカのシカゴ学派は、会社を「契約の束」と定義しています。この考え方は、会社が無数の契約を通して、組織を形成し、さまざまな取引活動を展開しているという実態をよく捉えています。それでは、会社は、契約を結ぶことでどのような権利を有し義務を負うことになり、その権利を実現するためにはどのような手段を採ることができ、義務を履行しない際に誰がどのような責任を負うことになるのでしょうか。

本研究室は、具体的な事例をもとに、こういった問題について検討をしています。



国際経営

経営コース・講師

趙 怡純

企業の活動は国内にとどまらず海外にも展開しています。近年、海外市場での売上高が国内市場を上回るようになった企業も数多くあります。海外市場では文化・環境・制度など国内と状況が大きく異なるため、企業は予想もしなかった困難に直面することがあります。その反面、海外の顧客に好まれる商品やサービスを提供し、大きな成長をとげた例もあります。本研究室ではこのような国際経営特有の課題について研究しています。皆さんと一緒に広い視野をもって企業の抱える問題を考え、議論していきたいです。





管理会計

経営コース・講師

吉田 政之

管理会計は、財務会計と異なって企業内部のマネージャーや従業員に対して情報を提供し、経営上の意思決定に役立てられています。そのため、管理会計情報は特定の規則や原則に縛られることなく作成される点が特徴です。私はそのような管理会計情報と、投資者などの企業外部者への報告目的で作成される財務会計情報との関係性について研究しています。



現代社会の基盤となっている情報技術の基本原理を学び、経済社会における課題を解決する情報システムの設計から運用までを担当する能力を身につけることを目指します。情報産業をはじめとして、一般企業内でも、情報技術に裏付けされた、経済・経営・数理分析に強い人材を育成します。

日本の社会ではマーケット（経済）とビジネス（経営）が分かるIT技術者やコンサルタントが不足しています。例えば、ユーザ企業の置かれている市場や経営の特徴を分析し、ユーザ企業の弱みを補強し強みをさらに強化するITソリューションを提案したり、自社の経営戦略に基づいてIT戦略を立案し、それを実現する情報システムを設計するといった人材です。このようなことは工学系の情報学科を出たIT技術者には難しく、経済・経営も学ぶ本学科の情報コース卒業生が活躍できる場だと思います。

将来このような仕事に就く人材の育成を目指して情報コースのカリキュラムは設計されています。その情報関連科目は大きく3種類に分かれます。1つ目は計算機を用いて情報を適切に処理する能力を養う科目です。課題レポートや卒業研究など大学での学習・研究活動や、卒業後に社会における様々な活動において必要となる知識とスキルを習得する科目です。「情報活用基礎」、「情報科学入門」などの科目があります。2つ目は情報分野のより専門的な科目です。プログラミング言語によるソフトウェアの作成方法や、計算機ネットワークの仕組みや特徴、情報システムをいかに設計するかなど、情報科学の様々な分野を学習します。「プログラミング」、「ネットワーク科学」、「情報システム設計」などの科目があります。3つ目は経済経営分野と情報分野が重なる領域の科目です。異なる学問が合わさることで生まれた新しい学問を学びます。「経営シミュレーション」、「経営情報論」、「経済情報論」などの科目があります。

想定される進路

1. 情報関連の企業・組織における次世代のシステム・サービス・技術の研究開発
2. 企業・組織の経営戦略に基づいた、情報技術を駆使したIT戦略の提案・策定とその実現の推進
3. 企業・組織におけるIT戦略実現のための最適な情報システムの設計とその構築の指揮





情報システム設計ほか

情報コース長・教授

有吉 勇介

情報システム設計とは、ユーザの「こんな情報システムが欲しい」という要望を分析整理して、仕様書と呼ばれるソフトウェアの設計図にまとめ上げるまでの一連の作業のことです。最近の日本では、仕様書は日本人が作り、プログラミングはインドやベトナムなどで行う国際分業が多くなってきています。その結果、日本のIT系企業ではプログラマよりも、仕様書づくりに関わる人が増えてきています。そのため情報系の大学ではプログラミングと同じぐらいに情報システム設計の勉強が重要になってきています。

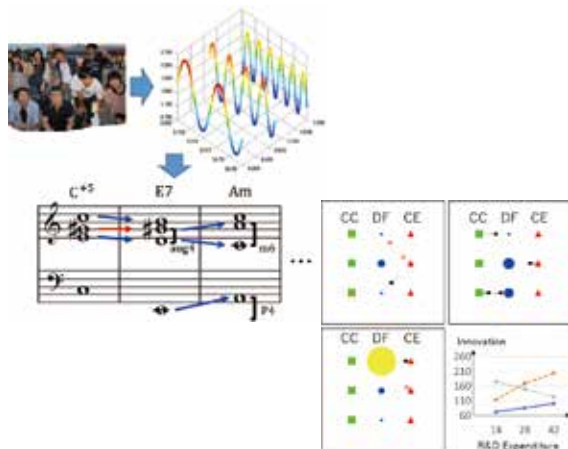


音楽情報処理、在庫管理モデルほか

情報コース・教授

川勝 英史

ゼミの研究テーマについては、担当教員の研究テーマに限定せず、システム開発、Excelによるデータ分析、マルチエージェントシステム、人工知能などに関連するものであれば、柔軟に対応することができます。良好な結果が得られた学生さんは、学会で発表したり、大学院（広大、北陸先端）に進学したりしています。希望者には、地域活性化の一環として、商店街でのイベントの企画・運営に携わって頂くこともできます。





数学教育、情報教育

情報コース・准教授

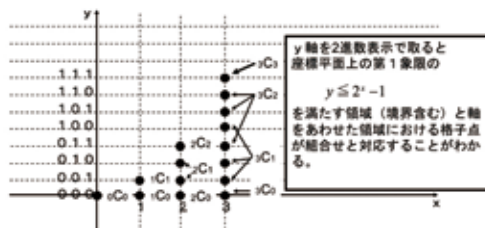
南郷 毅

私の研究室では、学習指導要領や教育に関する社会的背景を理解した上で、教育に関する諸問題を様々な角度から検討します。例えば、「教科間の関連を図る指導が重要である」という命題に対して、「数学と情報の学習事項を関連させた教材」を開発したりします。図で示しているのは、情報で学ぶ「情報のデジタル表現」を活用し、数学で学ぶ「組合せ」を解釈した教材の一部です。2進数を活用し、組合せを座標平面上で表現しています。

最近では、IT企業でも教育関連の案件で教育への理解が求められるようです。教育のわかるIT技術者になってみませんか？

2進数表示を活用した組合せの解釈

■ 座標平面上に表現された組合せ



情報ネットワーク、機械学習

情報コース・准教授

本田 治

ゼミでは情報ネットワークを主なテーマとしていますが、学生の研究テーマとしては加えて機械学習もテーマとしています。情報ネットワークの研究では、ネットワーク上で効率良く通信をしたい、通信の品質を制御したい、などの要求をどのようにすれば実現できるのかについて扱っています。機械学習の研究では、小説の様々な特徴をどのようにすれば自動的に抽出できるのかなどについて扱っています。





解析的整数論

情報コース・講師

宮川 貴史

解析的整数論という分野の多重ゼータ関数について研究しています。ゼータ関数とは、素数の背景にある関数で

$$\zeta(s) = \sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n^s} = 1 + \frac{1}{2^s} + \frac{1}{3^s} + \cdots \quad (\operatorname{Re}(s) > 1)$$

という形をしています。1と自身でしか割り切れない自然数を素数と呼んでいますが、素数の列 2,3,5,7,11,13,17,19, ⋯ は未だ規則性が解明されず、関連としてリーマン予想という最大の未解決問題が残されています。

リーマン予想（懸賞金 100 万ドル）

$$\zeta(s) = 0 \quad (0 < \operatorname{Re}(s) < 1) \text{ ならば } \operatorname{Re}(s) = \frac{1}{2} \text{ である (?)}$$

この予想解決に向けた試みによりゼータ関数の理論は大きく発展し、そこで新たに生まれた多重ゼータ関数の理論が注目されています。



2020 年度卒業論文 (各ゼミナールの代表論文)

- 米中貿易摩擦がもたらした影響

○マルコフ連鎖を利用した文章生成における正確性の向上

○バーチャル株主総会の法的問題に関する一考察

○台湾への中国人旅客数の変化が台湾経済に与える影響

○人のあたたかさにつながりに関する研究
―広島県尾道市を事例に―

○高齢者の交通事故死亡者数と規定要因

○マルチエージェントモデルによるバツタ駆除方法の評価と
蝗害対策に関する考察

○日本の年金制度

○量み込みニューラルネットワークを利用した
「いいね!」の数を推測するシステム

○テキストマイニングによるウェブサイトデザインと
顧客満足に関連分析
―アマゾンショッピングアプリと楽天市場アプリを事例に―
- 観光者の嗜好を踏まえた新型コロナウイルス対応スポット
推薦システム

○うわさで読み取る社会心理

○法人税法 22 条 4 項の公正処理基準と
企業会計の関係性
―法人税法 22 条の 2 の評価を含めて―

○核兵器使用の歴史と核兵器廃絶への歩み

○彦根城の世界遺産登録申請と地域の課題

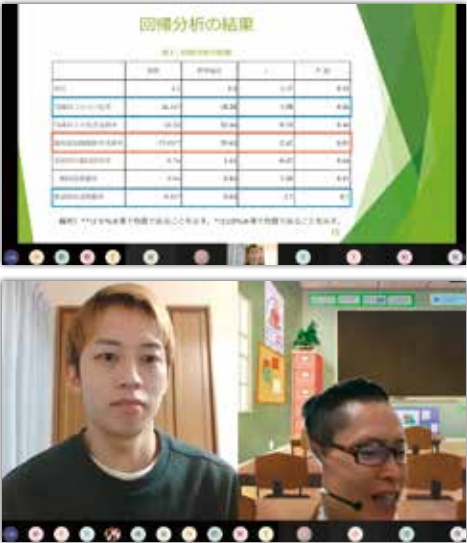


経済コース卒論発表
「高齢者の交通事故死亡者数と規定要因」

金田ゼミ 加藤 宏務

現在日本は、高齢者の交通事故による死亡リスクが高いうえに、急速に高齢化が進んでいます。この現状から私は、高齢者の交通事故死者数を減らすための施策を講じる必要があると考えました。そこで卒業論文では、高齢者の交通事故死者数に影響を与えると考えられる要因について仮説を立て、回帰分析によって検証しました。その結果、高齢者の交通事故死者数には、「75歳以上の人口比率」・「臨時認知機能検査受検率」・「都道府県道整備率」の3つの要因が影響を与えていることを明らかにし、その結果を基に政策提言を行いました。

今回の卒論発表会では、研究成果を大勢の方に聞いていただき、意見を頂くという貴重な経験をさせて頂きました。春からは社会人として、人前でプレゼンをする機会など数多くあると思います。そういった際に今回得た力や経験を発揮できるようにしていきたいです。



経営コース卒論発表

「廃校活用の有益性に関する事例研究 ～地域活性化及び経営的視点から～」

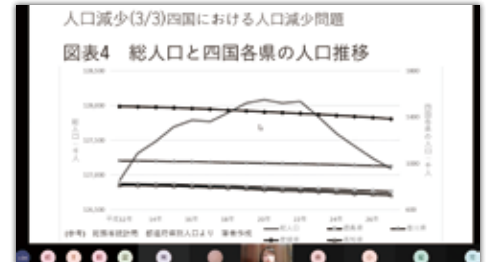
小川ゼミ 田川 真由

私は、人口減少や過疎化によって近年増加してきた廃校問題に関して、地域活性化及び経営的視点から廃校活用の有益性について研究しました。

まず、廃校が出来る背景に関する現状分析と、先行研究のサーベイを行った後、実際に香川県、徳島県、高知県にある3校の廃校活用事例を取材し、考察を行いました。その結果、廃校活用に至った経緯やエピソード、経営者の考えや熱い想い、地域住民との関わりなど要素はそれぞれ異なるものの、どの事例においてもそうした要因がうまく重なり合うことで調和が生まれ、経営、運営されていることが分かりました。

今回、発表会が例年と違ってオンライン開催となったことで、多くの方に気軽にご参加いただき、中でも普段お話を聴きできない他の分野の先生方からご質問をいただけたことは、とても勉強になりました。

今回の研究や発表から得た経験を、今後も活かしていきたいと思います。



情報コース卒論発表

「マルチエージェントモデルによるバッタ駆除方法の評価と 蝗害対策に関する考察」

川勝ゼミ 山下 日菜乃

私はアフリカで発生している蝗害、その対策としての殺虫剤散布の様子をMAS (マルチエージェントシミュレーション) で表現し、考察しました。

現在蝗害を引き起こしているサバクトビバッタは、密集度によって相変異と呼ばれる大きな生態の変化を起こします。この相変異により広範囲で農被害が起き、対策も困難になっています。

ここでバッタの発生・駆除モデルを作成しました。殺虫剤の投入量や頻度を変化させ、バッタの増減や土壤汚染が変化する様子を分析し、バッタの個体数および土壤汚染を極力抑えるという意味での、最適な農業散布戦略について考察しました。その結果、年間で用意されている殺虫剤の半分程度を効率よく年中散布することが、バッタの増加を防ぐ解決策だと考察できましたが、同時に土壤汚染は最も深刻になることが確認できました。

今後はより正確なデータを集め、アフリカ以外の蝗害対策、それによる汚染問題を考察し、その問題解決に導くことが課題であると考えています。



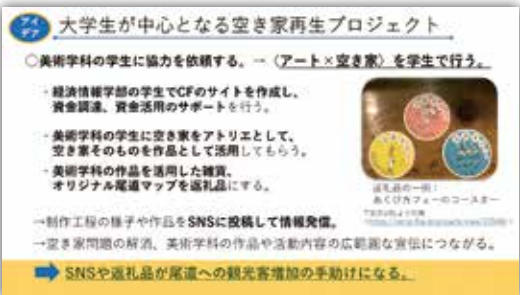
地域貢献



経済情報学科では、経済・経営・情報のそれぞれの分野で、地域に寄り添う教育研究活動に取り組んでいます。例年であれば商店街との連携企画や市民講座等、多彩な活動が見られますが、ここ最近は新型コロナウイルス感染症が猛威をふるう中、思うに任せなかったものもあります。しかし何もせずただ手をこまねいても仕方ありません。危機を賢明に恐れ、できることをする。人工知能分野における地元企業との産学共同研究は着実に進展していますし、データと想像力を駆使して街の振興を考えることもできます。危機の中で充電され、かつ、新たな方向性も与えられた学生たちのエネルギーが、今後、彼らの活躍の幅を自ら押し広げていくことでしょう。

←木村・本田研究室受託研究
「AIを用いた水産塩干物製造における異物選別」

↓森本研究室フィールドワーク
「尾道の歴史遺産をどう集客に結び付けるか」



少人数教育・ゼミ活動

尾道市立大学の特色として「少人数教育」を挙げることができます。経済情報学科は他の2学科に比べて多人数ですが、教育の場を複数かつ多層に分けて提供することで、多様なニーズに応えつつ、きめ細やかな指導ができるように工夫しています。1年次の基礎演習は全員が履修する必修科目で、大学での学びのイントロとなります。3年次から4年次にかけて履修する専門演習（ゼミ）も必修科目です。指導教員のもと、全員が卒業研究を仕上げなければなりません。厳しいようですが、教員が一人ひとりの学生とそれだけ真剣に向き合うということです。他に特別演習も用意しています。教わるだけでなく教員と共に研究に悩み、かつ研究を楽しむ場として、この演習を活用できます。新型コロナウイルス感染症等の予期せぬ事態がもたらす影響に細心の注意を払いながら、学生の「やる気」という最大のニーズに応えて、経済情報学科は学びの場を惜しみなく創出していきます。



基礎演習（1年次）



特別演習（2年次～）



専門演習 Ia・Ib（3年次）



専門演習 IIa・IIb（4年次）

海が見えた
海が見える

五年振りに見る尾道の海はなつかしい

(林芙美子『放浪記』)

芸術文化学部 日本文学科







日本文学科長
灰谷 謙二

社会の変化にともなって、私たちは、知識・理解の「質」をとわれ、思考力・判断力・表現力を発揮することを求められています。ものごとを多角的にとらえる姿勢、必要な情報を的確に扱い運用できる能力、いわば社会の求めに応じた「生きる力」に直結するものを陶冶する意味で、私たち日本文学科も、社会的意義や役割をみつめなおす時代になりました。しかし、日本という枠組みをとおして、人と社会がつくりあげた文化のすがたを、本質的かつ普遍的に求め続けていくことは、変わることのない、私たちにあたえられた役割だと言えるでしょう。

日本文学科では、古典文学、近現代文学、日本語学、中国文学、欧米文学といった文学・言語学の領域を中心に、民俗学、文芸創作、国語教育学も学ぶことができます。「日本」というキーワードで繋がり広がる知のネットワークと、尾道という場が、みなさんを待っています。尾道は、経済的な発展をベースに、精神的な豊かさを涵養し、芸術文化を大事にする土壌をつくりました。私たちの教育と研究の営みは、この尾道のあたたかくやさしいまなざしに守られています。

変えていくべきものは何か、変えてはいけないものは何か、その問を抱えながら一緒に、学んでいきましょう。



アドミッション・ポリシー

日本文学科の教育理念は、日本の文学や言語についての専門的知識や芸術文化への理解など、幅広い視野と深い教養、また高い言語能力を身につけた人材を育成し、人々の精神生活を豊かにし、社会の発展に寄与することにあります。

また、本学科の教育目標は、しっかりとした基礎学力の上に、広く芸術や文化を学びながら日本文学と日本語学の専門分野での研究を深めることで、優れた言語運用能力・論理的思考力・分析力を身につけた、諸共同体のリーダー、教育者、研究者等これからの社会の形成を担う人を育成することです。

このような教育理念・目標に基づき、日本文学科は以下のような人を求めています。

- ・従前の教育課程等において確かな国語の力を身につけた人
- ・問いをもって対象に向き合い、論理的に思考し判断する力を鍛えてきた人
- ・知的探究心をもって日本語・日本文学を深く研究していく意欲がある人
- ・文学作品のもと多様な価値観を柔軟に受け止められる人
- ・高度な読解力・表現力・対話力を身につけ、その力を活かして協働的に社会に参画する意欲がある人

日本文学科の授業

日本文学科は日文学系・日本語学系・中国欧米文学系の3つの領域からなり、広い分野にわたって、専門性豊かな教員が、学生の学習意欲に応え、懇切に指導します。

1年生で基礎演習、2・3年生で専門演習を履修し、卒業論文の研究に結びついていくように科目配置しています。卒業論文は、研究論文だけでなく、創作作品での提出も認めています。

日本文学科では、少人数による徹底した双方向教育によって、教員・学生相互の人間的な触れ合いが密になり、充実した学生生活を送ることができます。

卒業後の進路

卒業生の進路は次のようになっています。

- 進学（大学院・大学・各種学校など）、教育関係（学校教員・塾・教育支援など）、
- メディア関係（出版編集者・有線テレビジョン放送など）、情報通信業、
- サービス業（金融・通信・アミューズメント産業・環境管理など）、公務員。

卒業生は、在学中に学んだことを十分に活かせる職場でそれぞれ活躍しています。また本学には大学院（修士課程）も設置していますので、さらに研究を深めたい学生の進路の一つとなっています。

留学生

日本文学科には留学生も在学しています。国際化が進む今、異なる文化圏の出身者と交流することは自分ないし自分が所属する文化圏を見直すことにもなります。留学生たちと共に日本の文化をより深く学び、幅広く豊かな人間関係を築いてほしい、と願っています。

日本文学科では教員と学生の親睦、同じ学年や学年を超えた学生間の親睦、あるいは自分の研究や学識を広げ深めるために、次のような学科や学会主催の行事を行います。



満開の桜が新入生を迎え入れ、これから4年間をともにする教員や学友と対面です。



新入生は5人程度のグループに分かれ、それぞれのチューター教員から大学生活について説明を受けます。

4月

入学式



5月

新入生交流会

尾道文学散歩

スタートアップ古典

新入生歓迎会



オープンキャンパスでは、在学生在が大学生活で得たものを惜しみなく高校生に伝えています。

8月

オープンキャンパス

10月

卒業論文中間発表

キャンパスツアー

11月

フィールドワーク

1月

卒業論文提出

2月

卒業論文口頭試問

3月

卒業式



2019年度は、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」をめぐりました。



4年間の集大成、「卒業論文」を提出する決定的瞬間！



晴れて卒業の日を迎え、新たな一歩を踏み出します。



日本語学（古典語）

日本文学科・准教授

藤本 真理子

日本語の歴史的変化を中心に研究しています。

今、私たちが話したり書いたりしていることばと、昔の人のことばとは、どこかでつながっているはずなのに、どんなふうに変わってきたのか、まだまだ分からないことがたくさんあります。

古い資料の全てが残っているわけではありません。そのため、これらの資料の点と点をどのようにつないで、歴史や変化の線を描いていくのかは私たちに任されています。

そのときヒントになるのは、他の国のことばや、日本の中の方言など、さまざまなことばの変化です。そうして描き出したストーリーはまた、ことばの世界を広げていくものになるでしょう。



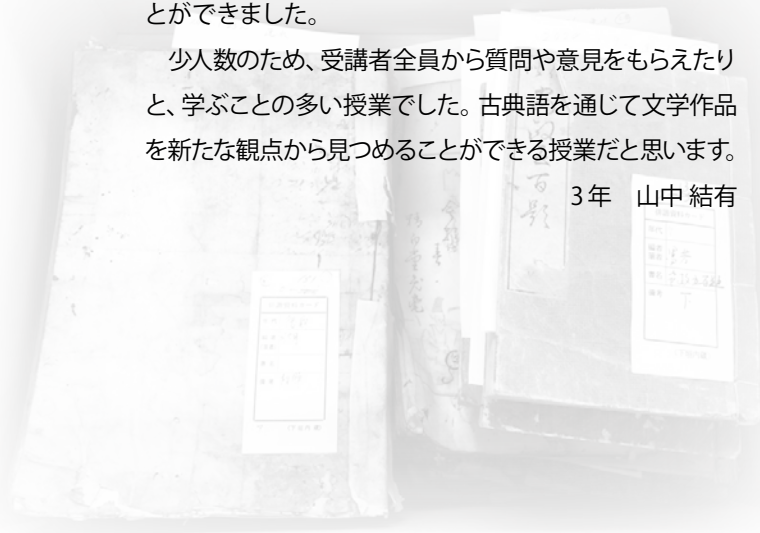
授業風景 古典語学専門演習（洒落本^{しやれぼん}）

「古典語学専門演習」では『洒落本』を通して古典語について学びました。

『洒落本』とは、江戸時代の文学の一種で遊郭の遊びなどについて描かれています。遊女と客の掛け合いの描写には今は使われない言葉や方言などが使われており、それらを取り上げて発表しました。例えば私が取り扱ったものでは、和服の柄に「あみとりのうらもよう」がある、という記述がありました。調べると、この「あみとり」は「ホトギス」のことを指していることがわかりました。ホトギスには異名が沢山あるのですが現代ではほとんど使われることがないものもあるなど、この講義では新たな知識を学ぶことができました。

少人数のため、受講者全員から質問や意見をもらえたりと、学ぶことの多い授業でした。古典語を通じて文学作品を新たな観点から見つめることができる授業だと思います。

3年 山中 結有





日本語学（現代語）

日本文学科・教授

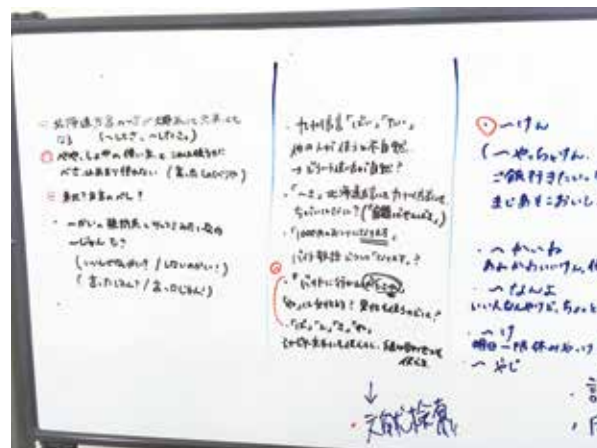
灰谷 謙二

現代日本語、特に方言を専門にしています。最近の共同研究では、日本海沿岸や瀬戸内海などの海上ネットワークにおける伝播の問題や、『瀬戸内海言語図巻』という方言地図の追跡調査プロジェクトに参加しています。言語がどう変化していくかという問題が一番の興味ですが、地域生活者のもののみかたや考え方が反映される言語としての語彙の研究も続けています。映画や小説、漫画にも方言が使われることがありますが、このような形で使われる方言にどのような特徴があるか、創作物に方言を用いることには表現上どういう意味があるのかということも考えています。

授業風景 現代語学専門演習a・b

前期の現代語学専門演習aでは、自分の興味をもったこととがらについて、にかく日常の使用例をたくさんあつめて、分類し傾向や法則性を発見する練習をしました。たとえば名探偵コナンのサブタイトルに使われる漢字に片仮名のルビがふられるタイトル（「紺青の拳（フィスト）」等）への興味をきっかけにして、漢字熟語に和語や外来語の読みをふる表現行為がどのように発達したか、今それがどんな表現意図でもちいられるかという問題に発展させていきました。

後期の現代語学専門演習bでは、文末の終助詞（文末詞）をとおして、音声言語（それぞれの出身方言）を表現として文まるごとでとらえる調査方法をまなび、実際のことばを観察し形態的な分析や意味・機能の分析をおこないました。





日本中古文学

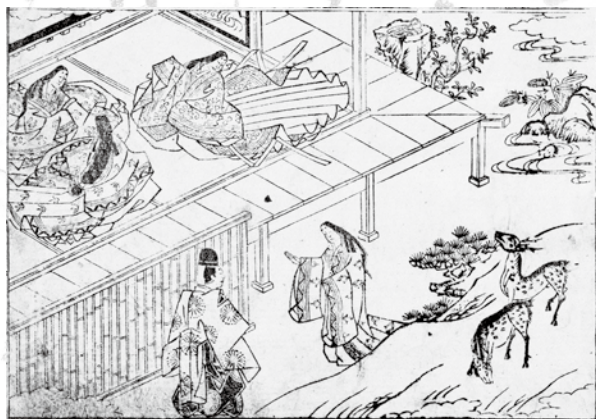
日本文学科・教授

宮谷 聡美

かつて私が日本文学科を選んだのは、物語や小説の中に「自分と同じ人がある」と思ったからでした。今思えば、それは、自分が何を考え、何を大切だと考えているか知りたいということ、それをすでに圧倒的な力で表現している人がいたことへの驚きと尊敬ということでしょう。

その後、おもに『伊勢物語』を中心とした歌物語について研究してきました。歌物語というかたちが生み出されたのは平安前期のごく一時期のことですが、その後も歌は物語の中に存在し続けます。和歌が散文とどうかかわっているのか、平安時代の仮名物語がどのようにして誕生し、後の文学、文化にどのような影響を与えてきたのかということに関心があります。どんな作品もある日突然発生するのではなく、互いの関連の中で生まれ、新しい文化を生み出す土壌となっていくます。

皆さんが、自分にとってかけがえのない何かに「出会う」ことを期待しています。





日本中世文学

日本文学科・教授

藤川 功和

私の研究テーマの一つは〈中世の日記〉ですが、豊臣秀吉の甥木下勝俊^{かつとし}の『九州の道の記』には、京都から肥前名護屋に下向する折に立ち寄った尾道について、相応の筆が割かれています。

尾道といふ所より、舟に乗りておもしろき浦々に心を慰めて…

そこに描かれているのは、沖の小島に船を付けて「浮き寝のあはれも身に知られ」ながら、「いとど袖の上もしをれがち」に、「小さく美しき貝どもの多くあるを拾」う、ちょっぴりおセンチ（死語?）な勝俊の姿なのです。

どうやら、尾道には時代を問わず、人を感傷的にさせる〈ナニカ〉があるようです。



中世研、ただいま復興中…

さざ浪や志賀の都は荒れにしを昔ながらの山桜かな
（千載和歌集・春上・よみ人しらず）



日本近世文学

日本文学科・講師

吉田 幸

日本近世文学とは江戸時代の文学のことで、私は近世中期（1700年代頃）の文学を中心に研究しています。とくに当時の文学が同時代の思想や自然科学と、どのように関わり合っているのかという点に興味があります。そのため、いわゆる「文系」「理系」といった今日的な枠組みにはとらわれず、分野横断的視点から考察を深めていくところに私の研究の特色があります。また、近世中期における本屋の出版活動についても調査を行っています。

近世文学の研究では、浮世草子や読本といった近世小説だけでなく、妖怪や遊女、さらには本草・博物学といった一見すると文学とは無関係に思われるものまで、あらゆるものが考察対象となります（かくいう私も、近世中期のある文学作品に描かれたカッパの挿絵と当時の博物図譜との関係を調べたことがあります）。

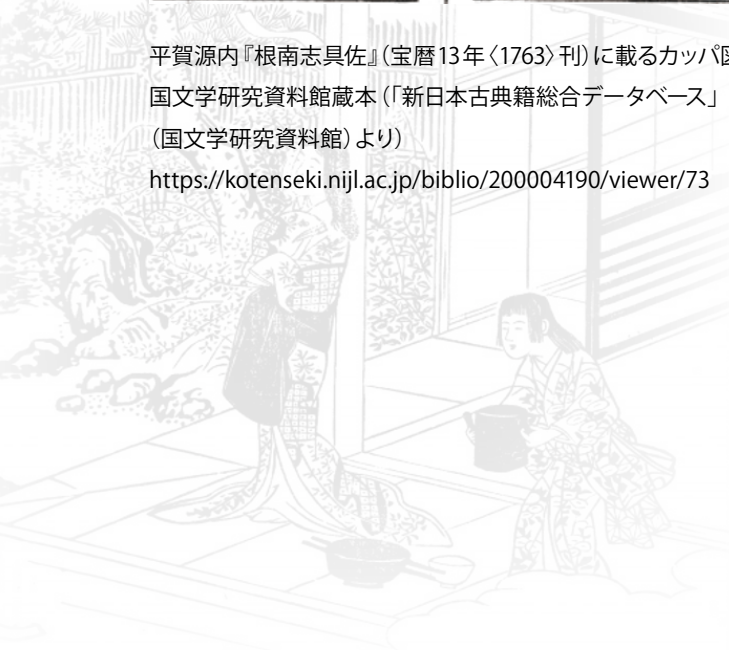
近世文学を通して様々な物事を多角的に捉えることは、現代において「当たり前」と認識している枠組みを相対化し、改めて考え直すよい機会となります。またそれ以上に、自分の興味にしたがって、その知的好奇心を満たせるというのは実に幸せなことです。

既存の枠組みに縛られず、自らの関心がおもむくまま、ぜひ一緒に学びを深めてみませんか。



平賀源内『根南志具佐』（宝暦13年〈1763〉刊）に載るカッパ図
国文学研究資料館蔵本（「新日本古典籍総合データベース」
（国文学研究資料館）より）

<https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/200004190/viewer/73>





日本近現代文学

日本文学科・教授
柴 市郎

私の専門領域は日本近代文学です。明治時代から昭和期までの文学を主要な研究対象としています。作家で言えば、夏目漱石や小林秀雄といった文学者たちが対象です。さらに現在は、自分の研究領域を小説や評論といったジャンルに限定せず、映画など活字メディア以外の分野についても考察しています。

近年、文学研究の世界は多様化し、一昔前では文学研究の領域とは見なされていなかったジャンルに関する研究もなされるようになってきました。学会の研究誌にも、アニメーションなどのサブ・カルチャーや映画に関する研究論文が掲載される時代になりました。

こうした新たな文学研究の動向にも配慮し、多様なジャンルの表現にも視野を広げてもらえるよう、講義・演習をおこなっています。右は、近現代文学専門演習という授業において、昨年度の学生たちが自主的に取り組んだ研究テーマをもとに履修学生 岡本彩夏、近藤泰成、篠原亜友、永岡侑里子、原悠馬（4年）、千々和朋憲（卒業生）がデザインしました。これをご覧くださいと、文学の勉強と言っても、有名な作家や小説についての研究ばかりでなく、今日では実にさまざまな切り口があることをおわかりいただけたと思います。



吾輩ハ猫デアル
(上編・中編・下編)

夏目漱石

夏目漱石

花袋

節

武蔵野

国木田独步

思ひ出

北原白秋

大津順吉

志賀直哉

永井荷風

与謝野晶子

武者小路実篤

秋声

一葉

四迷

有三

村松道平



日本近現代文学

日本文学科・准教授

原 卓史

研究対象

坂口安吾・太宰治などの〈無頼派〉〈新戯作派〉を中心に研究活動を行っています。作者の意図を考えることだけが文学研究ではありません。時代背景の考察、歴史的な文脈の中での作品の位置づけ、文学理論の援用など、ありとあらゆる可能性を考え小説を読み解いていきます。また、歴史小説・時代小説を中心とした大衆文学についても興味を持っており、ライトノベル、マンガ、アニメ、映画、ドラマなど、領域横断的な研究も行っています。



ゼミ風景

2021年度は、大学院生1名、4年生8名、3年生10名でゼミを行います。学生は修士論文、卒業論文、文芸創作を執筆（論文テーマ：林房雄、夢野久作、笹野頼子、谷崎潤一郎、太宰治、江戸川乱歩、司馬遼太郎、梶井基次郎など）します。文芸創作を卒業制作にする学生も4名います。いい卒業論文を書くためにはいい論文をたくさん読まなければなりません。また、いい小説を書くためには、いい小説をたくさん読まなければなりません。

授業風景

前期：パソコンを用いて日本文学の研究の仕方を学ぶ「日本語表現法」、代表的な日本近代文学の作品を読む「日本文学史」、昭和期の小説について学生が発表を行う「近現代文学専門演習」などを担当。

後期：飯嶋和一『星夜航行』の精読を行う「日本文学講読」、織田作之助について考察する「日本文学講義」、大正・明治時代の小説について学生が発表する「近現代文学専門演習」などを担当。

著書&編集協力

2013年に刊行した『坂口安吾 歴史を探偵すること』と、編集協力者として2014年に出版した『田中英光事典』（太宰治の弟子）です。





国語教育学

日本文学科・教授

信木 伸一

「国語教育学」は、一言で言えば、ことばの力の教育を研究する学問です。「ことばの力」は、ことばによって自分と〈世界〉や〈他者〉との関係を新たに創り出したり別様に組み替えたりする力です。これは、よりよく生きることに関わる学力だと言えるでしょう。

読む力を例に考えてみましょう。読むということは、新しい自分を作っていくことに関わっています。小説にせよ評論にせよ、それを書いた人がたとえ意識せずとも、自分の生きる社会や文化の中での何かを問題にとりあげて、自分にとっての現実の意味を付け加えて創り出したものです。その問いかけと現実の意味づけをめぐる、私たち自身のことばを紡いでいくなら、それは新しい見方や考え方を創造する対話的な読みの行為だと言えるでしょう。このような読みの学力を獲得する学習の理論と方法を探求するのも国語教育学の研究テーマの一つです。

国語教育は、これからの言語文化を創造していく担い手を育てるものです。文学の近接領域にあって、常に実践と結びつくことが想定された学問であり、本学で文学やことばについて深く学んだことを社会で活かす一つの道だと言えます。

ゼミ風景

信木ゼミには、主に教職課程を受講している学生が集まり、国語教育に関する研究をしています。国語教育といってもその内容は様々です。私は国語の授業の中で行われる「交流」の効果を研究していますが、研究の具体的な内容や方向性は信木先生や他のゼミ生から沢山の助言を頂いて決めています。また、それによって新たな発見も得られるところがこのゼミの良いところだと思います。教育に興味のある方は是非一度訪ねてみてください。

4年 松井 咲保

信木ゼミでは、国語教育について研究をしています。私は、国語科と道徳科を比較・分析を行うことで、二つの教科を明確にし、実際の教育現場で活かすことを目標としています。初めから、このような研究内容が決まっていたわけではありません。しかし、信木先生の手厚く丁寧な指導により、自分のやりたいことを決めることができました。まだテーマが曖昧な方や、少しでも教育に興味がある方はぜひ信木研究室をのぞいてみませんか。

4年 荒木 桃果





中国文学

日本文学科・教授

鷹橋 明久

現代の日本は、欧米文化の影響下にありますが、明治以前にあつては、およそ1500年にわたって、中国文化の影響を受けてきました。したがって、中国の伝統文化は日本文化の基層に埋もれ、現代を生きる日本人に無意識のうちに作用しているといえます。われわれ日本人の体質に潜み、もはや皮膚感覚にすらなっているものを呼び覚まし、われわれ日本人の内面に存在するアジア的な感覚をどんどん発掘していきたいと思います。現代を生きる我々が見過ごしてしまった生き方や考え方の素晴らしさを、皆さんと一緒に享受していきたいと考えています。（ゼミでは主として中国古代から中世にかけての文学、また頼山陽、菅茶山等の日本漢詩人についても扱っています）





欧米文学

日本文学科・准教授

小畑 拓也

20世紀中頃以降のアメリカのSF (science fiction/speculative fiction) を研究対象にしています。文化研究 (cultural studies) の立場から、娯楽として消費されるステレオタイプ化したイメージ (ロボット、異星人、モンスターなど) の分析・再解釈を通じて、「常識」というかたちで人の意識を縛る固定観念を解きほぐせないものか試行錯誤を続けています。

授業風景

【授業・演習】

「欧米文学概論」・「欧米文学講義」・「比較文学」の講義科目では、「文学」との関わり方を「趣味・消費」から「研究・再生産」へと切り替えてゆく上で必要となる、術語の提示・解説に注力しています。演習科目の「欧米文学専門演習」では、受講者が自身の興味関心のあり方に応じて主体的に文学研究に取り組んでゆくための、情報収集と分析の訓練を積んでもらうことにしています。

【ゼミ】

英米文学の研究者である私が日本文学科で受け持つ特殊なゼミであるため、外国語の資料を通じて積極的に情報収集を進める意欲を持つ人の参加を求めています。





文芸創作

日本文学科・教授

光原 百合

文芸創作を教えていると言うと、しばしば「文芸創作って教えられるんですか？」と驚かれることがあります。創作とは他人に教えることはできない神秘的な取り組みだと思う人は、かなり多いようです。

確かに、「何を書きたいか」については自分で模索し、つかみ取っていくしかありません。その意味では「他人に教えることはできない」と言っていていいでしょう。

しかし、「書きたい内容をどうしたら他人に的確に伝えられるか」については、純粋に技術的なことであり、経験者から教えられることがたくさんあります。

たとえば陸上競技でも、「走りたい」という思いは走る本人だけのものですが、より速く走るためのフォームをコーチに教わることはでき、それによってぐんと記録が伸びるということもありますね。文芸創作においても同じことがしばしば起こります。

そんなわけで文芸創作の授業では、「自分が書きたいことを的確に伝えるのに効果的なフォームを身に着ける」のを目標に、様々な課題に取り組みます。



風景描写の練習中です。

授業風景

文芸創作の授業では、「作品を作る」以外にも、「作品を分析する」ことがあります。また、作品を作ったり分析したりするために、表現の技法について学び、「どうしたら効果的に作者の意図を伝えられるか」を練習していきます。

具体的な内容としては、全員が同じプロット（あらすじ）で作品を作る「プロット課題」があります。あらすじが同じであるはずなのに、学生によってそのあらすじをどう扱うかがかなり違います。授業内では作品のいくつかが先生によって、そのあらすじの中身を「どう活かしているか」が解説されるので、自分以外の人がどういう意図を持って創作したのかを見ることができます。他にも、指定された色を、文中にその色の名は出さないで、その色を思い浮かべられるような作品を書く「色課題」などがあります。例えば、私は「琥珀色」が課題でした。

文芸創作は、最終的には一人でするものかもしれませんが。しかし、それまでの過程で様々な技法や、創作を鑑賞する上での見方を学ぶことは、とても大切なことだと思います。伝えるための手段は、多いに越したことはありません。

3年 竹内 万葉



民俗学・伝承文学

日本文学科・教授

藤井 佐美

「伝承」というキーワードを手がかりに、文学と民俗学の両面から日本文化を研究しています。文字だけでは理解できない世界も、フィールドワークを通して身近に感じられる場合があります。個人的には、昔のお坊さん達がお説教に取り入れた昔話や伝説、口伝の世界を研究していますが、一方では様々な地域の民俗調査も進めています。まったく別世界に思われる分野が自然に結びついた時、日本文化の奥深さを実感するだけでなく自分自身が何者なのか、これから何が必要なのか、少しずつ見えてくるような気がします。ゼミには好奇心旺盛な学生達が集まり、重層的な研究方法から自分達の意外な面を発見しているようです。



ゼミ学生の研究テーマより

『今昔物語集』の茸説話
 蛸の昔話
 絵巻物の百鬼夜行
 福井県小浜市の八百比丘尼伝説
 長崎県長崎市の汚池姫伝説
 呉市の音戸の舟唄
 山椒魚の伝承研究
 鳥取県の赤松池伝説
 三重県の祭祀とダンダラボッチ
 大分県の真名長者伝説
 島根県雲南市の神楽
 山口県湯田温泉の開湯伝説
 徳島県的首切れ馬伝承
 兵庫県佐用町の清明塚・道満塚
 尾道市御調町の昔話・伝説
 広島県安芸太田町の伝説
 高知県の妖怪シバテン
 広島県府中市のセツ池伝説
 和気姫伝説と瀬戸内の祭祀
 福山市神辺町御領の鬼伝説
 東広島市の菖蒲前伝説
 岡山県のさんぶ太郎伝説
 尾道の浦島太郎と竜宮伝説
 岡山県の温羅伝説
 流し雛
 四国の狸伝説
 鬼が神になる祭
 大分県姫島の神話と伝説
 絵巻の動物
 神楽研究
 全国の山姥伝説
 月見と禁忌
 御伽草子と昔話
 広島県竹原市の塩田文化
 雨に関する古代表現
 災害を伝える民話
 日本の地藏信仰
 愛媛県中島のおみどり神事
 姑獲鳥の歴史
 羽衣と天人女房
 島根県の丹塗箭伝説
 瀬戸内海のカラスの神事



英語

日本文学科・教授

高垣 俊之

私は複数言語の習得・使用に関する諸問題を、個人、教育、社会の各面から主に英語に着目して研究をしています。

個人面の研究では英語と日本語のリテラシーを分析し、教育面の研究では国際語としての英語という視点から調査をし、社会面の研究ではカナダの言語政策を通して検討してきました。その他、日本やオセアニアにおけるマイノリティの言語事情にも関心があります。また最近は、英語や英語圏文化について、アメリカ・カナダ・ニュージーランドの視点から「三角測量」を趣味レベルで試みています。

これからも Multilingualism/Translingualism の世界を広く深く探求していきたいと願っています。



英語

日本文学科・教授

平山 直樹

私の専門分野は英語学で、15世紀イギリスの名家であるパストン家の人々が書いた手紙や法的文書などの英語を研究しています。2019年度にはサバティカルで半年間英国オックスフォードに滞在し、オックスフォード大学ボドリアン図書館のリーディングルームや同大学モードリン・コレッジのオールドライブライブラリーを訪れて、15世紀に書かれた手書きの文書を観察しました。また、羊の皮でできた羊皮紙や蝋を使った契約書の紋章など、文字以外の特徴も見ることができました。この滞在中に得られたものを、今後の研究に役立ててゆきたいと思います。

授業は教養科目の英語を担当しています。TOEIC 対策の授業では、テストへの対応力だけでなく、会社、旅行、広告、ショッピングなど、ビジネスや日常の場面で使う英語の基礎力を身につけることを目指します。また、読解演習を中心とした授業では、文構造および談話構造をとらえて文脈に合った解釈をする練習を繰り返します。これにより、辞書と読解方略を組み合わせれば正しく英語が読めて、授業後も自己学習が進められる力を身につけることを目指します。





心理学

日本文学科・教授

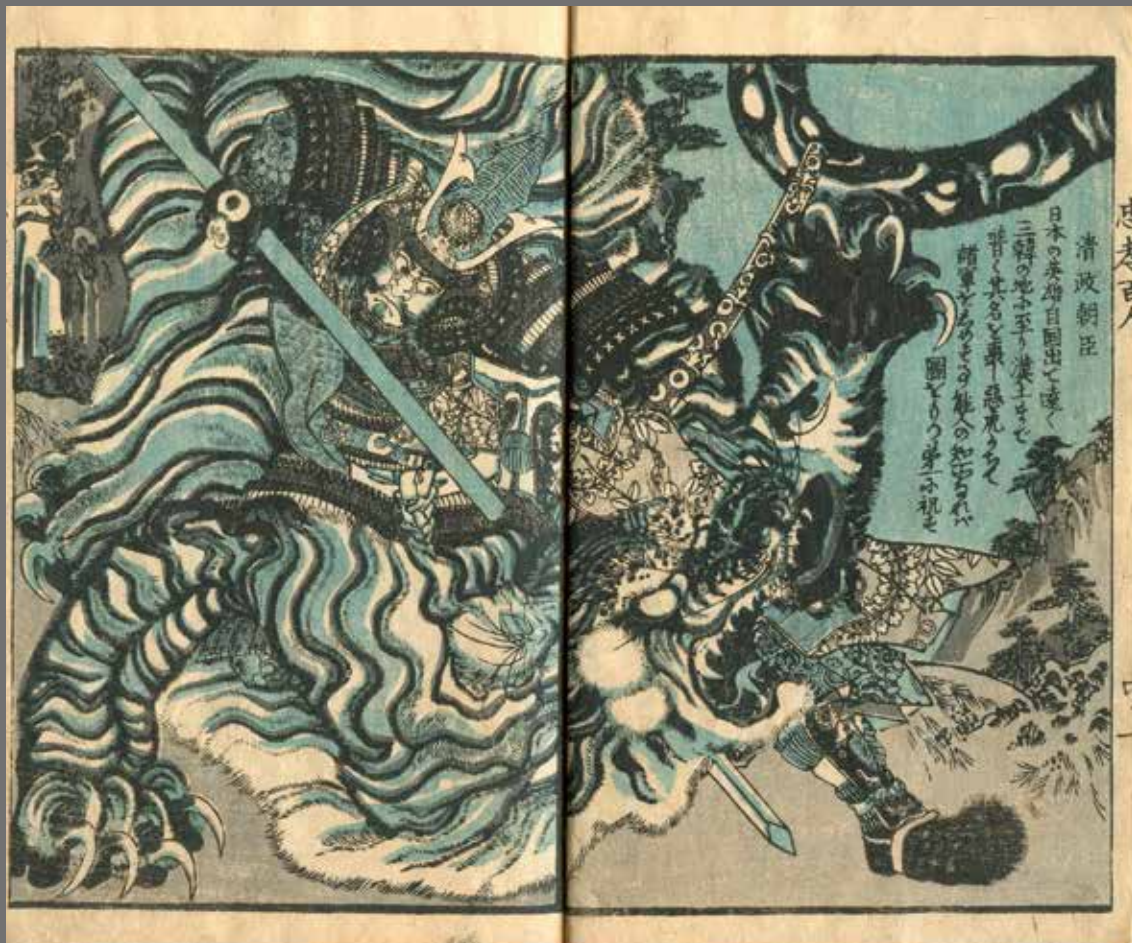
塚本 真紀

自分勝手な解釈や決めつけは私たち人間の得意技ですが、得意すぎて自覚がないこともしばしばです。心理学では、人間の解釈や認識をとらえるために、ふだんあまり明確には意識していないような人間の反応を、あえてさまざまな手法でとらえていきます。日常生活で人間の反応をとらえるときも、教育活動における教員と生徒とのかかわりを考えるときも、研究の中心になるのは丁寧な「観察」です。「観察」というとただひたすらじっと観つづける、という受け身の行為のように思われがちですが、実際にはかなり能動的な行為です。具体的にどのように観察すると人間を理解（ある程度ですが…）することができるのか、心理学の講義を通して学んでいただきたいと思います。

私自身は多義的な言語表現のとらえ方の個人差に興味を持って研究を進めています。心理学系の講義を受講した学生さんには、時々、実験課題や調査への参加を呼びかけることがあります。少し緊張してしまうかもしれませんが、気楽な気持ちでいつもの自分を出してもらえるとうれしいです。

そのほかに、教職課程の担当として、学校や福祉の現場での体験や学生のピアサポートを推進する活動を行ったり、教員採用試験の学習会を開催したりしています。学部・学科・学年を超えて、教職を志すみなさんが学び合う場を提供していきたいと考えています。

中世文藝研究会



こ、これも『百人一首』だと…？

日 時 毎週水曜日
場 所 中世研究室
募集人数 若干名

和歌文学研究会 うたかた



平安時代の歌人、
藤原兼輔さんの歌集を
読んでいます。
みそひともし
三十一文字の世界を、
一緒に体感してみませんか？

伝承文化研究会

日本の様々な伝承世界を資料調査やフィールドワークから研究しています。身近な地域の昔話や伝説研究、発掘した古文書の活字化、データベース化なども進めてきました。大学をとりまく豊かな自然と人々とのあたたかい交流で得た成果は、映像資料や音声資料、報告論文にまとめ一般公開もしています。尾道から、過去・現在・未来の日本文化を考えてみましょう！



尾道市立大学日本文学会は、日本文学科所属の教員と学生及び学会の趣旨に賛同する方を会員として、学会大会（研究発表会）・講演会・学会誌発行などの活動を行っています。

学会誌には学生も研究論文や創作作品を投稿しており、日本文学科の活動成果の重要な発表の場となっています。

尾道市立大学日本文学会



学会誌『尾道市立大学日本文学論叢』最新号



第12回おのみち文学三昧プログラム

翠幻地



翠幻地 第52号 表紙デザイン
美術学科卒業生 西野 綾華



オンライン開催の様子

『翠幻地』は各学年の編集委員と協力スタッフによって発行される日本文学科の広報誌です。その内容は、学生や教員のインタビュー、研究会紹介など多岐に渡ります。取材、執筆、頁レイアウト、デザインなど、ほぼ学生の手で作られています。近年は、編集にDTPソフトを導入するなど、編集作業がより深化しています。編集委員が一丸となって、ますます『翠幻地』の魅力を高めてゆきます。

おのみち文学三昧は、尾道市立大学日本文学会と日本文学科共催の文学イベントで、学生・教員の研究発表と、外部講師を招いた公開講演会の二部構成です。

昨年度は、2009年の開始以来、初の遠隔開催となりました。全国各地の参加者が距離を越えて、〈ことば〉を頼りに一つに繋がるという、文学の本来的な在り方を体感する貴重な時間となりました。



▲告知ポスター デザイン
美術学科卒業生 西野 綾華

おのみち文学三昧



公開講演会では、講談師の旭堂南海さんが、大阪のご自宅から講談「明智光秀」を読んでくださいました。NHKの大河ドラマ「麒麟がくる」とは別の光秀像を熱く語ってくださいました。



南海さんと旧知の間柄である、近世文学がご専門の藤沢毅本学学長との遠隔スペシャル対談も実現しました。



公開講演会、スペシャル対談ともに、QRコードから動画を視聴できます！

第2回尾道てのひら怪談開催



おのみち怪談2

表紙デザイン 美術学科卒業生 青井 典子

「てのひら怪談」とは、800字で綴る掌編怪談の呼称です。もともとは、2012年にネットを通じた全国コンテストとして始まり、非常に質の高い作品が集まったため、「てのひら怪談作品集」が何冊も刊行されました。ここに掲載されたのがきっかけで作家になった人が何人もいます。やがて各地の怪談ファンが、その地域にちなんだ「てのひら怪談」を、という企画を立てるようになり、いわば「御当地てのひら怪談」として、西荻、京田辺、大阪などで何度もコンテストが行われました。

歴史が古く、風景も美しい尾道でもてのひら怪談の傑作が生まれるに違いないと考えた日本文学科教授の光原百合が、専門としている文芸創作の指導にも役立てるべく、第1回尾道てのひら怪談コンテストを2016年に企画・開催しました。幸いにして全国から多くの作品が寄せられ、大変好評だったため、第2回を企画・開催しました。2020年末から2021年の初めまでを募集期間とし、短い期間にもかかわらず第1回よりさらに多くの作品が寄せられ、2021年2月に入選作を発表しました。入選作は作品集として発行しました。

第1回尾道てのひら怪談コンテストの入選作は『おのみち怪談』(本分社)で、第2回コンテストの入選作は『おのみち怪談2』(本分社)で、お読みいただくことができます。

尾道市立大学芸術文化学部には日本文学科と美術学科が併設されており、全国的に見てもユニークな構成となっています。その特色を生かした文章と絵のコラボレーション企画をご紹介します。

〈尾道の魅力を新たな創作作品によってさらに輝かせる〉というコンセプトのもと、2006年から毎年、日本文学科生が尾道を舞台にした物語を執筆し、美術学科生が装画や挿絵をつけて制作している作品集が『尾道草紙』です。準備にあたっては学生たちと一緒に実際に尾道の街を歩き、自分の感性で魅力的な場所を見つけて作品を作るよう促しています。今では尾道市立大学芸術文化学部の特色を表すものとしてすっかり定着し、2021年3月には第15号を発行しました。西国寺、持光寺、千光寺公園など、尾道の様々な名所を舞台とした物語7編を収録しています。

尾道草紙



尾道草紙15

表紙デザイン 美術学科卒業生 穴吹 花恋

表紙絵 美術学科卒業生 村田 香月

近代文学研究者であり、学習院女子大学教授であった高橋新太郎氏（昭和7～平成15）は、貴重な資料を含む膨大な蔵書を残されました。そこには、作家の自筆原稿や書簡、演劇関係のパンフレットなど芸術的にも興味深い資料が多数含まれています。現在、日本文学科では、これらの貴重な資料の整理、データベース化作業にも取り組んでいます。



2019年に開催された「おのみち文学三昧」の展示ポスター



2019年に開催された「おのみち文学三昧」での展示



高橋新太郎文庫

尾道文学談話会



尾道文学談話会会報 第11号表紙デザイン
美術学科卒業生 穴吹 花恋

日本文学科を中心とする本学の教員が文学や言葉にかかわるさまざまな話題を提供し、地域の方々と大学の外で語り合う形式の公開講座です。ここでの成果は毎年『尾道文学談話会会報』にまとめられており、会誌の内容はインターネットでもご覧いただけます。

2021年度・尾道文学談話会（全6回）

- | | |
|-------------|--|
| 第1回
(実施) | 昔話「犬の足」の伝承世界
藤井 佐美 (日本文学科教授) |
| 第2回
(中止) | 昔話「猿の生き肝」を仏教典籍で読む
藤井 佐美 (日本文学科教授) |
| 第3回 | 小津安二郎『東京物語』を見る＝読む
柴 市郎 (日本文学科教授) |
| 第4回 | SF アニメとジェンダー
小畑 拓也 (日本文学科准教授) |
| 第5回 | 心配の適応の意味
一岩倉政治「空気がなくなる日」を読む＝
塚本 真紀 (日本文学科教授) |
| 第6回 | 青木茂文庫と尾道文芸誌
林 良司 (尾道市史編さん事務局)
肥田 伊織 (尾道市史編さん事務局) |

確かな造形力
表現を磨く。

表現する意欲
感覚を開放する。

メディアの有効利用
美しく伝達する。

芸術文化学部 **美術学科**







芸術文化学部長
矢野 哲也

美術学科は2001年に、4年制の尾道市立大学としてスタートをするのと同時に、新しく設置されました。

それから二十年が過ぎましたが、これまでに多くの卒業・修了生を社会へ送り出してきました。そのなかからは、作家やデザイナー、指導者などを含めて、様々な分野で美術の専門性を活かして活躍する人達を輩出しています。

本学のある尾道市は海の幸や山の幸に恵まれると共に、自然豊かな山並みには由緒ある寺が多く点在し、長い歴史を感じさせてくれます。また、海と山とがせめぎ合う風景に瀬戸内の明るい光が降り注ぎ、ゆったりとした時間が流れる中で過ごしているとゆかしい気分させられます。そのような街の空気に包まれながら、美術学科の学生達は自分自身の作品制作・研究や学問に熱心に取り組んでいます。

これから美術分野と関わり、活動を志す若い人達にとって、後々に大きく飛躍する為にも、基礎力や専門知識を身につける事にしっかりと取り組める大学での4年間は、非常に大切な時間となるでしょう。これは例えると、芽生えたばかりの花の苗を育てる時に似ていると思います。小さな花の苗を早く成長させようとして即効性の化学肥料を沢山与えると、一見大きく立派な様に成長します。しかし、その花の苗は後になって病弱になったり、花を咲かせることなく立ち枯れてしまったりします。皆さんはこれから長い道のりを進んで行くわけですから、まず急がず、焦らず、しっかりと自分の個性と向き合い、一人ひとりが将来に向けて自分の志を実現して行くために必要な力を培ってもらいたいと思います。美術学科では、常にその為のアシストと良好な環境作りを心掛けています。

我々教員一人ひとりも、それぞれの専門分野の作品制作・研究に対する研鑽を積みながら、日々学生と関わっています。同様に、これから尾大生となる皆さんとも、一緒に成長して行けることを楽しみにしています。



選択コース(日本画コース・油画コース・デザインコース)

1
年
次デッサン基礎実習・彫刻実習・構成実習(平面・立体)
総合基礎実習(日本画・油画・デザイン)1年次後期にコース選択
2年次にコース確定2
年
次

日本画コース	油画コース	デザインコース					
風景制作 人体デッサン 静物制作 人物制作 動物制作	ドローイング 下地実習 静物油彩 構成油彩 人体油彩 風景油彩	6つの研究室から選択 (各領域から課題を出題)					
		グラフィックデザイン	アドバタイジング	イラストレーション	映像デザイン	造形デザイン	クラフトデザイン

3
年
次

風景制作 人体デッサン	自由制作	地域プレゼンテーション
古美術研究演習		
	進級制作	進級制作

4
年
次

自由制作 人体デッサン 人物制作 卒業制作	自由制作 卒業制作	自由制作 卒業制作					
--------------------------------	------------------	------------------	--	--	--	--	--

大
学
院専門領域の制作および研究
(より専門的な制作や研究を行う機関として大学院が設置されています)

アドミッション・ポリシー

美術学科の教育理念は、美術における専門家として持続的に造形活動に携わり地域や社会の文化・芸術に寄与する人材を育成することにあります。

学生諸君の美に寄せる豊かな個性を尊重しつつ、専門的知識・技術、芸術文化の理解、幅広い視野を身に付けさせ、専門的な実技教育を行うとともに学生相互の切磋琢磨の機会を設けることで、本学科の教育目標である、作家やデザイナーとして、あるいは美術教員や学芸員等として、持続的に美術に携わることのできる人材の育成を目指しています。

このような教育理念・目標に基づき、高校までの学修を通して培った理解力、思考力と美術の基礎的な表現力を前提とした上で、美術学科は次のような人を求めています。

- ・美術への広い視野を常に持ち、自らの能力を高めていこうとする強い意欲のある人
- ・自らの信念を持ち、将来にわたってそれを持続していける人
- ・自己の可能性を信じ、その具現化に対しての努力を惜しまない人

専攻を選択できるコース制

1年次は、基礎実技を重視して基本的な造形能力を養います。全員が共通課題として、デッサン基礎実習、彫刻実習と3つのコース課題(構成実習/日本画・油画・デザイン)を体験します。その後、各自志望コースの課題(総合基礎実習/日本画・油画・デザイン)を選択し、自己の資質と方向性を吟味します。2年次からは3つのコース(日本画・油画・デザイン)に分かれ、1年次で学んだ基礎力を踏まえて、それぞれの分野の知識や技術の修得に力を注ぎます。

美術学科では、美術における専門家として持続的な造形活動に携わり、地域や社会の文化・芸術に寄与する人材の輩出を目標としています。このことを踏まえ、所定卒業単位の取得と卒業制作に加え、以下の能力を身につけた学生に対し、学位を授与します。

- ・専門分野の基礎的な知識や技術を習得し、自己表現の可能性を積極的に探求できる力
- ・創作活動を継続的に行う能力や意欲
- ・美術を学んだことにより身につけた視点やコミュニケーション能力を、社会や自己における新たな問題発見や解決につなげていける展開力や応用力

尾道から外部へと発信

美術学科では、尾道という「場」で制作活動を行うことの可能性を最大限に活かすことを模索しています。

大学のある久山田水源地近くの静謐な環境は、個に集中し制作に打ち込むのに適しています。

また、大学近隣の豊かな自然や尾道の街並みは、多くのインスピレーションを与えてくれることでしょう。実際に、その豊かな自然環境や風景を活かした制作や、尾道の街中を実践の場とする展覧会、イベント参加等の活動、産学連携のプロジェクトや市民団体とのコラボレーション等も活発化してきています。

今後、これらの活動が一層充実し、ここでなければ創れない独自の価値を外部に発信していくことを目標としています。

充実した制作環境

美術学科には、日本画、油画、デザインそれぞれの領域の制作に適したアトリエがあります。学生たちは潤沢なスペースでじっくりと専門の制作に取り組むことができます。

それ以外に、大人数での実習に適した大空間を持つ石膏室や、各種工房施設があります（CG、写真、彫刻、金工、木工、塗装、セラミック、版画）。各工房ではそれぞれの素材についての専門的な技術を学ぶことができます。また、学生個々の自主制作でコースの垣根を越えて工房施設を活用することができます。



CG 実習室

iMac 40台を常設した実習室です。レーザープリンター、大判プロッター、3Dプリンター、製本機、レーザーカッターなどを設置。グラフィックデザインを制作したり、映像編集することに特化した充実した設備です。



写真スタジオ

4Kビデオカメラやデジタル一眼カメラ、照明設備などが揃った撮影スタジオ。デジタルに対応した機材を導入し、撮影技術を学びます。制作した作品を撮影することもできるなど、多様な利用が可能な工房です。



彫刻実習室

2つの教室と屋根付きテラスに加え、広々とした屋外制作スペースがあります。屋内では彫塑や造形制作を、屋外では石彫などを行います。自由素材の研究の場としての利用も可能です。



金工実習室

金工技法の彫金、鍛金、鋳金それぞれの制作を行う設備が整っています。西日本の美術系大学では珍しいブロンズ、およびアルミニウム鋳造のための溶鉱炉を備えています。金属素材をベースとした造形制作に適した環境を備えた工房環境です。



木工実習室

大型木材加工用の機材が揃っている機械室と、作業スペースで構成されています。器、家具、オブジェ、絵画のためのパネルや額作りなど、木質素材をベースとした多目的な利用が可能です。



塗装実習室

各種スプレー塗装に対応した大型水洗ブース、乾燥炉はもとより、今年度より漆塗りのための塗部屋、漆室を新たに備え、塗装環境をさらに充実させています。



セラミック実習室

陶芸（セラミック）用電気釜2基、電動ろくろ10台を備えており、器からオブジェまで、幅広い制作が可能になっています。



版画実習室

銅版画、木版画、リトグラフ、シルクスクリーンの4版種すべてに対応可能な充実した工房です。特に大型銅版画用プレス機は、西日本の美術系大学でも最大級の機材を設置しています。



日本画コースは、基本的な専門技術を習得させ、現代の表現として展開し、個性豊かに創造し得る力を育てることを目指しています。在学中は最も多感な時期であると考えます。これからの長い作家活動をしていく上での大切な一助となるべき教育を行います。

日本画実習Ⅰ（2年次）

植物、静物、動物、風景、人物等を対象として幅広く課題を設定し、日本画材料の特性を学び、個性を活かしながら表現力を育成します。自らの絵画観をもとに自由な発想で画面に向かう意識を育てます。また箔や裏打ち技法の特別講習を行い、表現の可能性を学びます。

日本画実習Ⅱ（3年次）

個々の自由なテーマでの制作に取り組み、個性的な表現世界の発展を目指します。古典作品の模写を課して、色彩や空間に対する認識を一層深めます。また古美術研究演習では、事前学習を踏まえ京都・奈良を訪れます。

日本画実習Ⅲ・卒業制作（4年次）

今まで培った表現を前提に自由なテーマをより主観的に咀嚼し、研究制作を続け、より高度な創造表現を目指します。また直接作品に触れることを目的として美術館などを訪れ、美の本質に根ざした表現を模索させ感性を育てます。4年間の研究成果として卒業制作展を地域社会に向けて発表します。



冠初夏 4年次自画像制作
麻紙、岩絵具、膠 65.2×53cm



倉田奈帆子 〈見え隠れ〉 大学院2年次修了制作
麻紙、岩絵具、膠 181.8×227.3cm



片井優美子 3年次自由制作
麻紙、岩絵具、膠 53×45.5cm



小方樹 3年次風景制作
麻紙、岩絵具、膠 53×45.5cm



新居田友音 3年次風景制作
麻紙、岩絵具、膠 50×61cm



伊東桃奈 〈眩耀〉 4年次卒業制作 麻紙、岩絵具、膠 227.3×181.8cm



木原希 3年次人物制作 麻紙、岩絵具、膠 91×60cm



梅村ひとみ 3年次自由制作
麻紙、岩絵具、膠 91×116.7cm



宇野秀香 3年次自由制作
麻紙、岩絵具、膠 91×116.7cm



朝平敬香 2年次自由制作
麻紙、岩絵具、膠 91×116.7cm



大賀美緒 〈生彩放つ〉 4年次卒業制作
麻紙、岩絵具、膠 227.3×181.8cm



小西さんご 3年次自由制作
麻紙、岩絵具、膠 116.7×91cm



林真優子 3年次古典模写制作
美濃紙、岩絵具、膠 25.5×28cm



林萌衣 2年次絹本制作
麻紙、岩絵具、膠 65.2×53cm



和田千穂 2年次自由制作
麻紙、岩絵具、膠 91×116.7cm



武田乃梨子
1年次剥製静物制作
麻紙、岩絵具、膠
72.7×91cm



山口咲笑
1年次剥製静物制作
麻紙、岩絵具、膠
72.7×91cm



藤本滯 2年次自由制作
麻紙、岩絵具、膠 91×116.7cm



楠玲奈
1年次剥製静物制作
麻紙、岩絵具、膠
72.7×91cm



加藤理香
1年次コリ制作
麻紙、岩絵具、膠
50×65cm



美術研究科 2年
辻井 琴音

生活の中の何気ない動作には、実は魅力的なものがたくさんあります。それは、その人だけの癖であったり、誰もがついしてしまう動きであったりと様々ですが、私は、そういう人のふとした瞬間を切り取って絵画作品にしています。そのため人物をモチーフにすることがほとんどなのですが、人の生活の跡を感じる物を選ぶこともあり、人の気配が濃い尾道では、多様な出会いの中にも題材が多く生まれます。

動きや仕草をテーマにする際に意識していることは、人物をある程度普遍的な姿で描くことです。人物にはモデルがいますが、その人自身が主題ではないので、顔立ちや体形などを特徴的に描くのではなく、“実在していそう”と感じられるほどのリアリティを出せるように心がけています。

人物については自分らしいと思える表現ができるようになってきたので、研究科では背景を含めた人物の見せ方を研究し、絵画としての魅力を追求していきたいです。



綺麗に写されたその姿よりも、撮影前の身繕いに興味をそられます。他人の撮影前を見ればかりいるので、自分が撮られるときは余計に緊張するのですが。

〈記念写真〉
162×130.3cm
2020
後期自由制作

大きな物音がすると、つい音がした方向を向いてしまいますね。集中している二人に声をかけたときは、一斉に視線が集まって、どきりしました。

〈ものおと〉
144cm×69cm
2020
(第75回春の展覧 初入選)



街中で、顔を寄せ合って同じ方向を見ている二人を見つけました。その視線の方向には一人の人物がいて、三人は知り合いのようでした。複数の視線が向くものには、私もつい目をむけてしまいます。

〈見覚えのある人影〉 116.7×91cm
2020 後期自由制作

油画コースでは、自分らしさを引き受け展開していける力、自分の可能性を信じる力を身に付けることを目標としています。そのため、絵画表現を通して、自身の興味・関心をより深く模索し、課題を立て、主体的に取り組む姿勢を培っていきます。

油画実習Ⅰ（2年次）

個々の学生が自身の資質を発掘し、表現の可能性を見出す機会として、各担当教員の視座を反映した多彩な実習を行なっていきます。また、同級生や他学年、教員、ゲストスピーカーとの意見交換を通じ、自身の考えを自覚的に発展させていく場も作り出します。

油画実習Ⅱ（3年次）

3年次では自身の表現内容を模索すると同時に、個々の表現にふさわしい形式、描画材料も実験しながら、制作を行っていきます。後期最後の進級制作ではその試みを学内で展示します。また、古美術研究は作品鑑賞体験を自身の制作の糧とする機会になります。

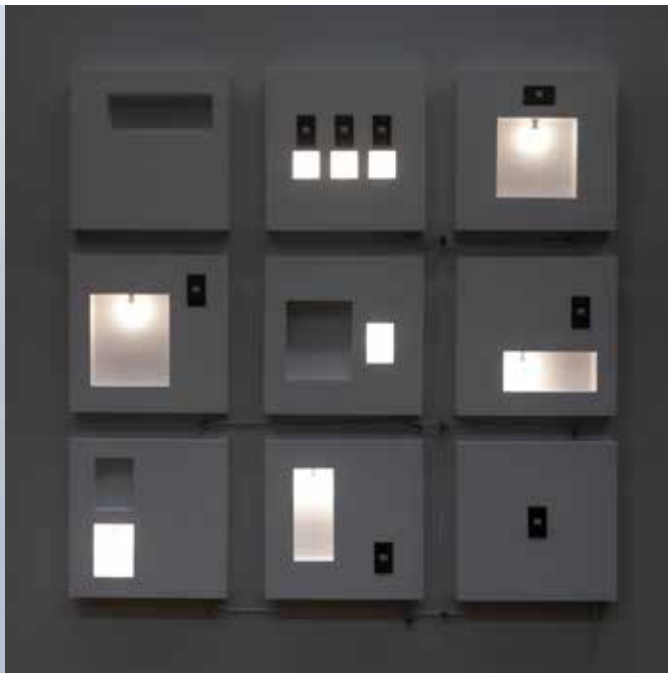
油画実習Ⅲ・卒業制作（4年次）

4年次は潤沢なアトリエ空間で継続的に行い、それぞれのリアリティを存分に追求していく時間となります。その成果は卒業制作として尾道市立美術館で開催される卒業制作展で展示されます。





中川明日香 〈既視感の人体図〉
5点組み 各145.5×89.4cm キャンバス、アクリルガッシュ



能田海 〈house〉 各60×60×10cm ラワン合板、桐板、ボンド、ビス、油性塗料、スイッチ、LED電球



神田日菜子
 〈賛美〉 145.5×112cm、
 〈決意〉 91×72.7cm、
 〈自粛期間中の自画像〉 60.6×72.7cm
 油彩キャンバス



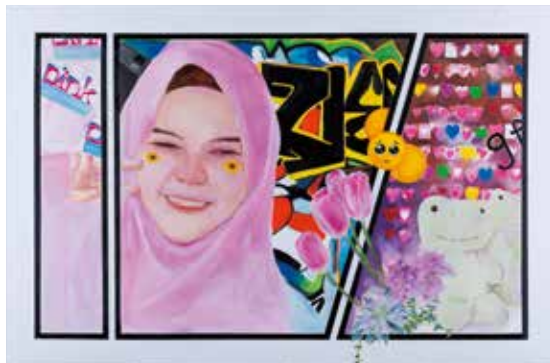
竹平洋基 〈偏光の時代〉
キャンバス、油彩



小西美幸 〈サガシモノ〉 162×194cm キャンバス、油彩



太田琴 〈おまけ〉 キャンバス、油彩、ミクストメディア



谷山季代 〈What do you mean?〉
130×194cm キャンバス、油彩



飯干太治 〈西日の友〉
91×72.7cm キャンバス、油彩



谷本万莉奈 2年次構成実習(平面)
72.7×91cm キャンバス、油彩



平尾春人 2年次構成実習(平面)
コラージュによるアニメーション



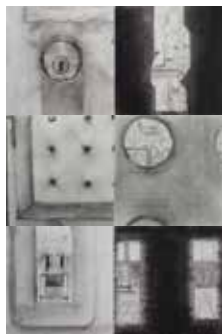
黒田貴子 2年次構成実習(平面)
72×72cm キャンバス、油彩



野村萌 1年次構成実習(平面)
91×72.7cm キャンバス、油彩



西原なずな 1年次構成実習(平面)
各10×10cm 紙、鉛筆



高井杏珠
1年次構成実習(平面)
各10×10cm 紙、鉛筆



倉持綾愉子
1年次室内風景油彩
50×60.5cm キャンバス、油彩



森野美里 1年次総合基礎実習
53×60.5cm キャンバス、油彩



美術研究科2年
木原 健志郎

私は尾道市立大学の学部出身ではなく、島根大学の教育学部美術教育専攻で4年間学んでいました。そこでは、表現者よりも美術教師に必要な能力を身につけることを重視したカリキュラムで、同じ専攻の学生も制作にあまり積極的ではなかったです。私も教員免許を取得するために入学した訳ですが、そこで同じ専攻に所属していた双子の兄とともに制作に励むうちに、自然と2人で大学院へ進学することを考えるようになりました。

尾道での生活は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、授業はリモートで行い、自宅の一室をアトリエにして制作活動をしています。共に尾道に進学した兄と2人引きこもり生活ですが、島根での生活とほとんど変わっておらず、制作に打ち込んでいます。

大学でも大学院でも、兄とともに制作をしており、人間関係も空間的にも閉塞的になってしまっていますが、それは悪いことばかりでもないと思っています。そして、そういった環境が自分の制作にどんな影響を与えているのかを考えることが必要だと思います。それは、作品は自分の生い立ちや経験から生まれる物だと考えているからであり、そういった物に目を向け、言語化し、作品に還元することが重要だと考えています。



〈Sleepwalker〉
194cm×162cm
2020

僕の思い入れのある街を画面に詰め込み、そこに自画像的な人物が登場している作品です。つまり、僕の大好きなシチュエーションなのですが、そこに隣り合わせになっている自分の中のネガティブがテーマです。



〈By stander〉
116.7cm×91cm
2021

これは自分にとっては私的でありながら、他者にも開かれた街を表現しようとした作品です。自分のための絵画と、他者に見せるための絵画ということについて考えました。

デザインコースでは、各研究室の専門分野を明確に打ち出しており、その分野への興味を促し、それぞれの学生個人の興味やレベルにあった的確な指導を行います。また、研究室間の連携と領域を越えた指導を受けることが可能なカリキュラム編成となっています。これにより幅広い視野によるデザインの解決能力を培っていくことができます。

デザイン実習Ⅰ（２年次）

２年次より６つの研究室に分かれてデザインを学びます。

- ・世永研究室：グラフィックデザイン、コミュニケーションデザイン全般の研究
- ・伊藤研究室：広告やパッケージデザインを軸としたグラフィック表現の実践的研究
- ・野崎研究室：イラストレーションのメディア展開を通してデザインと表現の関係を研究
- ・黒田研究室：モーショングラフィック、アニメーション、実写などの映像デザイン
- ・桜田研究室：各種素材を使った造形表現、空間造形表現などの研究
- ・林研究室：木工、漆芸（塗装）を主とした器、家具など自然素材によるクラフトデザインの研究

デザイン実習Ⅱ（３年次）

地域とのコミュニケーションをとりながら制作し、地域に向けて学外展示と発表を行うプレゼンテーション課題や、各研究室から出題される課題に取り組みます。

デザイン実習Ⅲ・卒業制作（４年次）

デザイン実習Ⅲではこれまでに培ったデザインの解決能力をもとにして、自身で自由なテーマを設定し制作を行います。卒業制作では４年間の集大成として、その成果を市立美術館にて発表します。



平松晃介 〈ものいろ〉 卒業制作 ブックカバー



穴吹花恋 〈平成索引図-HEISEI VISUAL INDEX-〉 卒業制作 ポスター



高風摩那美 〈特別なレターセット「ハナカンムリ」〉
卒業制作 パッケージデザイン



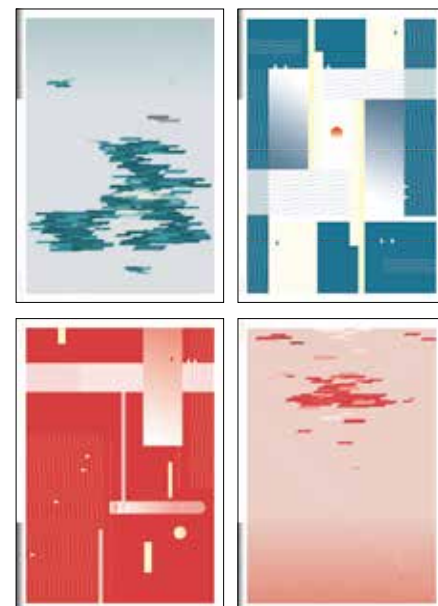
大浦万穂 〈Therianthropy Tarot〉 卒業制作
タロットカード



吉田楓 〈PUPPE-Illustration book〉 卒業制作
イラストレーションブック



村田香月 〈そらとぶくじらのせなかから〉
卒業制作 絵本



多賀綾香 〈reflection〉 卒業制作
グラフィックデザイン



西野綾華 〈果実図鑑〉 卒業制作 パターンデザイン



真木理紗子 〈李徴唐詩（人虎伝より）〉
卒業制作 立体作品



北村知里 〈ふしぎいきもの〉 卒業制作 映像



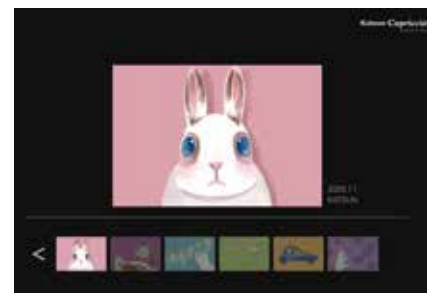
栗原朋花 〈okomemono〉 卒業制作 商品企画



武井瑞希 〈震撼-BLUE LIGHT〉 3年次ゼミ課題



三宅萌 〈moon phase〉 3年次ゼミ課題



蔡佳臻 〈Katsum Capriccio- かつんカプリッチョ-〉 3年次ゼミ課題



八木梨沙 〈debut〉 3年次ゼミ課題



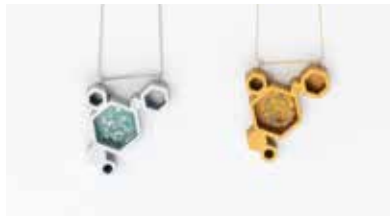
杉本来夢 〈escape〉 3年次ゼミ課題



寒川遥 〈文具人帳〉 3年次ゼミ課題



今津七海 〈ブックカバー課題〉 2年次デザイン実習Ⅰ



高尾雪野 〈3Dプリント課題〉
2年次デザイン実習Ⅰ



饗庭茉莉子 〈木彫課題〉
2年次デザイン実習Ⅰ



川村郁乃 〈テーマ設定課題〉
2年次デザイン実習Ⅰ



岡部真衣 〈出身地ポスター課題〉
2年次デザイン実習Ⅰ



丸林由佳 〈ZINE課題〉
2年次デザイン実習Ⅰ



竹上千晶 〈パッケージデザイン課題〉
2年次デザイン実習Ⅰ



美術学科 デザインコース 4年

嶋田 汐華

私は現在、イラストレーションの研究室に所属しています。クラス選択をした2年次からは、様々なメディアを通してイラストレーションを展開する課題に取り組みました。具体的には展覧会ポスターやブックカバー、簡単な冊子などです。これらの課題ではただ絵を描くことに留まらず、開催日程やタイトルといった情報に優先順位を付けること、それに則って整理することが求められました。イラストレーション制作の時間と画面構成の時間が上手く調整できず、締切当日の朝まで作業していたのは苦い思い出です。しかしこれらの課題を通して、円滑な情報伝達のために必要である、各媒体に相応しい画面作りの重要性を理解できました。

3年前期で取り組んだ地域プレゼンテーションは、名前の通り特定の地域を自分なりの手段で紹介する課題です。私が作ったのは、尾道の子供に地元の色を学んでもらうための教材でした。当初は観光客など尾道の外に向かって発信することを想定していたのですが、地域のことを知るべきなのはその場所に住む人間だと考え直し、軌道修正しました。対象を絞ってからも、目的に最も合った方法を探るのに苦戦した覚えがあります。本体やパッケージも大変でしたが、特に説明書は時間が掛かりました。文章にはどの程度フリガナを付けるか、解説する必要がある単語はどれか、字の大きさはどれくらいが適当か。利用者である子供がどう感じるかを念頭に置いて調整する必要があったからです。相手に合わせたモノづくりの大切さと難しさを学びました。

薄ぼんやりと生きてきた自分にとって、デザインする上で求められる思慮深さというのはなかなか身に着かないものです。それでも1つ1つの問題を着実に受け止め、改善することを指標に今後も励みたいと思います。



〈おうち映写機を作ろう！〉 3年次地域課題

地域学習の授業で使用してもらうための教材です。簡易プロジェクターを組み立てると、同梱のイラストフィルムを壁に投影できるようにしました。フィルムには尾道の民話を描かれており、手を動かしながら楽しんで勉強することができます。



〈妖精琥珀譚〉 3年次ゼミ課題

1万字程度の創作小説を3本執筆し、挿絵と併せて造本しました。昭和初期に発行された設定なので、本そのものに古めかしさを持たせています。使用する紙選び、旧字体の使用や著者検印の設置など、細部にこだわって制作しました。



山本真由香 (左上)、鈴木美月 (右上) 〈ロゴ課題〉
八田真緒 (左下) 〈シルエット課題〉
横山華代 (右下) 〈マップ課題〉 1年次構成実習



吉岡万由 (左)、大崎日菜 (中)、中西紗弥香 (右) 〈ランプシェード課題〉
1年次構成実習

美術学科教員はキャンパス内で創作・研究を行っています。

教員の研究室は美術学科棟の学生アトリエスペースの、廊下をはさんだ向かい側にあり、学生は多彩な専門領域で活動している教員の創作・研究現場を日常的に訪れることができます。

また、コース制をとっていることから、多くの創作・研究が共存していますが、各専門領域の垣根が低く、異なる領域の学生・教員間の対話が頻繁に行われているところも本学の美術学科の大きな特徴と言えるでしょう。



教授（日本画コース）

吉原 慎介

1955年 福岡県生まれ
 1980年 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業
 1982年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程日本画専攻修了
 [画歴]
 1981年 第36回「春の院展」初入選
 1983年 再興第68回「院展」初入選
 1985年 個展（小林画廊）
 1994年 第46回「春の院展」奨励賞
 東京セントラル美術館 97日本画賞展佳作賞
 法務省更生保護誌表紙絵担当（～1995年）
 1999年 個展（西武アートフォーラム）
 2000年 個展（赤堀画廊）
 2007年 第62回「春の院展」奨励賞
 2010年 第65回「春の院展」外務大臣賞・奨励賞
 2011年 再興第96回「院展」奨励賞
 2018年 再興第103回「院展」奨励賞
 現在 日本美術院特待



〈暦日〉 紙本彩色 170×215cm 2020



教授 (日本画コース)

中村 譲

1964年 香川県高松市生まれ
 1989年 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業
 1991年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程日本画専攻修了
 1993年 東京藝術大学大学院美術研究科後期博士課程
 絵画日本画専攻単位取得退学
 1994年 東京藝術大学日本画科非常勤講師 (～2001年)
 [公募展]
 1994年 再興第79回「院展」初入選／東京都美術館／上野
 第50回「春の院展」初入選／日本橋三越本店
 2001年 第56回「春の院展」奨励賞 (以後2007、08受賞)
 2003年 再興第88回「院展」奨励賞 (以後2004受賞)
 2006年 再興第91回「院展」日本美術院賞 (大観賞)
 (以後2008年、同足立美術館賞)
 2013年 第68回「春の院展」春の足立美術館賞
 [個展、グループ展]
 1994年 「有芽の会」展 法務大臣賞／有楽町西武
 2001年 「更生保護」(法務省保護局月刊誌)
 担当月表紙絵個展／ナカジマアート／銀座
 2010年 中村譲日本画展「風の記憶」呉そごう／呉
 2011年 中村譲日本画展「内海譜」福山天満屋／福山
 2017年 香川県文化芸術選奨表彰
 2019年 中村譲日本画展「瀬戸の光」福山天満屋／福山
 現在 日本美術院同人 香川県文化芸術振興審議委員



〈九月の夕立〉 紙本彩色 170×215cm 2020



准教授 (日本画コース)

鈴木 恵麻

1997年 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業
 1999年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程日本画専攻修了
 [画歴]
 1998年 平山郁夫奨学金
 1999年 第54回「春の院展」初入選
 2001年 「有芽の会」全国更生保護婦人連盟会長賞
 2002年 「有芽の会」法務大臣賞、再興第87回「院展」初入選
 2004年 第59回「春の院展」奨励賞
 2007年 再興第92回「院展」奨励賞
 2009年 再興第94回「院展」奨励賞、天心記念茨木賞
 2016年 第71回「春の院展」奨励賞
 2018年 第73回「春の院展」春季展賞、日本美術院奨学金
 2019年 再興第104回「院展」奨励賞
 2020年 第75回「春の院展」奨励賞、再興第105回「院展」奨励賞
 2021年 第76回「春の院展」奨励賞
 [個展、グループ展]
 2004年 個展「レスポワール展」/銀座スルガ台画廊
 2009年 個展EMA作品展—鈴木恵麻作品展—/そごう横浜(2011年)
 2013年 個展「更生保護」(法務省保護局月刊誌) 担当月表紙絵個展/
 ナカジマアート
 2014年 「華麗なる美の競演 現代女流画家展」/成川美術館
 現在 日本美術院 特待



〈虚ろ〉 紙本彩色 215×170cm 2020



教授（油画コース）

矢野 哲也

1958年 兵庫県生まれ
 1983年 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業
 1985年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程油画技法・材料専攻修了
 現在 国画会会員
 【個展】
 1983年 渋谷東急東横店
 1986年 銀座フォルム画廊（92、96、97、98、2000、02、10年も同様）
 1995年 兵庫県立西播磨文化会館／下総屋画廊
 2000年 ギャラリーあと・いず（05年も同様）
 2002年 光画廊
 2011年 八千代の丘美術館
 2014年 尾道市立大学美術館
 2015年 銀座ギャラリーあづま
 【団体展、グループ展】
 1983年 国展初出品（以後毎年出品）
 2006年 西部国展出品（07、08年も同様）
 2009年 広島国展出品（10、13、14、15、16、17、18、19年も同様）



〈ながめ〉 油彩、キャンバス 194×324cm 2018



教授（油画コース）

小野 環

1973年 北海道函館市生まれ
 1996年 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業
 1998年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程油画専攻修了
 1999年 東京藝術大学油画科非常勤講師（～2001年）
 現在 AIR Onomichi代表、NPO法人尾道空き家再生プロジェクト副代表理事
 【個展】
 2000年 「キツネ作戦」／フタバ画廊／銀座
 2002年 「小野環展」／appel／経堂
 2005年 「gardens」／ギャラリーそわか／京都
 2008年 「gardens 植木鉢の冒険」／ふくやま美術館／福山
 2010年 「足下の辺境」／尾道市立大学美術館／尾道
 2013年 「ユートピアの迷子石」／Utopiana／ジュネーブ※
 【グループ展】
 2003年 Hiroshima Art Document 2003（2008年※）／旧日本銀行広島支店／広島
 2004年 VOCA 展／上野の森美術館／上野
 2007年 AIR Onomichi／山手地区アパート群／空地／尾道※（2011年）
 2008年 tina.b 2008／プラハ市※
 2012年 UTOPIA ～何処にもない場所～／百島／尾道※（2013、14年）
 2017年 dr/op Beyond Boundaries／グッドマンアートセンター／シンガポール
 2018年 「複数形の世界に始まりに」東京都美術館／東京
 2019年 ONLY CONNECT OSAKA／CCO クリエイティブセンター大阪／大阪
 2021年 第24回岡本太郎現代美術賞展 特別賞／川崎市岡本太郎美術館／川崎
 （※作家三上清仁とのユニット）



〈再編街〉 百科事典、美術全集、構造用合板ほか 2021



准教授（油画コース）

稲川 豊

1974年 東京都生まれ
 1997年 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業
 2004年 CHELSEA COLLEGE OF ART AND DESIGN, ロンドン,
 MA FINE ART 修了
 2007～09年 文化庁新進芸術家海外留学制度2年派遣／ロンドン／イギリス
 コレクション：WILLIAM LIM COLLECTION（香港）

〔個展〕

2005年 “HYBRID”/Gallery Zandari/ ソウル・韓国
 “YUTAKA INAGAWA EXHIBITION”/Galerie Suty/ フランス
 2007年 “Yutaka Inagawa Solo show”/New Art Center/ ニューヨーク
 2008年 “Nonplace overlay”/Bodhi Gallery/ ロンドン
 2009年 “Sensory Cocktails”/Gallery Zandari/ ソウル・韓国
 “Crazytokyo”/Galerie Suty, Coyo-la-Forêt/ フランス

2014～15年 “The invasion of Cyberspace”/
 Unit 24 Gallery/ ロンドン

2015年 OTAK JEPUN | Yutaka Inagawa /Lorong Kekabu / クアラルンプール
 [グループ展]

2007年 “Trajectories”/ The Agency / ロンドン
 2007年 “The 8th SHINSAIMDANG Art Festival”/Gangueng Museum/ 韓国
 2008年 “Cosmopolis”/ Pipy Houldsworth Gallery/ ロンドン
 2017年 Floating Urban Slime/Sublime/ アートギャラリーミヤウチ / 広島
 2018年 I Say Yesterday, You Hear Tomorrow. Visions from Japan/Gallerie delle Prigioni / トレヴィーゾ / イタリア
 2019年 ONLY CONNECT OSAKA/ クリエイティブセンター大阪 / 大阪



〈Transparent / Fluorescent Uncanny (V)〉
 サイズ可変、ミクストメディア 2018



講師（油画コース）

橋野 仁史

1982年 熊本県生まれ
 2005年 尾道市立大学大学芸術文化学部美術学科卒業
 2007年 尾道市立大学大学院美術研究科修士課程（油画）修了
 尾道市立大学芸術文化学部美術学科助手（～2017年）
 尾道市立大学芸術文化学部美術学科助教（～2018年）

〔主な展覧会〕

2007年 第81回国展 / 以後毎年
 2008年 第82回国展 絵画部奨励賞
 尾道からの「3人展」/アートガーデン/岡山
 2009年 国展 受賞作家展 / 井上画廊 / 東京
 2013年 「Gg展」/ふくやま美術館 / 福山 / 以後毎年
 2014年 第88回国展 会友賞、準会員推挙
 2015年 国展 受賞作家展 / 銀座アートホール / 東京
 KKT / ギャラリー向日葵 / 東京 / 以後毎年
 2017年 「橋野仁史絵画展 -Fog-」 福山天満屋 / 福山 / 19年
 2018年 「Gg2展」 福山天満屋 / 福山 / 以後毎年
 2019年 「再考 人間と自然」 広島県立美術館 / 広島



〈Schliere〉 油彩、キャンバス 各53×65.2cm 2020



教授 (デザインコース)

野崎 眞澄

1958年 東京都生まれ
 1979年 多摩美術大学デザイン科グラフィックデザイン専攻入学
 1983年 Japan Graphic Center 勤務 (デザイナー)
 1985年 B/Half Japan 勤務 (アートディレクター)
 1989年 CHIPS CLUB 設立

[活動歴]

1990年 J.A.I New York Exhibition at Art54 グループ展
 1991年～1998年 青山Pinpoint Gallery 個展 (4回)
 2009年 原宿HB Gallery「TOYS」個展
 2011年 明治神宮前 Gallery ni Modo「FISH & CHIPS」個展
 2013年 尾道市立大学美術館 野崎眞澄×石川康彦 二人展
 2014年 竹尾見本帖本店展示スペース「製本のチカラ」グループ展
 2016年 竹尾見本帖本店展示スペース「本迷宮」グループ展
 2019年 尾道市立大学美術館「感覚のかたち」デザイン教員展
 2021年 尾道市立大学美術館「新しい日常」教員展

[受賞歴]

1991年 第5回 From A The Art 展 / 奨励賞
 1992年 第1回 リビングアート・コンペティション / 入選
 1997年 第48回全国カレンダー展 / 日本印刷産業連合会会長賞
 2004年 コースター絵画展 / ホテル・キャメロット・ジャパン賞
 2011年 第65回読書週間ポスターイラスト公募展 / 入選
 2012年 / 2013年 第1回、第2回 東京装画賞展 / 入選



〈Monsters in the Attic (Rodney / Karl / Mica)〉

木材にアクリル絵の具、金属、他

H48.2 × W17.8 × D7.2cm 2020, 2021



教授 (デザインコース)

世永 逸彦

1959年 東京都生まれ
 1984年 多摩美術大学デザイン科グラフィックデザイン専攻卒業
 1984年 高原宏デザイン事務所入社
 1991年 世永デザイン事務所主宰
 2014年 尾道市立大学 芸術文化学部美術学科教授就任

[デザイン活動歴]

1985～1988年 雑誌「流行通信」D. (高原宏デザイン事務所勤務)
 1991～1994年 〈新日本フィル交響楽団〉公演印刷物 A.D.&D.
 2001～2004年 〈Fountains〉JAL ホテルPR誌 日本航空 表紙&誌面 A.D.&D.
 2008～2010年 〈HIBIYA Style〉帝国ホテルプラザPR誌 帝国ホテル 表紙&誌面 A.D.&D.
 2008～2013年 〈てんと虫〉UCカードPR誌 クレディセゾン 表紙&誌面 A.D.&D.
 2011～2014年 〈Mart〉女性誌 光文社 表紙&誌面 A.D.&D.
 1998～2016年 〈SAYA & Works〉婦人靴広告・販売促進ツール C.D.&D. 他多数
 2016～現在 ブックデザイン、ポスターを中心に、デザイン活動、企画展など。

[展覧会歴]

2014年 『製本ノチカラ』展 会場：東京神田・錦町 竹尾見本帖2階、グループ展
 2014年 『ツナガケシキ』グループ展 今治市大3島美術館
 2016年 『本迷宮』本を巡る不思議な物語展 会場：東京神田・錦町 竹尾見本帖2階、グループ展
 2019年 『国立嘉義大学×尾道市立大学 交流展』グループ展 Chiayi Cultural Bureau / 台湾・嘉義
 2019年 『装丁万華鏡』展 会場：東京神田・錦町 竹尾見本帖2階、グループ展
 2019年 『感覚のかたち』展 グループ展 会場：MOU尾道市立大学美術館



〈The image of countdown of watch〉

局紙、インクジェット H103 × W72.8cm
2017



教授 (デザインコース)

桜田 知文

1960年 広島県広島市生まれ
 1984年 東京藝術大学美術学部工芸科卒業
 1986年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程鍍金専攻修了
 [制作歴、受賞歴]
 1987年 第3回現代九州彫刻展 入選 (石橋美術館)
 1991年 広島パークビル前に野外彫刻設置
 1992年 第30回日本現代工芸美術中国会展 広島市長賞受賞
 1993年 洞爺村国際彫刻ビエンナーレ 作品買上〈97年も買上〉
 1995年 第34回日本現代工芸美術展 現代工芸大賞受賞
 1997年 さかいで Art グランプリ 97 秀作賞受賞〈坂出市民美術館〉
 1998年 第1回佐野ルネッサンス鍍金展 入選 (第2回も入選)
 2000年 第40回日本現代工芸美術展 現代工芸本会員40回記念賞受賞
 2004年 第43回日本現代工芸美術展 現代工芸本会員賞受賞
 2005年 尾道市小中学校芸術祭 グランプリトロフィー制作
 2009年 八千代の丘美術館 第8期入館
 2010年 東尾道彫刻公園に野外彫刻設置
 2012年 第44回日展 特選受賞
 2015年 ひろしま3都、道めぐり「まちかどアートワークス」委嘱出品
 2016年 東広島市立美術館 作品収蔵
 2020年 桜田知文作品展 ―こころのままに― (美術館あーとあい・きざ)
 現在 日展会友、現代工芸美術家協会本会員・代議員



〈飛翔〉 アルミニウム、真鍮、銅、木
 H65 × W57 × D32cm 2015



准教授 (デザインコース)

林 宏

1967年 大阪府生まれ
 1994年 東京藝術大学美術学部工芸科 卒業
 1996年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程漆芸専攻 修了
 2020年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科 准教授
 [活動歴]
 2005年 日本文化財漆協会 常任理事
 2011年 ナチュラルマテリアルプロジェクト 循環型自然素材の開発及び研究
 2013年 漆芸を支える道具の調査研究
 作品収蔵 東京藝術大学 フィラデルフィア美術館
 [展覧会歴]
 2012年 東京藝術大学創立125周年記念事業「漆芸 軌跡と未来」招待出品 (東京藝術大学)
 ナチュラルマテリアルプロジェクト (六本木ル・ベイン)
 器奏天回茶展 (うおがし銘茶 築地新店)
 日本のいろ展2012 (松岡山東慶寺 白蓮舎)
 2013年 個展 林宏 漆の器展 (栃木 アルゴノート)
 japanin vari [Natural material projects] (フィンランド ヘルシンキ)
 2014年 壺木呂の会展 (新宿 伊勢丹)
 漆芸二人展 (瑞玉ギャラリー 東京)
 2015年 草木と漆の器展 (代官山 無垢里)
 日本のいろ 展 (松岡山東慶寺ギャラリー)
 2016年 草木と漆の器展 (代官山 無垢里)
 2017年 壺木呂の会展 (松岡山東慶寺ギャラリー)
 2018年 陶と漆の器展 (代官山無垢里)
 2019年 感覚のかたち展 (MOU 尾道市立大学美術館)、陶と漆の器展 (日本橋三越)



〈栗造白漆皿〉径24 × 2cm 2018



講師 (デザインコース)

伊藤 麻子

2005年 愛知県立芸術大学 美術学部 デザイン工芸科 卒業
株式会社 GK グラフィックス勤務 (～2008年)
2011年 東邦高等学校 美術科 非常勤講師 (～2012年)
2012年 大垣女子短期大学 デザイン美術学科 講師 (～2017年)

[活動歴]

2005年～2008年

(デザイン制作会社勤務中の実務)
果汁飲料 PET ボトル パッケージデザイン
缶コーヒー パッケージデザイン
紅茶ギフト パッケージデザイン
化粧品 パッケージデザイン
文具 パッケージデザイン 他

2009年～

「skin sweets」パッケージデザイン
展示会「二人ノ図鑑展」(2014. 表参道)
展示会「感覚のかたち」(2019年, デザイン教員展)
緑茶商品パッケージデザイン他
グラフィックデザイナーとしてデザイン業務に携わりつつ、
真鍮による立体造形表現も思案している



〈kikku ton〉 グラフィックシリーズの展開 2019



講師 (デザインコース)

黒田 教裕

1987年 宮崎県生まれ
2011年 武蔵野美術大学造形学部映像学科卒業
2014年 武蔵野美術大学大学院造形研究科
デザイン専攻映像コース退学

2014～15年 武蔵野美術大学造形学部映像学科 非常勤講師

[活動歴]

2014年 「Media Ambition Tokyo 2014」

六本木ヒルズ 52F 東京シティービュー

2015年 「New Creators Competition 2015」

静岡クリエイター支援センター CCC

2016年 「2016 CHANGWON ASIA ART FESTIVAL」 韓国・昌原市

2017年 UENO PLANET WEB MOVIE (映像編集)

2019年 「続々 三澤 遥」ギンザ・グラフィック・ギャラリー (映像編集)

「松島オープンスタジオ」 岡山県倉敷市 松島分校美術館
(公開滞在制作)

企画展「虫展 - デザインのお手本 -」: 「視点の採集」

21_21 DESIGN SIGHT (映像編集)

「まにわ映像フェスティバル2019 勝山スクリーン・フィールド」

岡山県真庭市

「感覚のかたち」デザイン教員展 尾道市立大学美術館



〈Waves — Quartet〉

中判白黒フィルム、デジタルスキャン 40×40cm
2020



教授（日本美術史・博物館学）

市川 彰

1971年 愛知県生まれ
 1995年 京都大学文学部美学美術史学専攻卒業
 2001年 京都大学大学院文学研究科博士後期課程（美学美術史学専攻）単位取得退学
 2000～03年 萬野美術館学芸員
 2004～07年 京都文化博物館総務課主事
 2007～12年 京都文化博物館学芸課学芸員

〔論文等〕

1997年 絵描きの玉手箱 伊藤若冲の鶏
 『茶道雑誌』第61巻第1号 河原書店
 1999年 若冲画に示されたもの－「動植綵絵」以前の三件の鶴を主題とする着色表現をめぐる－
 『研究紀要』第20号、京都大学文学部美学美術史学研究室
 2007年 若冲画に示されたもの2－《初期作品》「雪梅雄鶏図」をめぐる－
 京都文化博物館紀要『朱雀』第19集
 2014年 名所図会に記された京都の「名宝」（一）
 尾道市立大学芸術文化学部 紀要 第13号

〔展覧会〕

2008年 永樂即全『源氏物語五十四帖』と十七代永樂善五郎展
 京都文化博物館企画展
 2008年 『読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界～浮世絵から源氏意匠まで～』展
 京都文化博物館特別展



准教授（西洋美術史・美学）

西嶋 亜美

北海道旭川市出身
 2006年 京都大学文学部人文学科卒業
 2009年 京都大学大学院文学研究科修士課程修了・博士後期課程進学
 2010～2012年 パリ・ソルボンヌ大学美術史考古学研究所招待研究員
 2013年 京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学
 京都大学博士（文学）

〔研究歴〕

専門はフランス近代美術史で、画家ドラクロワやオリエンタリズムについて研究しています。

- ・『ウジェーヌ・ドラクロワの物語画と文学』京都大学大学院文学研究科課程博士学位論文、2016年
- ・“L'emploi des théories littéraires et artistiques dans la représentation du monde antique autour de Delacroix”, Ecole de Printemps, 10e édition Art et Savoir, Paris, Centre Allemand de l'Histoire de l'Art, (2012/5/18) (第10回エコール・ド・ブランタン「芸術と知」発表)
- ・『ドラクロワによる二点の《ジャウールとハッサンの闘い》—戦闘イメージの起源と北アフリカ旅行の意義をめぐる考察—』『日仏美術学会会報』(34)、2015年、3-23頁
- ・『ドラクロワの「日記」における絵画と文学の位置付け—主題、表現形態、制作過程の三つの観点から—』『藝術研究』(28) 2015年7月、31-45頁
- ・『ドラクロワの「モロッコ旅行記」試訳』『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第16号、2017年、69-86頁
- ・『19世紀中葉のパリで描かれた同時代の恋愛イメージ—クールベ作《田園の恋人》とワルツの図像』伊藤公雄・杉本淑彦編『ヴィジュアル・カルチャーの中の親密圏』京大出版会、刊行予定



助手（日本画コース）

池上 望月

- 1992年 三重県生まれ
 2016年 佐藤太清賞公募美術展 入選 [同17入選]
 2017年 第72回春の院展 初入選
 尾道市小林和作奨励賞 受賞
 第3回石本正日本画大賞展 奨励賞受賞
 2018年 尾道市立大学大学院美術研究科修士課程（日本画）修了
 大学院修了制作 大学買い上げ
 再興第103回院展 初入選
 個展「新人選抜 レスボワール展 池上望月」（銀座スルガ台画廊/東京）
 2019年 「レスボワール ディケイド」（銀座スルガ台画廊/東京）[20,21]
 「山本冬彦選抜 全国若手作家交流展」（ちいさいおうち/京都、
 ギャラリー枝香庵/東京）
 「尾道市立大学日本画選抜展 明日の会一」（福山天満屋/福山市）[20]
 「気更来会」（岡山天満屋/岡山）[20]
 2020年 再興第105回「院展」奨励賞
 現在 日本美術院 研究会員

〈フィクションの知人〉
 紙本彩色
 215×170cm
 2020



助手（油画コース）

吉田 彩花

- 1993年 岡山県生まれ
 2014年 「シェル美術賞 2014」入選
 2017年 尾道市立大学大学院美術研究科修士課程（油画）修了
 「平井林太郎 松岡奈緒美 吉田彩花 作品展」/勝央美術文学館/岡山
 国展絵画部企画展示「一若手作家の挑戦状—新しい眼」/国立新美術館
 「第91回国展」入選 [同18入選]
 2018年 「ゴールデンユートピア芸術祭」/ゴールデンユートピアおおち/島根
 個展「こくこく」/画廊るたん/東京
 2019年 「OKUTSU 芸術祭」/岡山
 2020年 「From Soup to Nuts」/尾道市立大学美術館/広島



『From Soup to Nuts』展インスタレーションビュー 2020



助手（デザインコース）

大野 直樹

- 1989年 兵庫県生まれ
 2014年 尾道市立大学大学院美術研究科修士課程（油画）修了
 尾道市立大学非常勤実習助手（～2018年）
 2016年 第二回 尾道市立大学油画コース卒業生による展覧会 uni
 尾道市立大学美術館
 2019年 「感覚のかたち」デザイン教員展 尾道市立大学美術館

〈サーフェス諸島（構成物）〉
 紙、鉛筆、真鍮、突き板
 サイズ可変 2019



赤木 範陸	テンペラ画技法演習 横浜国立大学 教授	菅原 瑤子	図法及び製図(助手) 美術家	福井 一尊	金工演習 島根県立大学人間文化学部 准教授
秋山 隆	彫刻 木彫家	杉井 隼人	彫刻(助手) 美術家	福田 栄一	日本画実習Ⅰ(裏打ち)、日本画研究BⅡ 福田装錦堂代表取締役
荒木 慎也	絵画総合演習	相山奈津子	版画制作演習(助手) 美術家	藤田 重信	編集とデザイン フォントワークス株式会社 フォントデザイナー
石多未知行	デザイン総合演習(大学院) 一般財団法人 プロジェクション マッピング協会理事	大悟法淳一	編集とデザイン 株式会社ごぼうデザイン事務所 代表	藤田 幸史	情報処理演習 尾道市立大学名誉教授
今井 智己	絵画総合演習	高垣 秀光	版画制作演習 版画家	筆塚 稔尚	版画制作演習 版画家
今井 良枝	美術解剖学 周南市美術館 学芸員	高橋早紀子	東洋美術史Ⅰ、Ⅱ 愛知大学 講師	松井 輝昭	古文書学 県立広島大学名誉教授
今氏 亮二	情報機能論 有限会社ホットタイプ工房 代表取締役	滝沢 具幸	日本画研究AⅠ、Ⅱ、BⅠ、Ⅱ(大学院) 創画会会員、武蔵野美術大学名誉教授	松岡 剛	空間造形論 広島市現代美術館 学芸員
太田 啓介	デザイン学特講(大学院) (株)オリエンタルコンサルタンツ 技師	田代 昭夫	塗装法演習、実習技術指導員(塗装) 塗装家	松本 寛治	木工演習、塗装法演習 家具作家、工房 KANJI
加藤 芳夫	情報機能論 元サントリー食品インターナショナル(株) シニアクリエイティブディレクター	田部 健次	金工演習、デザイン実習Ⅰ(鍛金) 金工作家	松本 祐助	木工演習(助手)、実習技術指導員(木工) 家具作家
亀岡 知子	デザイン学特講(大学院) アルヒ株式会社 弁護士	玉木 明	情報機能論 日本郵便株式会社 切手デザイナー	真野 洋介	デザイン学特講(大学院) 東京工業大学大学院社会理工学研究科 准教授
神邊 篤史	人間工学概論 香川大学 博士研究員	月岡 裕二	日本画実習Ⅰ(箔押し、砂子、切金技法) 東京藝術大学非常勤講師、作家	村上 由記	金工演習(助手) 造形作家
Kyung Hwa Shon	絵画総合演習	苫名 悠	芸術論特講Ⅰ(大学院)、古美術研究演習 大阪大谷大学文学部 講師	弥中 敏和	情報機能論 株式会社 GK デザイン総研広島 代表取締役
倉持 充希	芸術論特講Ⅱ(大学院) 神戸学院大学人文学部 講師	中曽 智子	デザイン実習Ⅰ(セラミック技法) 陶芸家	矢原 徳子	書道
齋藤 拓海	日本文化史	西川真理子	写真(映像)演習(助手) デザイナー	山崎 曜	デザイン実習Ⅰ、 デザイン総合演習(大学院) 製本家
佐古 百美	情報機能論 絵本作家 イラストレーター	野田 尚之	写真(映像)演習、情報機能論、 デザイン実習Ⅰ シネマトグラファー	山田 祐子	文化財保存学概論
白木 彰	デザイン論 グラフィックデザイナー 愛知県立芸術大学名誉教授	半田 昌規	日本画材料技法演習(大学院) (株)半田九清堂 代表取締役	山本 基	空間造形論 美術家
菅原 智子	壁画技法演習 美術家	深谷 訓子	芸術文化論 京都市立芸術大学 准教授	渡邊 義孝	建築環境論、空間造形論、図法及び製図 一級建築士、風組・渡邊設計室主宰

美術学科では、卒業制作展を開催しています。

学部4年間、大学院2年間の集大成となる展覧会です。

学生時代の集大成としての卒業制作はとても重要なものですが、卒業制作はアトリエで制作して終わりではありません。

美術学科では、毎年、学部4年間、大学院2年間の制作・研究の成果を発表する機会として尾道市立美術館を中心に、サテライトスタジオなど尾道市市街地で卒業制作展を開催しています。学生たちは展覧会の計画から広報活動、図録制作、展覧会運営、終了後の次世代への引き継ぎという一連の活動をカリキュラムの一環として経験することになります。例えば、毎年自分たちでカタログを制作し、関係方面に配布すると同時に、展覧会を訪れる方々に販売しています。このような展覧会の成り立ちを実際に経験することが、卒業後の活動の糧となることに期待しています。



日本画コース卒業・修了作品優秀作品
村松航汰 〈久遠〉 卒業制作
麻紙、岩絵具、膠、箔 181.8×227.3cm



油画コース卒業・修了作品優秀作品 大平真子 〈なかへ〉 修了制作 サイズ可変 木材、樹脂、アクリル



デザインコース卒業・修了作品優秀作品 姫野七海 〈Day Dream〉 卒業制作 イラストレーション

美術学科は今年度で20年目を迎え、多くの卒業生たちが専門業界で活躍しています。
そんな卒業生3名から近況をレポートしてもらいました。

卒業生はどのような活動をしているのでしょうか。学部卒業後大学院に進学し、さらに専門分野での制作を重ね、作家を志向する人がコンスタントにいます。

絵画系（日本画、油画）の卒業生の中には創作活動を継続するためにアルバイトをしながら生活している卒業生も毎年一定数いますが、近年増加しているのが、中学、高等学校の美術の非常勤講師です。中には複数の学校を掛け持ちで勤務している卒業生もいます。

デザイン系では、専門のスキルを活かして、広告代理店やメーカー、デザイン制作会社、映像制作会社、放送局、ゲーム制作会社などへの就職の他、イラストレーターやアニメーターとして制作を続けている卒業生もいます。



2018年
日本画修了
西村 理奈

2018年 尾道市立大学大学院美術研究科絵画研究分野（日本画）修了
【展覧会・受賞歴】
2016年 再興第101回院展 初入選（同17,20年）
2017年 第72回春の院展 初入選（同18年）
2019年 生成展 ギャラリー718 広島市
第1回明日の会 天満屋福山店（同20年）
現在 日本美術院院友

大学院修了後、現在は画材店に勤めています。

私は日本画コースを専攻していたので、日本画関連の問い合わせであれば、自分の経験を活かしてお客様に画材をおすすめしています。日本画の画材をはじめ、油彩の画材や額縁、コミック用品も取り扱っているのも、そちらの知識も深まりました。

働きながらだと、どうしても学生時代に比べて制作の時間は減りましたが、これからも自分のペースで描く事を続けていきたいと思っています。



〈灯点し頃〉 33.3×45.5cm 2020



〈風く〉 100×100cm 2018
（第73回春の院展 入選）



2018年 油画コース卒業 永石 卓哉

2018年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科(油画コース) 卒業
2019-20年 スペイン・マドリッドに滞在
Academia Artium Peña にて研修
2020年 尾道市立大学大学院美術研究科絵画研究分野(油画) 中退
【活動歴】
2018年 第92回国展絵画部企画展示「ー若手作家の挑戦状ー新しい眼」
(国立新美術館/東京)
2019年 小林和作奨励賞

「再現ではなく表現を。」大学に入学したての私に、この言葉をかけてくださった塩川先生の作品は、技巧を凝らした多重に重なるテクスチャの堅牢な画面上に水中を揺めく人物の曲線美と自然光を取り込んだ美しい色彩で表現されたもので初めて見たときは衝撃的でした。それ以来、光というモチーフに惹かれ制作してきました。また、アントニオ・ロペスの作品が好きで影響を受けており、自分の興味のルーツは何なのかを知りもっと深く影響を受けたいと思い磁石に引き寄せられるようにスペインのマドリッドへ渡航しました。スペインでは、シンプルかつ重みのある絵画表現が多く見られ、それはペラスケスなどのブラド美術館に所蔵してある数多くの作品から現在まで脈々と受け継がれていると感じました。また、アントニオ・ロペスの作品も、大きく必要な物を捉え本質的な部分に迫っていると感じました。私がマドリッド滞在中で目指したのは、繊細な細密表現ではなく、堅牢でタフな画面を作り出すことでした。現在は特別支援学校で教員として働きながら制作を行っており、スペインで体感した本質的な部分に迫るタフさに技巧を凝らしたテクスチャ表現を取り入れた絵画表現の研究に取り組み3年後に再びスペインに行くことが目標です。



《朝の斜線》 油彩、キャンバス 97×162cm 2019



《中庭》 油彩、キャンバス 60.6×80.3cm 2020



2015年 デザインコース卒業 坂本 彩

2015年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科(デザインコース) 卒業
【仕事・作品掲載】
2017年 恋する台湾(KADOKAWA) 表紙
2018年 FIGARO JAPON HOROSCOPE 石井ゆかりの星占い2
(CCCメディアハウス) 特集
2019年 エキュート×静岡キャンペーン B1ポスター
2019年 イオンモール広島府中 フォトスポット壁紙制作
2020年 『いぬのきもち』(ベネッセコーポレーション)
2020年 『ニューレトロイラストレーション』(バインターナショナル) 掲載
2020年 『ファッションイラストレーションファイル2020』(玄光社) 掲載
2021年 大塚愛 REMIX PROJECT「さくらんぼ(Kan Sano Remix)」
MVイラスト提供
【展示】
2018年 「In a dream」(銀座ミレージャギャラリー/東京)
2018年 「HY ART STORY」(中目黒MDP GALLERY/東京)
2020年 《CREATORS FESTIVAL IN 渋谷ロフト》
2020年 「C/STORE GIRLS 特集」(高知篇屋書店)
2020年 個展「WHITE」(草叢BOOKS 新守山店/愛知)

私は卒業後、デザイン事務所でアシスタントとして勤めた後、2020年にフリーランスのイラストレーターになりました。現在はイラストの仕事を受けながら、オリジナルグッズを展開し全国のイベントや展示に参加しています。

在学時はイラスト以外にも、気になったものを選択することができる時間と設備、専門の異なる先生方がいました。様々な表現方法を学んだことは今でも制作の幅を広げてくれていますし、課題をこなす中で覚えた楽しさは、現在活動をするうえで大きな土台となっています。大学に進学し、なにより大きかったと思うことは、似た志を持つ同世代の人たちや、現役で活躍している教授と出会えたことです。尊敬していた先輩や同級生と仕事で繋がることも増えました。やりたいことを続けたり、発信することをやめなければ繋がっていくのだと実感しています。

大塚愛「さくらんぼ (Kan Sano Remix)」Javex trax



《広島観光地のフォトスポット壁紙》(2.5×13m)
Client/Location: イオンモール広島府中
(2019年11月〜2020年1月)
Produced: 中国新聞アド



尾道市立大学美術館
地域総合センター
尾道市立大学附属図書館
情報処理研究センター
教職支援センター
国際交流センター
キャリアサポートセンター

Various Facilities **各種施設**





2021-2022

Museum of Onomichi City University

MOU

2008年、尾道市立大学美術学科教育・研究プロジェクトとして、MOU尾道市立大学美術館における企画をスタートしました。以来、美術館では、若手作家の創作が紹介される機会が決して多いとは言えない地方の状況の中、継続的に学生・卒業生・教員による展覧会を企画し、大学における教育・研究の成果を発表してきました。



「Curriculum —授業作品展—」



ギャラリートーク「In Focus〈インフォーカス〉」



「In Focus〈インフォーカス〉」



尾道市立大学美術館
浦崎 葉子



「From Soup to Nuts」



ワークショップ



ギャラリートーク「From Soup to Nuts」

2021年度の最初には前年度3月からの企画「教員展－新しい日常－」展を開催しており、本学美術学科教員の制作・研究を紹介する展覧会となります。9月より本学の卒業・修了生の活動に焦点を当てる企画「In Focus〈インフォーカス〉」では、木村 遥（日本画）、柴田 七美（油画）、青井 典子（グラフィックデザイナー）の作品を紹介。また、10月には2019年度本学に着任した日本画家、鈴木恵麻准教授が、院展出品作品を中心に今まで制作してきた作品と、日々の制作テーマを盛り込んだ新作を交えた個展を開催します。また、現在の大学カリキュラムを網羅し学生作品を紹介する「Curriculum－授業作品展－」、在学生の制作成果は「進級制作展」をはじめ、さまざまな展覧会で紹介していきます。企画と関連したレクチャー・ワークショップ等も随時開催します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

Schedule		
尾道市立大学美術学科 教員展 新しい日常 - New Normal - 3月6日(土)・5月9日(日) 休館日 未・水曜日(祝日開館) 本学美術学科教員による展覧会です。		3
尾道市立大学大学院美術研究科 進級制作展 5月15日(土)・6月20日(日) 休館日 未・水曜日 大学院で専門的に制作活動を行っている、卒業生・修業生・デザイン科3年制の卒業生が、独自の制作を発表します。		4
Curriculum - 授業作品展 - 7月10日(土)・8月15日(日) 休館日 未・水曜日(祝日開館) 1年次から3年次までの、日本画・油画・グラフィックデザイン科3年制の卒業生が、それぞれの制作を発表します。		5
In Focus 12 - 卒業生の現在 - 9月4日(土)・10月10日(日) 休館日 未・水曜日(祝日開館) 本学を卒業・修了し、それぞれの道に進んでいる卒業生が、それぞれの制作を発表します。		6
鈴木恵麻 展 10月30日(土)・12月12日(日) 休館日 未・水曜日(祝日開館) 本学美術学科卒業生として、院展出品作品を中心に今まで制作してきた作品と、日々の制作テーマを盛り込んだ新作を交えた個展を開催します。		7
第11回 高校生絵のまち尾道四季展 12月18日(土)・1月10日(月・祝) 休館日 未・水曜日、12月29日(水)・1月6日(水) 尾道市立大学と尾道市立高校との協賛による展覧会です。		8
尾道市立大学美術学科 第18回卒業制作展・第16回修了制作展 2月6日(金)・2月13日(日) 休館日 未・水曜日 本学で美術学科を卒業・修業・修了した学生が、それぞれの制作を発表します。		9
はじまりのかたち - 卒業 - 3月12日(土)・5月8日(日) 休館日 未・水曜日(祝日開館) 本学の第一学年から卒業生まで、本学で学んだ学生が、それぞれの制作を発表します。		10
		11
		12
		2022
		1
		2
		3

尾道市は商都として約850年もの長い歴史を有し、古代から現在に至るまで様々な文化を育んできたまちです。旧市街地を歩くと、あらゆる時代が混ざり合った不思議な魅力のあるまちであると感じることが出来ます。この地を何度も訪れる観光客が多い理由は、「まだすべてを見ていないのではないか」とか「何度も来ているはずなのに、ここは来たことがない」など、市街地や斜面地の路地が複雑に絡まったラビリンスに魅せられているからなのかもしれません。新たな店が不思議な場所に突然登場するのも、また、時を経るとその店が次第に尾道の風景として馴染んでくるのも、このまちの持っている歴史の融合感覚といえます。

そんなまちにある尾道市立大学の理念の一つに地域貢献があります。地域社会との連携は開学以来取り組んできた本学の大きな特徴と言えるでしょう。そのなかで、学生と教員の長期間の取り組みで花開いたプロジェクトも少しずつ増えてまいりました。地域貢献活動の成果は、参加した学生達の糧となっていることは言うまでもなく、社会に出てからも、それらの経験がそれぞれの活躍の場で役立っています。学生たちが地域貢献を行うなかで得た知識や経験は、様々なコミュニティとの関わり、つまり基礎的社会力養成にもつながっていると確信しております。



地域総合センター
中重 彩

ONOMICHI



教養講座



尾道学入門



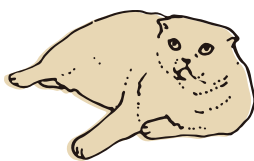
イベント広報物



受託研究成果 (おのみちしぐさ文章・デザイン)



受託研究成果 (福山SA (上り) モニュメントデザイン)



受託研究成果 (尾道ぐるめマップ表紙デザイン)

2020 年度 開催講座(主催)

尾道文学談話会(全6回)

2020年4月～9月第一月曜日開催

講師：芸術文化学部日本文学科を中心とした本学教員、外部招聘講師

教養講座(全6回)

講師：芸術文化学部教員・経済情報学部教員

尾道学入門 公開授業(全5回)

2020年4月～7月 不定期木曜日開催

講師：村上遼、幸野昌賢、寺祉雅人、豊田雅子、真野洋介、大谷悠、林良司(すべて外部招聘講師)

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から全回中止

2020 年度 開催講座(協力)

地域プレゼンテーション課題 2020 発表展

作品展示：2020年10月5日～10月9日

企画発表：2020年10月7日

芸術文化学部美術学科デザインコース 3 年生

第2回尾道てのひら怪談作品募集

尾道に関わる 800 字の掌編怪談作品募集

募集期間：2020年12月～2021年1月7日

審査発表：2021年2月8日

2020 年度 受託研究

AI 画像認識技術による水産塩干物製造における異物選別

2019年12月～2020年12月

相手先：株式会社カタオカ

担当教員：木村文則(経済情報学部准教授)

本田治(経済情報学部准教授)

担当学生：寺垣智也・川人晋伍(経済情報研究科修了)

戸谷将士(経済情報学科卒業)

西日本高速道路福山SA(上り)バラ園モニュメントデザイン

2020年2月～10月

相手先：西日本高速道路株式会社中国支社

担当教員：小野環(美術学科教授)

担当学生：池永朱里・大平真子・竹平洋基(美術研究科修了)

尾道グルメマップ表紙デザイン作成

2020年6月～8月

相手先：グルメ・海の印象派～おのみち一実行委員会

担当教員：野崎真澄(美術学科教授)

担当学生：寒川遥(美術学科4年)

おのみちしぐさ～COOL CHOICE 編～デザイン作成

2020年7月～9月

相手先：尾道市環境政策課

文章担当：灰谷謙二(日本文学科教授)

デザイン：青井典子(地域総合センター職員)

本学附属図書館は、久山田水源地のほとりにあって眺望にすぐれ、また山を背にして読書や学習に好ましい静謐な雰囲気を得ています。

附属図書館では、本学の各学部学科の学生や教員の学習や研究に対応できるよう、図書・雑誌・新聞・視聴覚資料・古文書・電子ジャーナル・データベースなどの資料があり、各種メディアの利用により、学習・研究・就職活動等に活用されています。学術分野だけでなく、小説や趣味に関する本などもあり、多く利用されています。

また、希望図書リクエストサービスや、文献複写・借用図書申請など、Webを使って手軽に申し込みできるシステムを備えています。調べもの相談などのレファレンスサービスも随時受け付けており、これらは多くの学生に活用されています。他の図書館等が所蔵する雑誌論文が必要になった場合など、遠慮なく受付で尋ねて下さい。

その他、設置している情報端末PCや、無線LANでのインターネットの利用も盛んに行われています。

思索のための理想的な空間を大いに利用して本を読み、情報を収集し、学習や研究を進めて行ってもらいたいと願っています。また、研究・自主学習に限らず、「憩いの場」としても附属図書館を役立てていただきたいと思います。



尾道市立大学附属図書館
岡田 匠亮

高橋玄洋記念室

本学の前身、尾道短期大学一期生で、NHK連続テレビ小説「蘭子ひとり」(視聴率55.2%を記録)など多数の人気番組を手がけた脚本家・高橋玄洋氏の著作、脚本、映像、絵画、書、焼き物、書簡、写真など約870点余りの貴重な資料を展示しています。



下垣内文庫

近世地方俳譜の研究者である下垣内和人氏から寄贈を受けた計3093点の近世俳諧資料です。これらの資料は、下垣内氏が長い年月をかけてこつこつと集められた、江戸時代から明治時代にかけての俳諧資料であり、地方俳諧の資料としてこれだけ大部に揃えることは難しく、たいへん貴重なものです。



一枚摺・可菴夏興『夕蟬や』



一枚摺・梅室秋興『夕かぜは』



一枚摺・三石七回忌追善『梅にわれ』



松本幸四郎・市川高麗蔵口上



一枚摺・羅風夏興『螢火の』



外観



書庫内



閲覧室



美術閲覧室
(マンガコーナーが設置されています)



尾道関連資料コーナー

尾道関連資料コーナー

尾道ゆかりの資料や、本学教員の著作、本学卒業生・在学生の著作などを収集し、自由に閲覧できるコーナーを設置しています。

また、その他に英語多読コーナー、仕事関連コーナー、展示スペースなどもあり、活用されています。

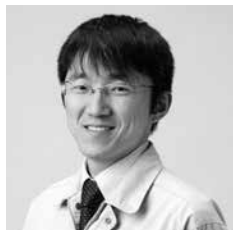
情報処理研究センターは、コンピュータや通信ネットワークなどから構成される尾道市立大学の情報システムを効率的に管理・運営し、教育・研究・教務の情報技術による高度化を推進するための機関です。

2017年10月の情報システム更改では、ノートパソコンやスマートフォンを携行する学生のため、キャンパス全域へのWi-Fi整備やメールシステムのクラウド化を行い、利便性向上を図りました。

また、高度情報化社会に対応したセンターを目指しており、地域貢献と研究活動の推進などを目的として、コンピュータ公開講座や情報科学研究会なども開催しています。



オープンキャンパス コンピュータ講座 (2019年度)



情報処理研究センター
田上 憲二

設備・サービス一覧

●情報設備

サーバ：4台(仮想サーバ：47台) Windows PC：88台 iMac：40台
貸出用ノートPC：Windows PC、MacBook
パソコン室(翠明館自習室)：平日22時、休日20時30分まで利用可
パソコン対応教室：中講義室(225座席)1、小講義室(120座席)2

●提供サービス

SINETへの接続による高速インターネット通信の提供
ポータルサイト(授業情報等の連絡、履修登録など)
学生証(ICカード)による、図書、出席管理、印刷システムの利用
Wi-Fi(学内113箇所にアクセスポイントを設置)
オンデマンド印刷(4箇所、12台設置) クラウドメールサービス
学外からのVPN接続 Microsoft Office、ウイルス対策ソフトの配布
当センターホームページによる情報システム利用マニュアルの公開

●人的サービス

専門性に優れた上級生・大学院生をシステム運用補助員に採用し、学生の質問等にすぐ答えられる体制をとっています。時間外でも、平日は翠明館のパソコン教室及び自習室を午後10時までで開放し、予習・復習の便宜を図っています(休日(土日祝)は午後8時30分まで利用できます)。

2020年度 情報処理研究センター主催行事

●情報セキュリティ講習会(ビデオ視聴)

2020年12月21日(月)～2021年1月15日(金)
「学生向け：情報モラル編」
「日常のセキュリティ編」
南郷 毅(経済情報学部 准教授)

2019年度 情報処理研究センター主催行事(参考)

●オープンキャンパス コンピュータ講座

2019年8月11日(日) 14:20～15:20
「鳥はなぜ群れながら飛ぶのか(マルチエージェントシステムによるシミュレーション)」
川勝 英史(経済情報学部 教授)

●第31回 情報科学研究会

2019年11月11日(月) 14:50～16:20
「プログラミング学習支援研究の最新動向と展望」
松本 慎平先生(広島工業大学 情報学部 准教授)

●第32回 情報科学研究会

2019年12月5日(木) 13:10～14:40
「教育におけるICT活用と著作権」
隅谷 孝洋先生(広島大学 情報メディア教育研究センター 准教授)

●コンピュータ公開講座

2020年2月8日(土) 13:00～15:00
「鳥はなぜ群れながら飛ぶのか(マルチエージェントシステムによるシミュレーション)」
川勝 英史(経済情報学部 教授)
2020年3月14日(土) 13:00～15:00【中止】
『EXCELを用いたデータ分析実践』
金田 陸幸(経済情報学部 准教授)

教職支援センターは、教員を目指す学生を支援する機関です。

教職支援センター委員を担当する各学科教員が教職課程全般のガイダンス、授業の履修方法や計画の指導、介護等体験や教育実習等の指導を行っています。また、例えば「自分は教員に向いているのだろうか」というような相談にも応じています。キャリアサポートセンターとの連携も行っており、公立学校の教員採用試験、私立学校教員公募、臨時的任用教員や非常勤講師の募集情報等の発信も行っています。

C棟1階にある教職支援センターのブースでは、教科書、教育新聞、教員採用試験の情報誌、参考書、問題集等を、教職を志す学生のみなさんが利用しやすいように整えています。模擬授業や教育実習授業で教材作成が必要、となったときに活用できる用具も取り揃えています。

本学で取得することのできる教員免許状は以下の通りです。

- [経済情報学部 経済情報学科]
- 高等学校教諭一種免許状(情報)
- 高等学校教諭一種免許状(商業)
- [芸術文化学部 日本文学科]
- 中学校教諭一種免許状(国語)
- 高等学校教諭一種免許状(国語)
- [芸術文化学部 美術学科]
- 中学校教諭一種免許状(美術)
- 高等学校教諭一種免許状(美術)

*なお、商業、国語、美術については、上記の一種免許状を取得した上で、本学大学院各研究科を修了し、所定の単位を修得した場合はそれぞれに応じた専修免許状を取得することができます。



国際交流センターは尾道市立大学における国際化を推進するため2011年に創設され、教職員12名で運営されています。主な業務は、学生の海外語学研修参加に対するサポート、外国人留学生の迎え入れや海外協定校との共同研究体制の構築などです。

また、海外の大学との学術交流も意欲的に行っています。これまでに、中国、アメリカ、台湾、ベトナムの大学計12校と交流協定を締結しました。

さらに、日本人学生と外国人留学生が相互に友情を育むための様々な異文化交流イベントの企画・運営や、外国人留学生が日本の生活習慣や環境に順応し、充実した留学生生活を営めるよう、授業や日常生活に対する支援をしています。

このように様々な活動を通して、尾道市立大学をグローバル志向の学生が在籍する国際的教育機関に発展させたいと思っています。



国際交流センター

KOBAYASHI Dawn

担当科目：「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」「海外語学実践Ⅰ」「海外語学実践Ⅱ」

研究題目：教育心理学、自己効力感、コミュニケーション能力、パフォーマンスを用いた英語学習

指導目標：授業で学生がコミュニケーション能力を身に付け、留学や国際的な活動に関心を持つことを目標にしています。

Onomichi City University

国際交流センター

YOUNG Gavin

担当科目：「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」「海外語学実践Ⅰ」「海外語学実践Ⅱ」

研究題目：留学と異文化認識

指導目標：授業では学生の英語コミュニケーションスキル、批判的思考スキル、異文化認識スキルを養います。



To future and current international students, welcome to Onomichi City University! International Office provides services such as helping with study abroad procedures and advising international students about study and life in Japan. Please take advantage of these services. Also, we hold various cultural activities and events throughout the year to promote cultural exchange between international students, Japanese students, and the local community.

We are looking forward to meeting you!

希望交換留学或已派遣到本校的各位留学生，尾道市立大学欢迎你！本中心负责提供办理有关留学的各种手续，及在日常学习生活的指导和咨询等服务。请大家积极利用。此外，每年在校内外举办各种各样的文化交流活动，促进留学生与日本学生，本地区居民的文化交流。期待大家积极参与！

国際交流トピックス



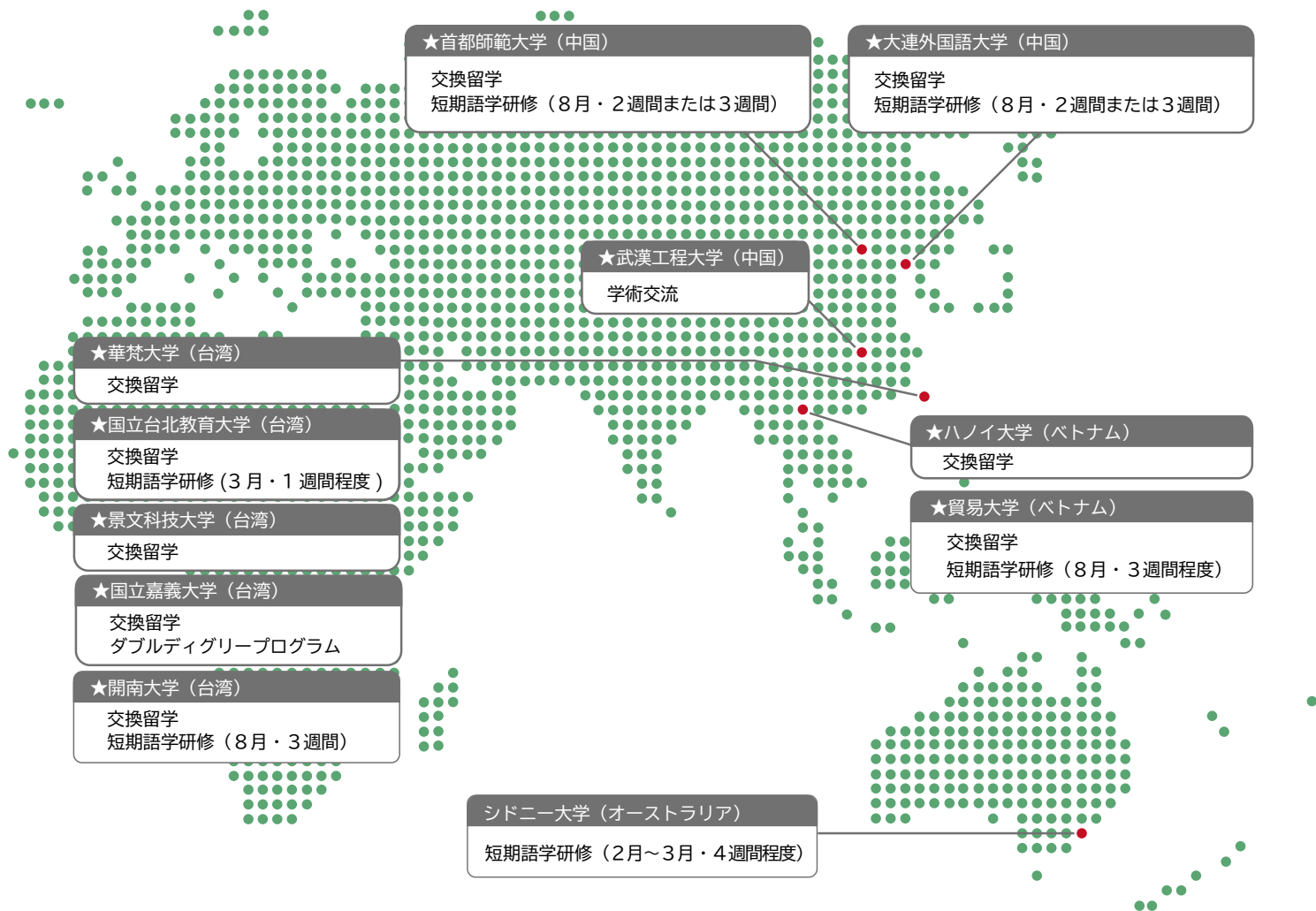
大学借り上げ寮「フェルマータ 宮の前」(2020年8月完成)



留学生オンライン歓迎会(2020年7月)



留学生卒業予定者オンライン送別会(2021年1月)



★・・・海外協定校

★ハワイ大学マウイカレッジ

交換留学

短期語学研修（2月～3月・3週間程度）

協定校等における海外短期語学研修

本学では、協定を結んでいる海外の大学をはじめとして、短期の語学研修に参加できる制度を用意しています。渡航に必要な知識や理解を深めるため引率教員と事前学習を実施し、帰国後には事後学習や報告会を開催するなど、安全で実りのある研修になるようサポート体制を充実させています。また、本学後援会が研修費用の助成を行う制度も用意しています。

訪問先での研修プログラムは大学ごとに異なりますが、文化体験や地元企業への訪問、自己啓発の時間、さらには休日に景勝地を訪れるツアーが用意されている等、どのプログラムも工夫が凝らされています。外国語の習得のみを目的としたものではなく、ホストファミリーや現地の学生、市民などの様々な人々との交流を通じ、国際的な視野を持つグローバルな人材育成を目指した内容となっているのが特徴です。

なお、新型コロナウイルス感染予防の影響により海外への渡航が難しい場合には、協定校とのオンライン語学研修に参加できる体制を整えています。

ポートランド州立大学

短期語学研修（8月中旬～9月上旬・4週間程度）



5つの柱による進路支援

●キャリアサポートセンター

キャリアサポートセンターでは、求人情報、企業情報、企業説明会の情報など「就職活動に関する情報」や、進学や資格取得など「進路全般に関する情報」を提供しています。学生の進路相談に応じるスタッフが常駐し、進路相談のほかに履歴書やエントリーシートの添削、面接指導など進路に関することなら何でも相談に応じています。パソコンの設置や、専門のキャリアカウンセラーを配置し、いつでも学生が利用できる体制を整えています。

●キャリア開発委員会

キャリア開発委員会では、定期的に就職ガイダンス、セミナーを開催することにより、学生の就職意識の高揚と、スムーズな就職活動を支援しています。地元企業との懇談会や学内合同企業説明会を開催し、学生の就職活動がより具体的になるよう支援をしています。

●課外講座による実践的指導

全学年を対象に課外講座を開講することにより、学生の進路選択、就職活動に向けた実力を養成しています。

- ・公務員受験対策講座

公務員希望者を対象に「教養・総合演習コース」にて実力の向上に努めています。

- ・簿記資格対策講座

民間企業希望者に日本商工会議所簿記資格取得の支援をしています。

- ・情報技術資格対策講座

MOS・Word、MOS・Excel、の講座を開設しています。

●教職員も積極支援

全教職員が、チューター制をはじめとする少人数教育によりきめ細やかな指導を行うとともに、求人開拓や関係強化のための企業訪問を実施して、積極的に支援しています。

●キャリア教育

授業科目として、1年生向け「キャリア形成入門」と、2・3年生向け「キャリア形成演習」「インターンシップ」を開講しています。「キャリア形成入門」では、卒業後の社会的自立に向けて、自分らしい生き方や働き方を考え、主体的に取り組む姿勢を身につけます。「キャリア形成演習」では、実際の企業・団体での経営課題にチームで取り組み、プレゼンテーション資料を作成し発表することで、就業力や社会人基礎力を身につけます。「インターンシップ」では、実社会での就業体験が実りあるものとなるよう、事前学習・事後学習を通じて、職業観・就業意識を養い、適切な職業選択に役立てるとともに、専門教育との接続を意識したプログラムの開発をめざします。

進路支援の取り組み

進路選択は学生の人生に大きな影響を与える重要なことです。

キャリアサポートセンターでは、学生がやりたい仕事に就き、いかに自己実現できるかを基本とし、一人一人に合わせた適切な進路指導をします。

近年、企業の採用意欲が高まり、売り手市場と言われる就職環境ですが、一方で就労意識が低いまま入社したり、入社後にミスマッチが発覚したり、若者の早期離職が社会問題となっています。本学では社会人基礎力を育成するカリキュラムを取り込んだガイダンスやセミナーを開催し、就職活動を円滑に行うための知識や技術の習得だけでなく、卒業後も自己の資質を向上させ職業的に自立が図れる能力の育成をしています。教職員が一体となり、就職相談、求人開拓、情報提供を通して学生の進路選択を万全のサポート体制で支援していきます。

①インターンシップ

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。2021年度はオンラインで企業等の課題等を課題解決形式での実施を想定しています。インターンシップを通じて、学生の専門研究分野に関する認識を高めるだけでなく、職業観・職業意識を育成し、適切な職業選択を促進します。

②就職実践講座

3年生を対象に「就職実践講座」を開講しています。就職活動を円滑に行うための知識や技術の習得だけでなく、社会人基礎力を育成できるカリキュラムとなっており、卒業後も自己の資質を向上させ職業的に自立を図れる能力を育成する内容となっています。

③学内企業説明会

2021年2月に業界研究会をオンラインで開催しました。オンラインならではの特性を活かすことができ、対面の説明会では参加が難しかった遠方の企業や、帰省している学生の参加が可能となりました。学生にとって企業の採用担当者との貴重な面談の機会となっており、就職活動への意欲を向上しています。その他、学内での個別企業説明会も実施しており、幅広く情報を収集できる機会を学生に提供しています。

④就職ガイダンス・業界セミナー

2年生、3年生を対象に企業の担当者を招いて、学内業界セミナーを開催しています。学生の職業観の育成を図り、産業や職業に関する知識や理解を深められるよい機会となっています。公務員や教員志望者へは「公務員試験対策講座」や「教員採用試験説明会」を実施しています。また、現役合格者から採用試験への取り組み方などを聞く体験報告会を開催しています。

⑤就職・進路相談

キャリアサポートセンター職員や専門のキャリアカウンセラーによるエントリーシートや履歴書添削、面接練習を含む個別相談・指導を行っています。

⑥企業との意見交換会

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりましたが、例年、企業の採用担当者を招待して意見交換会を開催しています。学生と教職員が一体となって本学の概要、各学部の特色、産学連携活動について紹介をしています。懇親会では名刺・意見交換の他、学生によるポスターセッションで、研究活動、課外活動、インターンシップ体験などを発表し、学生の指導・支援に活かすだけでなく、本学学生についてより深く知っていただく大変良い機会になっています。



1. 就職状況

令和2年度卒業生の就職率（就職希望者のうち、就職し得えたもの）は91.9%（昨年度同時期98.3%）、内定者数は261名（昨年度同時期287名）となっています。学科別の状況は、次のようになっています。

	卒業生	就職希望者	就職者	就職率
経済情報学科	224	203	197	97.0%（昨年度99.5%）
日本文学科	46	41	35	85.4%（昨年度97.8%）
美術学科	54	40	29	72.5%（昨年度91.4%）
合計	324	284	261	91.9%（昨年度98.3%）

経済情報学科

97.0%

日本文学科

85.4%

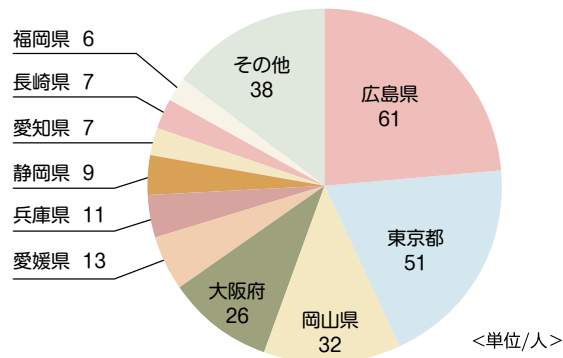
美術学科

72.5%

(1) 地域別動向

就職先を地域別にみると、就職者261名中121名（46.4%）が広島県、岡山県等の中国四国地域へ就職をしています。また東京都と大阪府の合計が約29.5%、出身者が多い兵庫県・静岡県・愛知県・長崎県などへの就職者もいます。

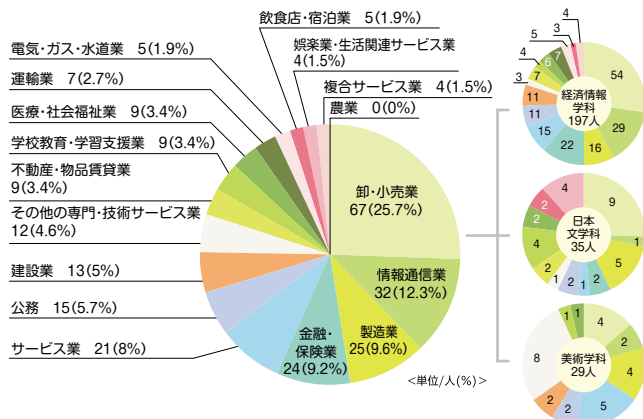
これは、地元（中国・四国地域）の発展に貢献できる人材を輩出する、大都市圏でも活躍できる人材を育成する、これらを就職支援の方針として重点的に取り組んできた結果です。



(2) 業種別動向

就職先を業種別にみると、卸・小売業、情報通信業、製造業、金融・保険業で56.7%を占めています。これらの業種は本学学生が志望する人気業種です。

卸・小売業種以外を学科別にみると、各学科の特色が現れた結果となっています。経済情報学科は、情報通信業、金融業が上位を占めています。日本文学科は、製造業、飲食店・宿泊業、娯楽業・生活関連サービス業が上位を占めています。美術学科は、専門・技術サービス業（テレビジョン番組制作・アニメーション企画制作・デザイン）など自らの専門性を活かした分野への進出が見られます。



主な就職先（過去3年間）

「株式会社」等省略、順不同

経済情報学部 経済情報学科

- 建設業 中電工業 タマホーム 積水ハウス 九電工 一条工務店 セキスイハイム中四国
- 製造業 アサヒビール フジパングループ本社 プレス工業 大塚製薬 太田胃散 出雲村田製作所 ウッドワン エフピコ 池田糖化工業 宮崎キャノン 四変テック キャステム 古川製作所 早川ゴム 日亜化学工業
- 電気・ガス・熱供給・水道業 広島ガステクノ・サービス 島根電工 岡山ガス 広島ガス
- 情報通信業 NTTデータ中国 日立ソリューションズ西日本 日立インフォメーションエンジニアリング 両備システムズ 情報処理推進機構 NTTデータ中国 NTTシステム開発 ミロク情報サービス 日立社会情報サービス
- 運輸業 福山通運 日通・NPロジスティックス 福山スチールセンター 両備ホールディングス ナカタ・マックコーポレーション ヤマト運輸 四国旅客鉄道
- 卸・小売業 大創産業 エディオン ザグザグ コスモス薬品 明石スクールユニフォームカンパニー ハローズ プレひまわり イズミ 青山商事 日工 フジ 広島トヨタ自動車 広島マツダ ファーマシイ 日比谷花壇 ローソン コーセー イズミ イオンリテール サンキ 栄工社 スズキ岡山販売 ホンダ四輪販売四国
- 金融・保険業 住友生命保険相互会社 香川銀行 静岡銀行 第一生命保険 中国銀行 名古屋銀行 備後信用組合 山口フィナンシャルグループ 十八親和銀行 高知銀行 広島銀行 伊予銀行 福井銀行 富山第一銀行 宮崎銀行 ゆうちょ銀行 広島市信用金庫 愛媛信用金庫 笠岡信用金庫 西中国信用金庫 しまなみ信用金庫 東洋証券 水島信用金庫 岡三証券
- 不動産・物品賃貸業 大東建託 メグハウスファミリアグループ 静岡鉄道 三井不動産リアルティ中国 アクティオ サニクリーン山陽 太陽建機レンタル
- 専門・技術サービス業 坂本電子計算センター 水ing
- 宿泊業・飲食サービス業 ツネイシLR トモツググループ 日本郵政(宿泊事業部)
- 生活関連サービス業・娯楽 ホテルニューアワジ センショールホールディングス 番番屋 阪急トラベルサポート トヨタレンタリース長崎 フジ・トラベル・サービス
- 教育・学習支援業 アイオ K-standard 呉工業高等専門学校 山陽学園大学
- 医療・福祉 広島県教育職員互助組合 労働者健康安全機構 国立病院機構近畿グループ
- 複合サービス業 福山市農業協同組合 生活協同組合おかやまコープ 金沢市農業協同組合 日本郵便 福山市農業協同組合 三原農業協同組合 宮崎中央農業協同組合
- その他のサービス業 エイジエック ジェイアール西日本ウェルネット マーキュリー 福岡県商工会連合会 アースサポート
- 公務 府中市役所 国税専門官(高松国税局) 広島県庁 三重県庁 大阪市役所 長崎市役所 高浜市役所 出雲市役所 善通寺市役所 兵庫県警察 三原市 備前市 浅口市 南九州市 広島県 地方検察庁 広島県警察 島根県警察 和歌山県警察 姫路市消防局 兵庫県 今治市 観音寺市 山陽小野田市 松坂市 愛媛県 香川県警察 福島県警察 岡山市消防局

芸術文化学部 日本文学科

- 製造業 キャステム 近江印刷 フジダン 自重堂 日亜化学工業 岡本工機 セキ 星光社印刷 ホーコス 柳井紙工
- 情報通信業 ジィ・シィ企画 京都新聞COM サイプレス・ソリューションズ
- 運輸業 ヤクルトロジスティクス
- 卸・小売業 ウェルシア薬局 九州ワーク マツモト ジャパン・マリンユナイテッド 日工 メガネトップ ザグザグ イズミ
- 金融・保険業 両備信用組合 山陰合同銀行 観音寺信用金庫
- 不動産・物品賃貸業 積水ハウス不動産中国四国 ブラウテストレジデンス
- 専門・技術サービス業 明電エンジニアリング 第一技研
- 教育・学習支援業 愛媛県内公立中学校 広島県内公立中学校 福武財団 広島県公立学校 山梨県内公立学校 芸城学院予備校 宮崎県公立学校銀河学院中学校・高等学校 東海大学付属静岡翔洋高等学校
- 医療・福祉 カツシマ歯科 信々会 ももぞの学園
- 複合サービス業 生活協同組合おかやまコープ 尾道市農業協同組合 そお鹿児島農業協同組合
- その他のサービス業 ジェイアール西日本総合ビルサービス
- 公務 堺市役所 井原市役所 広島県警察

芸術文化学部 美術学科

- 製造業 白ハト食品工業 オガワ 橋本エンジニアリング 金井大道具 シャンソン化粧品 アート印刷 白十字 広島化成
- 情報通信業 ジャム・デザイン ウィンキューブホールディング 1-UP STUDIO A-1pictures プラチナゲームズ 厨子王 動画工房 アイ・エム・ジェイ ディレクションシーズ テレコム・アニメーションフィルム
- 運輸業 パンダイロジバル 京都交通
- 卸・小売業 俄 ハローズ プンジャパン カルフアイン 理研産業 宮地電機 メガネの田中チェーン イトキン
- 専門・技術サービス業 RCC フロンティア TROYCA 興南設計 アイディーエイク Graphics カイカイキキ イタミアート TCD デジコ メディア・エーシー
- 教育・学習支援業 兵庫県内公立中学校 佐賀県内公立学校 香川県内公立学校
- 医療・福祉 高齢・障害・求職者雇用支援機構
- 公務 廿日市市役所 高梁市役所 宇和島市



アサヒビール株式会社

経済情報学科
松原 瑠星

出身校：
島根県立三刀屋高等学校

就職活動を通して最も強く感じたことは、熱意に勝る武器はないということです。自分にはこれといった武器がないことを自覚していたので、とにかく熱意をしっかりと伝えようと思いました。私は食品メーカーを志望していて、選考中には何度もスーパーに足を運びました。受ける企業の商品を探し回り、見つけたものはすべて購入し、味の特徴や競合他社にはない魅力などを徹底的に調べました。また、企業のホームページだけではなく、企業のSNSを確認するなど、受ける企業のことはとことん調べるようにしました。ただ入りたいということ伝えるだけではなく、その熱意を証明するための努力を怠らないことが内定への近道だと思います。

私は20社以上受けても納得のいく内定先がなく、周りが就職活動を終えていく頃には自信を失くし、高みを目指すことを諦めようと思っていました。そんな時期に私を支えたのは一冊のノートでした。

“失敗ノート”

そこには今まで落ちてきた企業と自分なりに考えた敗因が書かれていました。汗と涙でクシャクシャになったそのノートを見返したとき、これから何があっても決して折れないと決めました。就職活動は、何回負けても第一志望の選考で一回だけ勝てば成功だといえると思います。選考に落ちる度にその理由を分析しておく、次の選考ではより洗練された自分がいるはず。内定を勝ち取ったとき、今までの失敗を誇らしく思えるように、自分の限界に挑戦してみてください。



大阪市役所

経済情報学科
吉田 匡希

出身校：
兵庫県立西脇高等学校

私は、大学3年生の10月頃から公務員試験の対策を始めました。公務員試験の対策で重要なことは、繰り返し練習することだと思います。私は、独学で取り組んでいたもので、十分な時間や場所を確保することが大切だと思い、翠明館の自習室などを利用していました。それに加え、毎日のニュース、電子版新聞を見ることは欠かしませんでした。情報、知識をより多く持つことで、確実に他の学生と差別化できると実感しています。

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、公務員試験の日程も大きく影響を受けました。試験日から逆算して対策をしてきたのも、先の見えない延期となり、モチベーションの維持がとても大変でした。そのような時に、身近にいる友達などと連絡を取り合い、情報を交換するなど、1人で抱え込まないことが大切だと感じました。試験が延期したことを良い機会に、面接練習の時間を多く取ることもできました。

また、試験対策に焦り、睡眠時間の減少や、ストレスを多く抱えるなどといった、体調管理ができなくなると、必ず合否へ影響します。日頃から趣味などの時間をしっかりと作り、勉強と余暇のメリハリをつけることがとても重要だと感じています。

みなさんが就職活動を悔いなく終わられるよう、応援しています。



愛媛県立公立中学校

日本文学科
太古 早紀

出身校：
愛媛県立松山北高等学校

教員を志して取り組んできた4年間を経て、今感じていることは、強い意志をもつことの大切さです。教職課程では、模擬授業などの実践的な活動も行います。自分が先生側になって授業を行うことは、想像以上に難しく、ネガティブな気持ちになることも多くありました。それでも4年間頑張れたのは、「教師になりたい」という確固たる思いがあったからです。これは、教員採用試験にも言えることです。教員採用試験は、教育学部をはじめとした専門的に教育について学んできた人と同じ土俵で戦わなければなりません。劣等感や焦り、不安、様々な感情でつらく思うことも多々ありました。しかし、意志を強くもつことで自分を奮い立たせ、日々の努力を積み重ね、乗り越えることができました。そして今、自分の意志が自分を支えてくれることを実感しています。

就職活動には様々な困難があると思います。それに加えて、現在はコロナ禍の影響も広がっています。自分を支えるのは強い意志だと言いましたが、イレギュラーな状況の中、自分一人で頑張り続けることはとても難しいことです。つらくなったら、ぜひ、家族や友人、先生方など周りの人と話してください。私も友人と話すことで救われることが多くありました。

就職活動を通じて得た経験は、きっと自分を成長させます。正解がない中で、自分の最適解と言える選択ができるよう、応援しています。



(株) RCC フロンティア

美術学科
穴吹 花恋

出身校：
香川県立高松工芸高等学校

就職活動を振り返り、もっとも自身の武器になったのは、これまで制作してきた作品たちとポートフォリオです。

私が本格的にポートフォリオの制作をはじめたのは、3年生の秋頃でした。ポートフォリオ制作で大切なことは、まずは一冊、形にしてみることに。そして、できるだけたくさんの人に見て頂いて、意見をもらうことです。私は、教授や友人はもちろん、説明会やインターンに参加した際、お時間を頂ければ社員の方々に積極的に見て頂くようにしていました。どういったところを注目して見てくださるのか、これからの修正点も含め、毎回新しい気付きがありました。

少しずつ修正を重ね、内定を頂いた企業を受験する際には、自分でも納得できるクオリティのものを提出できました。時間に追われてとりあえずまとめたものではなく、ポートフォリオもひとつの作品だと思って楽しみながら制作するとよいと思います。

また、日々の課題だけでなく、精力的に自主制作や学外での活動をしていると就職活動においてすごくプラスになると思います。ポートフォリオに作品の厚みがでることはもちろん、面接でも興味を持って深掘りして聞いてくださると思います。

就職活動中は思うように行かず、もどかしいこともたくさんありました。しかし、最後は熱意だったのだと実感しています。その企業に入りたいという熱い気持ちを、ポートフォリオや面接で精一杯伝えられるよう、頑張ってください。応援しています。

21世紀と共に歩む尾道市立大学は、時代の要請に対応し、物事により創造的に立ち向かえる優れた創造性や判断力、それに裏付けられた専門的知識・能力や高い見識などの育成に特化した、実践的な教育を行う大学院修士課程を設置しました。学部教育で培われた専門的素養のある人材を、よりレベルを高めた学習と研究への取組により、高度の能力を有する専門的職業人や研究者等へ鍛え上げると同時に、広く時代と地域の要請に応えられる人材を育成する研究拠点を目指します。

経済情報研究科 経済情報専攻 (修士課程)

入学定員 8名
修業年限 2年
学 位 修士(経済情報)

経済と企業活動のグローバル化と少子高齢化、さらに情報化社会の到来等により、学習しなければならない事柄の高度化、専門化や多岐化が進んでいます。一方では学際的な研究が必要であり、そのことが大学院教育に新しい課題を提供しています。まず、大学院経済情報研究科(修士課程)は、経済・経営・情報科学という本来は異なった3分野の連携による高度な専門教育を提供し、学際的な研究を可能にしています。しかも、地域企業の経営者・就業者、地域行政担当者、および商業科教員等の社会人のためのリカレント教育や、情報処理能力に優れた人材の養成や税理士志望者の受入れ等の要請にも応えることを目指しています。すなわち、学問的裏づけがあり、かつ実践的問題解決能力をも備えた人材の育成が、本研究科の教育の狙いとなっています。なお、資格取得等に関しては、修士学位取得者に対する教職課程専修免許状(商業)と、税理士試験における「修士学位による試験科目免除」制度があります。商業に関する教科の修得等、一定の基準を満たせば、資格取得が可能となっています。

日本文学研究科 日本文学専攻 (修士課程)

入学定員 6名
修業年限 2年
学 位 修士(日本文学)

大学院日本文学研究科には、日本文化の成り立ちと現在のあり方を考える、日本文学・日本語学・漢文学の三つの研究分野があります。大学院に進学すると、そのうちの一つを自分の専門分野として研究を進めていくことになります。特定の領域、テーマを深く追求しようとするほど、いつのまにか視野が狭くなり、せっかく身につけた知識がどのように社会とつながっているのか、つながっていくのかを見失ってしまいがちです。日本文学研究科では、どの領域を専攻する人であっても、三つの専門分野に関わる高度な知識を身につけられるようにカリキュラムが編成されています。また、日本文化のあり方を様々な角度から捉え直すための国際感覚、異文化理解の視点を重視し、外国語、外国文学、比較文学、哲学、心理学など幅広い分野の科目が設けられています。さらに、論文・報告なども含め、言葉をあつかう訓練として、文芸創作の実践を行う機会も用意されています。大学院の修了者には、修士課程の2年間で身につけた広い視野、論理的思考力、専門的知識と言葉をあつかう技能を活かして、教育・文化活動などで主導的な役割を担うことが期待されています。

美術研究科 美術専攻 (修士課程)

絵画研究分野(日本画・油画)、デザイン研究分野
入学定員 12名
修業年限 2年
学 位 修士(美術)

美術研究科では持続する創作活動を行うことができるよう、学部と大学院修士課程とを合わせた6年間のカリキュラムを一貫化し、高度な創作能力を育成するための体系的な教育を行っています。

授業科目は、芸術に関する幅広い視野と識見を養うため芸術の理論・歴史等を教授し、実技と演習によって構成される研究分野開設科目と合わせて美術の理論と実践の有機的な連携を図っています。

絵画研究分野

日本画と油画に関する制作・研究を行います。

- ・日本画では古典作品の表現、技術および材料の理解と造形感覚を修得させ、各自の個性的な創作力の育成を図ります。

- ・油画では、創作活動の充実を図るため各自のテーマを踏まえ、独自の絵画表現を追及し、また必要となる技法や素材の研究を促します。

デザイン研究分野

デザインの表出のあり方には、現代の社会構造の把握が必要です。好むと好まざるに関わらず、広い視野と柔軟、且つ冷静な洞察力を養う能力と訴求性のある表現力の育成を目的とします。

指導教員の研究分野を軸に幅広く対応します。

Production Onomichi City University Committee of public relations
Chief Editor ONO Tamaki (Professor: Art & Design course)
Art Direction ITO Asako (Lecturer: Art & Design course)
Editorial Design ONO Tamaki (Professor: Art & Design course)
ITO Asako (Lecturer: Art & Design course)
MORISHITA Ikuya (Clerical Staff: General affairs)
OKAMOTO Shunsuke (Associate professor: Economics, Management & Information Science course)
Editor HAYASHI Naoki (Associate professor: Economics, Management & Information Science course)
FUJIKAWA Yoshikazu (Professor: Japanese Literature course)

Editor MURAKAMI Norihiko (Clerical Staff: Planning & Public Relations section)
MAESAKO Sanae (Clerical Staff: Planning & Public Relations section)
Campusmap Design HATA Yuina (Student, Art & Design course)
Accessmap Design HIRABAYASHI Misaki & HASEGAWA Saya
(Alumna, Onomichi City University Graduate Program: Art & Design course)
Print ART PRINTING co., ltd